

令和7年度第1回市川市社会福祉審議会

日時：令和7年8月6日(水)

10時00分～12時00分(予定)

場所：市川市役所第一庁舎5階第4委員会室・会議室6

会 議 次 第

1 開 会

2 議 題

- (1)正副会長の選任について
- (2)市川市社会福祉審議会専門分科会について
- (3)令和6年度進捗状況報告について
 - ①第5期市川市地域福祉計画【2024年度～2029年度】及び市川市成年後見制度利用促進基本計画
 - ②第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画【2024年度～2026年度】
 - ③第5次いちかわハートフルプラン（市川市障害者計画・第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画）【2024年度～2026年度】
- (4)令和6年度第1回地域福祉専門分科会の会議報告について
- (5)その他

3 閉 会

《配布資料》

- ・資料1 委員名簿
- ・資料2 分科会名簿案
- ・資料3 審議会で行き扱う計画概要
- ・資料3-①-1 第5期地域福祉計画【2024年度～2029年度】の進捗状況報告について
- ・資料3-①-2 第5期市川市地域福祉計画進行管理事業 令和6年度進捗状況について
- ・資料3-①-3 第5期市川市地域福祉計画 各進行管理事業詳細資料（個票）（令和6年度分）
- ・資料3-①-4 第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果
- ・資料3-①-5 市川市成年後見制度利用促進基本計画の進捗状況報告について
- ・資料3-①-6 市川市成年後見制度利用促進基本計画 取組内容 令和6年度進捗状況について
- ・資料3-①-7 市川市成年後見制度利用促進基本計画 各進捗状況詳細資料（個票）（令和6年度分）
- ・資料3-②-1 第9期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況報告について
- ・資料3-②-2 第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 進行管理事業 令和6年度進捗状況について
- ・資料3-②-3 第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 各年度の進捗状況
- ・資料3-②-4 事業別個票（令和6年度分）
- ・資料3-③-1 第5次いちかわハートフルプランの進捗状況について
- ・資料3-③-2 市川市障害者計画の具体的な施策に係る進捗状況について
- ・資料3-③-3 市川市障害者計画 具体的な施策重点施策について（令和6年度）

- ・資料 3-③-4 市川市障害者計画 具体的な施策 重点事業の進捗状況について
- ・資料 3-③-5 市川市障害者計画 具体的な施策 重点事業(個票)
- ・資料 3-③-6 市川市障害者計画 具体的な施策 その他の事業の進捗状況について
- ・資料 3-③-7 第 7 期市川市障害福祉計画・第 3 期市川市障害児福祉計画
成果目標と活動記録について
- ・資料 3-③-8 第 7 期市川市障害福祉計画・第 3 期市川市障害児福祉計画
障害者総合支援法に係るサービスについて
- ・資料 3-③-9 第 7 期市川市障害福祉計画・第 3 期市川市障害児福祉計画
児童福祉法に係るサービスについて
- ・資料 4-① 令和 6 年度 第 1 回地域福祉専門分科会の会議報告について
- ・資料 4-② 令和 6 年度 第 1 回地域福祉専門分科会の会議報告
(市川市よりそい支援事業がじゅまる+の活動報告(抜粋))について
- ・資料 5 年間予定表

令和7年8月6日

第11期市川市社会福祉審議会委員名簿

令和 7年 7月 1日現在

(任期:令和 7年 7月 1日～令和 9年 6月30日)

	条例上の 区分	区分	推薦等の機関・団体	職名	氏名
1	学識経験のある者	学識経験者	和洋女子大学	家政学部 家政福祉学科 教授	きしだ こうじ 岸田 宏司
2		医療関係者	一般社団法人 市川市医師会	会長	ささき もりお 佐々木 森雄
3		学識経験者	和洋女子大学	家政学部 家政福祉学科 教授	まるや みつこ 丸谷 充子
4		社会福祉施設 経営者	社会福祉法人慶美会	施設長	もりたか のぶあき 森高 伸明
5		経済界	市川商工会議所	理事・事務局長	やまぎわ のりこ 山極 記子
6		学識経験者	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	主任教授	やました こういちろう 山下 興一郎
7	関係団体の推薦を受けた者	地域の代表者	市川市自治会連合協議会	理事	いわまつ しょうぞう 岩松 昭三
8		公益社団法人 関係者	公益社団法人 市川市シルバー人材センター	(常務理事兼)事務局長	おざわ としや 小沢 俊也
9		障がい者団体	市川市障害者団体連絡会	代表	きのした しずお 木下 静男
10		障がい者団体	市川市自立支援協議会	特定非営利活動法人ほっとハート ほっとハート相談支援事業所リンク 管理者	さとう きょうこ 佐藤 京子
11		地域の代表者	市川市民生委員 児童委員協議会	副会長	つばい さちえ 坪井 幸恵
12		社会福祉法人 関係者	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	常務理事	まつお じゅんこ 松尾 順子
13		障がい者団体	市川市障害者団体連絡会	市川手をつなぐ親の会 会長	むらやま その 村山 園
14		NPO法人・ ボランティア団体	特定非営利活動法人 市川市ボランティア協会	会長	やまざき ふみよ 山崎 文代
15	市民				いなお なおみ 稲尾 直實
16					さとう りえ 佐藤 理恵
17					まき あけみ 槇 明美
18	関係 機関 行政	千葉県	千葉縣市川健康福祉センター	副センター長	でい みちこ 出井 美知子

※敬称略

※五十音順

※着色セルは11期からの新任委員

第11期市川市社会福祉審議会 分科会別委員名簿(案)

①地域福祉専門分科会 委員名簿

	条例上の区分	区分	推薦等の機関・団体	職名	氏名
1	学識経験者	学識経験者	和洋女子大学	家政学部 家政福祉学科 教授	きした こうじ 岸田 宏司
2		社会福祉施設 経営者	社会福祉法人慶美会	施設長	もりたか のぶあき 森高 伸明
3	関係団体の推薦を受けた者	地域の代表者	市川市自治会連合協議会	理事	いわまつ しょうぞう 岩松 昭三
4		地域の代表者	市川市民生委員 児童委員協議会	副会長	つばい さち恵 坪井 幸恵
5		社会福祉法人 関係者	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	常務理事	まつお じゅんこ 松尾 順子
6		障がい者団体	市川市障害者団体連絡会	市川手をつなぐ親の会 会長	むらやま その 村山 園
7		NPO法人・ ボランティア団体	特定非営利活動法人 市川市ボランティア協会	会長	やまざき ふみよ 山崎 文代
8	市民				さとう りえ 佐藤 理恵
9	関係行政機関	千葉県	千葉県市川健康福祉センター	副センター長	でい みちこ 出井 美知子

②高齢者福祉専門分科会 委員名簿

	条例上の区分	区分	推薦等の機関・団体	職名	氏名
1	学識経験者	医療関係者	一般社団法人 市川市医師会	会長	ささき もりお 佐々木 森雄
2		社会福祉施設 経営者	社会福祉法人慶美会	施設長	もりたか のぶあき 森高 伸明
3		学識経験者	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	主任教授	やました こういちろう 山下 興一郎
4	関係団体の推薦を受けた者	地域の代表者	市川市自治会連合協議会	理事	いわまつ しょうぞう 岩松 昭三
5		公益社団法人 関係者	公益社団法人 市川市シルバー人材センター	(常務理事兼)事務局長	おざわ としや 小沢 俊也
6		地域の代表者	市川市民生委員 児童委員協議会	副会長	つばい さち恵 坪井 幸恵
7		社会福祉法人 関係者	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	常務理事	まつお じゅんこ 松尾 順子
8	市民				いなお なおみ 稲尾 直實

③障がい者福祉専門分科会 委員名簿

	条例上の区分	区分	推薦等の機関・団体	職名	氏名
1	学識経験者	学識経験者	和洋女子大学	家政学部 家政福祉学科 教授	まるや みつこ 丸谷 充子
2		経済界	市川商工会議所	理事・事務局長	やまざわ のりこ 山極 記子
3	関係団体の推薦を受けた者	障がい者団体	市川市障害者団体連絡会	代表	きのした しずお 木下 静男
4		障がい者団体	市川市自立支援協議会	特定非営利活動法人ほっとハート ほっとハート相談支援事業所リンク 管理者	さとう きょうこ 佐藤 京子
5		障がい者団体	市川市障害者団体連絡会	市川手をつなぐ親の会 会長	むらやま その 村山 園
6		NPO法人・ ボランティア団体	特定非営利活動法人 市川市ボランティア協会	会長	やまざき ふみよ 山崎 文代
7	市民				まさ あけみ 横 明美
8	関係行政機関	千葉県	千葉県市川健康福祉センター	副センター長	でい みちこ 出井 美知子

審議会で取り扱う計画

地域福祉

市川市地域福祉計画

- ◆期間 第5期（令和6～11年）
- ◆所管課 福祉部 地域共生課

概要

- 地域生活課題の解決や地域福祉を推進するため、「地域住民が主役」であることを基本とし、「自助」、「互助・共助」、「公助」それぞれの役割を定めたもの。
- 本市の福祉に関する計画（高齢、障がい等）に共通する理念や方向性を定めるとともに、福祉分野の横断的な施策を定める計画。

高齢者福祉

市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

- ◆期間 第9期（令和6～8年）
- ◆所管課 福祉部 地域包括支援課

概要

- 高齢者を取り巻くさまざまな課題に対して本市が目指すべき施策を定めるとともに、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築、推進するもの。

障がい者福祉

いちかわハートフルプラン

- ◆期間 第5次（令和6～8年）
- ◆所管課 福祉部 障がい者支援課
こども部 発達支援課

概要

- 障がい者のための施策に関する基本的な計画である「市川市障害者計画」、障害福祉サービス等の確保に関する計画である「第7期市川市障害福祉計画」、障害児通所支援等の確保に関する計画である「第3期市川市障害児福祉計画」の3つから構成される一体的計画。

その他

市川市成年後見制度利用促進基本計画

- ◆期間 定め無し
- ◆所管課 福祉部 地域包括支援課

概要

- 認知症や障がい等により物事の判断能力が不十分な方の日常生活を法的に支援する制度である「成年後見制度」の利用を促進し、尊厳のある本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できるようにすることを目的とした計画。
- 第5期市川市地域福祉計画に包含。

具体的な審議内容

①各年度の実績評価報告

（毎年度実施）

PLAN 年度計画の立案

DO 年度計画に基づき事業実施

CHECK 結果を評価・分析

ACTION 評価・分析をもとに改善

社会福祉審議会へ
報告

...

②次期計画の策定に向けた諮問

（各計画期間最終年度に実施）

計画素案策定

（所管課）

諮問

（社会福祉審議会）

パブリックコメント

（所管課）

最終調整・答申

（社会福祉審議会）

第 1 回 市川市社会福祉審議会	資料 3-①-1
令和 7 年 8 月 6 日（水）	

第 5 期地域福祉計画【2024 年度～2029 年度】の進捗状況報告について

第 5 期市川市地域福祉計画は、地域住民の価値観の多様化による、複雑化・複合化した様々な地域生活課題に対応し、さらには社会参加に向けた取組を充実させるため、64 の事業を「進行管理事業」として設定しています。

基本目標ごとに分類した進行管理事業は、毎年度評価することとなっており、今回は、令和 6 年度の評価についてご報告するものです。

評価は、目標値を設定し、その実施した内容について、A～Dを用いて評価し、A 評価は達成率が 75%以上、B 評価は達成率が 50%以上 75%未満、C 評価は 25%以上 50%未満、D 評価は 25%未満として評価し、数値目標を設定していない事業などについては、実施した事業内容ごとに判定し、評価しています。

目標達成度は、それぞれの基本目標において設定した事業における A～D の評価を、それぞれ 100 点、75 点、50 点、25 点で配点し、その合計点を満点の数値で除し、これに 100 を乗じて得た数値を、「目標達成度」としています。（小数点以下は四捨五入）

今回の報告資料の構成は次のとおりです。

資料	資料番号
第 5 期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和 6 年度進捗状況について	3-①-2
第 5 期市川市地域福祉計画 各進行管理事業詳細資料（個票）（令和 6 年度分）	3-①-3
第 5 期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した結果	3-①-4

第5期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和6年度進捗状況について

各事業の評価方法（A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点）※目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合（小数点以下、四捨五入）
A 十分達成できた（75%以上） B 概ね達成できた（50%以上75%未満） C やや不十分だった（25%以上50%未満） D 不十分だった（25%未満）

第1回 市川市社会福祉審議会	資料3-①-2
令和7年8月6日（水）	

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる

【目標達成度】		パンフレット、回覧等を用いることにより、医療・介護に関する情報に加え、成年後見などの制度について幅広く効果的に周知がなされた。また、福祉よりそい相談窓口でキャッチアップした複雑な課題を抱えた方に対して、充実した連携により適切な支援につなげることができた。			
97%					
施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
1	地域福祉に関する情報の提供	1	生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」	A	事業者への周知を行い、登録団体数が増加したため。（令和6年度登録団体数：103団体）
		2	子育て応援サイト「いちかわこWEB」	B	修正完了が令和7年度にかかってしまったため。
		3	福祉よりそい相談窓口の運営（多機関協働事業）	A	相談内容に応じ、多機関協働事業など相談支援機関へつなぎ、適切な支援を行ったため。
		4	相談支援包括化推進会議の開催	A	高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者など各分野の相談支援各課が連携した包括的相談支援会議を開催し、支援実績や体制について共有・検討を行った。
2	相談支援体制の充実	5	連携担当職員の配置	A	相談支援に係る庁内の連携担当職員及び多機関協働事業者とが適宜情報共有等を行い、連携を継続し支援を行ったため。
		6	支援会議の開催	A	単独では支援・解決が困難である、複雑化・複合化した事案に対し、各関係機関の持っている情報・つながり・スキル等を活用し、庁内及び関係団体と連携を図り、適切な支援を行ったため。
3	地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	7	在宅医療支援事業	A	在宅医療に関する相談窓口として、情報提供や吸引器の貸し出し等により在宅医療の充実を図ることができたため。
		8	医療・介護関係者の情報共有の支援	A	R5年度分の調査結果より、情報共有ツールの活用状況や課題を踏まえて、改善につなげることができたため。
		9	医療・介護関係者の研修会の開催	A	研修会を実施し、開催時のアンケートの結果、「連携が図れている」と回答した割合の平均が81%であったため。
		10	地域住民への普及啓発	A	在宅医療講座を開催し、開催時のアンケート結果から、在宅医療と介護及び人生最終段階の過ごし方に関する理解が深まったと判断したため。
		11	急病診療所運営事業	A	○急病診療所開設日数 達成率100% ○休日急病等歯科診療所開設日数 達成率100% ○周知活動について 配布施設数：74か所、配布枚数：27,642枚
		12	2次救急医療運営事業	A	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を配置し、救急医療体制の整備を達成したため。

施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
4	権利擁護と見守り体制の充実	13	成年後見制度の相談支援	A	成年後見制度の周知が図られ、相談件数が増加したため。
		14	成年後見制度の普及啓発	A	市民・関係者向けの講演会：3回、出前講座：10回、福祉関係者を対象とした研修会：3回、成年後見制度個別相談会：12回等、講演会等を実施したため。
		15	報酬費用の助成	A	成年後見制度周知が図られ、予算内で適切な報酬助成を行ったため。令和6年度報酬助成件数：113件
		16	市民後見人の養成及び活動支援	A	市民後見人養成講座の修了者に対して、育成を目的とした研修を行ったため。
5	福祉サービスの質の向上と虐待の防止	17	高齢者見守り支援事業	B	「見守り通報機器」について自治会にて周知を行ったことで、利用を促進することができたため。また利用者数が大幅に増加しており（R6年度の新規設置台数324台）、設置台数の拡大につながっているため。
		18	市川市地域見守り活動に関する協定	A	前年度より締結事業者が増加し、地域の見守りに関して連携を図ることができたため。
		19	福祉サービス苦情解決事業	A	計画通りに実施することができたため。
		20	高齢者虐待等を未然に防ぐ取組	A	関係機関に対して様々な角度から虐待防止に向けた研修を実施したため。
		21	障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議の開催	B	障害者虐待防止研修においては出席率が45.4%と昨年度の39%を上回ったが、引き続き出席率の向上に努めていく必要があると考えるため。
		22	保育園の第三者機関評価事業	A	第三者評価機関にて食育、恵まれた環境の中での保育、地域の子育て支援、インクルーシブ保育への取り組みについて評価していただいたため。
		23	保育所等における虐待等防止の取組	A	不適切保育の相談窓口設置、不適切保育の防止を目的とする研修実施（96施設参加）、指導監査実施（217施設）を計画通り実施したため。
		24	家庭等における暴力等対策ネットワーク会議の開催	A	計画していた開催回数（1回）を達成したため。

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる

【目標達成度】		地域の身近な相談窓口である地域ケア拠点の整備に手が届かなかったことや、自治会加入世帯が減少していることに対して行政サイドのアプローチが不足しており、福祉の基盤を整備することに対しては成果としては不十分であった一方で、個別支援、特に社会参加を促すための「参加支援事業」に関してはその人に応じた支援につなげられたため、参加と交流の充実を図ることができた。			
89%					
施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
6	福祉コミュニティの充実	25	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置	A	よりそい出張窓口を開設する等、コミュニティソーシャルワーカーの周知を図るとともに、地域づくりや個別支援等に対応したため。
		26	生活支援コーディネーターの配置	A	生活支援コーディネーターの活動周知とともに、地域における資源発掘や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングを着実に進めたため。
		27	地域ケアシステム推進事業	B	地域ケアシステムを推進するため、補助を含めた支援を実施したが、拠点で使用するパソコンの故障・不良に対応できていないため。
		28	自治（町）会加入の促進	B	令和6年度の加入世帯数が、前年と比較し減少したため。
7	地域における防災体制充実の推進	29	自主防災組織資器材購入費等補助金制度	A	予算執行率が98.36%となったことから、制度を活用してもらえたと認識しているため。
		30	避難所における子どもや女性等の要配慮者への配慮	A	要配慮者用の設備や備蓄品の拡充が進んだため。
		31	避難行動要支援者対策事業	B	個別避難計画の作成数が目標30件、実績25件であり、目標には届かなかったが、個別避難計画作成数が増加しているため。
8	地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	32	市民活動支援センターの運営	B	令和6年度登録件数：53件（昨年度対比：100%） 令和6年度利用団体数：1,416団体（昨年度対比：121%） 令和6年度センター稼働率：21.3%（昨年度対比：117%）
		33	参加支援事業	A	よりそい窓口相談に来られた方や、ひきこもり当事者やその家族などへ、悩みの共有、社会的な接点や就労に対し、自ら求め行動できるようになるための居場所を年間を通じて定期的に開催し、参加支援を行ったため。

基本目標Ⅲ 安全とるおいのあるまちを共につくる

【目標達成度】		道路整備や福祉有償運送事業者の新規登録がかなわなかったことから、交通面では事業展開に課題が見える一方で、防犯カメラの設置に関しては要望があった団体等に対し補助を行うことができ、民間住宅のあっせんや住宅改修工事の補助についても計画に対して概ね達成がされたことから、住まい・安全の両面では効果のある事業が展開できたと考えられる。			
92%					
施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
9	犯罪の防止と立ち直りの支援	34	自主防犯活動支援事業	A	防犯物品配布完了団体数（140団体）÷防犯物品配布希望団体数（140団体）＝100%
		35	街頭防犯カメラ設置費の補助	A	設置数（7台）÷設置予定数（8台）＝87.5%
		36	保護司関連支援事業の促進	A	保護司会事務局と協力し、「社会を明るくする運動」の周知等を行い、犯罪や非行を犯した人の立ち直りに向けた支援を行う保護司の後方支援を実施したため。
10	バリアフリーの推進	37	誰もが歩きやすい歩行空間の整備	B	工事を繰越したことにより、計画した歩道の延長整備ができなかったため。 590／870＝約68%
		38	福祉有償運送運営協議会の運営	B	新規事業者の参入が叶わず、また予定していた回数（2回）分の協議会の実施ができなかったが、既存事業者の再登録をすることができたため。
		39	認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進	A	認知症地域支援推進員の活動により、認知症ガイドブックの新規設置場所の開拓や認知症にやさしいお店・事業所の新規登録が増え、認知症への理解が深まったため。
		40	障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供	B	市公式webには209件のアクセス、障害者週間イベントで実施した展示企画には318名の来場があり、一定の周知はできたが、引続き情報発信する必要があるため。
11	住居環境の整備	41	民間賃貸住宅あっせん制度	A	令和6年度計画の目途とした申請件数（50件）を上回る68件の申請があり、民間賃貸住宅のあっせんを行えたため。
		42	あんしん住宅推進事業	A	工事の取りやめや申請内容が要件を満たさず取り下げとなるケースがあったが、予算に対して執行率が82.5%であるため。

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる

【目標達成度】		就労、生活困窮、こどもの学習や健康面などさまざまな課題を抱えた方に対し、個別支援につなげることや子ども食堂をはじめとする居場所が提供できたことから、1人1人の生きがいにつながる施策が展開できたと考えられる。加えて相談業務を行う職員に対しても、ゲートキーパー養成講座や市川市自殺対策関係機関連絡会を開催できたことから、自殺対策に関する理解を深めることができた。			
98%					
施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
12	健康づくり・介護予防の支援	43	健康ポイントAruco	A	登録者数（目標：7,000人）（実績：6,716人）達成率が96%のため。
		44	自立支援、介護予防及び重度化防止の推進	A	・市公式LINE「健康長寿」の登録者数が増加し、積極的な情報配信を実施。主催イベントでの普及啓発活動を実施。 ・市川みんなで体操の団体数が増加。新たに「高齢者の居場所づくり」支援に取り組み、新規の通いの場を創出することができた。 ・短期集中予防サービス事業チラシを事業対象者の被保険者証に同封し、周知を図るとともに、地域住民が集う場での周知や、説明動画を市公式Webサイトで公開した。
13	就労と生活困窮者への支援	45	若年者等就労支援事業	A	(1)相談者数が64人であり、目標である90人の71%であったため。 (2)参加者、採用者数ともにR5よりも増加したため。 (3)職場体験の体験人数が50人、就職者数が14人であり、想定 の76.5%であったため。
		46	就労準備支援事業	A	就労準備支援が必要な人に対して適切にプランを作成し、自立した生活が送れるように支援ができたため。
		47	住居確保給付金支給事業	A	必要な人に支援し、自立につなげることができたため。（支給件数 165件）
		48	家計改善支援事業	A	相談者の課題が複合的なケースが増えたことで家計相談のみの相談者が減少したことにより、前年度に比べ件数は減少したが、自立した生活が送れるように支援ができたため。
		49	ホームレス自立支援事業	A	定期的な巡回指導でコミュニケーションを図った結果、3名が路上生活から脱し、自立した生活を送れるようになったため。
		50	子どもの学習・生活支援事業	A	市内4会場で40回以上の学習生活支援を行えた。また、クリスマス・ハロウィンなどのイベントを年に3回実施することにより、学習だけでなく居場所支援にもつながったため。
14	自殺防止に対する包括的な支援	51	自殺対策事業(人材育成事業)「ゲートキーパー養成講座」	A	令和6年度の計画通り庁内職員向けの研修、および市民向け講座を開催することができたため。
		52	自殺対策事業(普及啓発活動)「快適睡眠講座」	A	令和6年度の計画通り講座を開催することができ、講座実施後アンケートにおいて、回答者の約79%が睡眠とうつ病の関係について「理解できた」「だいたい理解できた」と回答したため。
		53	市川市自殺対策関係機関連絡会の開催	A	令和6年度の計画通り各機関との連絡会を開催し、自殺防止に向けた情報共有が出来たため。
15	地域の居場所づくり	54	地域づくり事業(生活困窮者支援等のための地域づくり事業)	A	サロン活動の支援や地域活動のサポートを行ったため。
		55	地域子育て支援拠点事業	B	妙典親子つどいの広場の開設、八幡親子つどいの広場の移転、末広親子つどいの広場の開設準備を滞りなく実施できたほか、地域子育て支援センターと親子つどいの広場の利用者数の合計が前年度を上回ったため。
		56	こども食堂・フードバンクの支援	A	南行徳地域共生センターにて月1回の頻度で開催ができたため。また、補助金を利用する団体が2団体増加し、補助団体における児童の延べ利用者数が増加(R6:6,083人、R5:4,649人)したため。

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる

【目標達成度】		市川市高齢者生活支援サポーター養成研修を開催し、受講者を実際の活動に繋げることができたことから、担い手確保の面で意義のある事業展開に成功した。一方で既存の地域活動団体に対しては、地域活動の場を提供していただける団体の登録制度（地域活動応援制度）の効果が薄かったことから、地域資源の有効活用については特に事業や制度の見直しを図る必要がある。			
88%					
施策の方向性		No	事業名	評価	評価理由
16	地域福祉に対する意識の啓発	57	地域共生社会の実現に向けた研修の実施	B	外部講師を招いての講座実施が叶わなかった一方で、多機関協働事業においては、多職種・多機関等の担当職員が集まり、事例検討会で意識啓発を行うことができたため。
		58	高齢者生活支援サポーター養成研修の実施	A	地域福祉活動の担い手を増やすための養成や育成に係る講座を開催し、受講者は生活支援コーディネーターや社協ボランティアセンターを通じて実際の活動に繋げることが出来たため。
17	地域福祉活動の担い手の確保と育成	59	地域ケア相談員育成の支援	A	地域ケア相談員相互の交流の場を確保できるよう、「てるぼサロンまつり」の開催にあたり支援を行ったため。
		60	地域活動応援制度の推進	C	地域活動の場を提供する民間団体について6件の新規登録があり、市公式Webサイトにて情報提供を行っているものの活用はみられなかったため。
18	地域資源の有効活用	61	地域ケアシステム推進連絡会開催の促進	A	14地区社会福祉協議会全てで、地域ケアシステム推進連絡会が開催されたため。
		62	地区推進会議の開催	B	計画数通り会議を開催し、地域ごとの相談件数等の傾向について共有を行ったことあわせて、各地域別の課題について調査を実施したことから、地域ごとの課題を明確化することができた。一方で、地域課題の解決に向けた協議を実施することができなかった。
19	情報共有・管理の充実	63	民生委員活動事業	A	会長連絡会の議題に沿って、地区民生委員児童委員協議会にて、委員の活動に必要な情報提供を行い、相談や質疑等に対しては必要に応じて事業所管課へ確認を行った。また、友愛訪問の希望があった際に民生委員へ適切に情報を伝え、円滑に開始できるよう努めた。
		64	個人情報適正活用支援	A	地区推進会議にて、個人情報の適切な保管・管理のため、リーフレットの内容を周知した。

計画全体

【目標達成度】

93%

基本目標ごとの達成度

基本目標	達成度
基本目標Ⅰ	97%
基本目標Ⅱ	89%
基本目標Ⅲ	92%
基本目標Ⅳ	98%
基本目標Ⅴ	88%

第5期市川市地域福祉計画の1年目にあたる、令和6年度の達成度は93%となった。

中でも「基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる」については、様々な課題を抱えた方々に対し、個別支援や居場所づくりにつなげることができたため、達成度は98%と高い数値を出すことができた。また「基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる」についても、福祉よりそい相談窓口から適切な支援機関につなげることができたことや、相談支援体制の充実化を図ることができたことから、達成度97%という数値を出すことができた。

一方で「基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる」の、「地域活動応援制度の推進」については、地域活動応援制度の推進に関して民間団体の提供場所を活用した実績がなかったため、今後とも活用促進を促していく。

第5期市川市地域福祉計画
各進行政管理事業詳細資料(個票)
(令和6年度分)

福祉部 地域共生課

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向1 地域福祉に関する情報の提供	
事業名1 生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」			担当課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	日常生活の支援や社会参加に関する情報を検索することのできるシステム「いちかわ支え合いネット」を活用し、これまで行政や民間企業、NPO法人等が行ってきた取組の情報を横断的に取りまとめ、必要とする市民へ提供します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	周知活動により、登録団体数を増加させる。	周知活動により、登録団体数を増加させる。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年度登録団体数：103団体	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,243,000円	1,133,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,133,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域福祉に関する情報提供について、わかりやすく充実したサイトづくりを実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	事業者への周知を行い、登録団体数が増加した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、事業者への周知を行う。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向1 地域福祉に関する情報の提供	
事業名2 子育て応援サイト「いちかわっこWEB」		担当課	こども施策課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	子育て応援サイト「いちかわっこWEB」により、行政情報のみならず、NPO やサークル等によって実施されている様々な子育て支援に関する民間情報を提供します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	組織改正に伴い、既存の行政情報のページの整理および修正に取り組む。	既存ページの利用者目線での整理に取り組む。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	ページの整理・修正の為、各担当課へ依頼したものの担当課により、時間差があり令和7年5月に終了。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,067,000円	1,067,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,067,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域福祉に関する情報提供について、わかりやすく充実したサイトづくりを実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	修正完了が令和7年度にかかってしまったため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	修正したページを更に利用者目線で改良を行う。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向2 相談支援体制の充実	
事業名3 福祉よりそい相談窓口の運営（多機関協働事業）		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	「ひきこもり」「ヤングケアラー」「障がいグレーゾーン」などの制度の狭間や「8050問題」「ダブルケア」などの世帯全体が抱える複雑化・複合化した地域生活課題の相談を受け付けるとともに、多機関と協働してその解決を試みます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	制度の狭間や複雑化・複合化した相談などを受け付け、適切な支援へつなぐ。	制度の狭間や複雑化・複合化した相談などを受け付け、適切な支援へつなぐ。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	よりそい相談窓口 延べ相談件数 279件 内訳 支援機関等へつないだ件数 141件 窓口・電話にて解決した件数 138件 よりそい相談窓口及び他の相談支援機関等から多機関協働事業につながった件数：207件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	19,980,000円	18,814,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	18,787,337円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	制度の狭間や複雑化・複合化した相談を受け付け、適切な支援へつなげたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	相談内容に応じ、多機関協働事業など相談支援機関へつなぎ、適切な支援を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	多機関協働事業の理解を深め、関係課・各支援機関との協議を継続しつつ、庁内や市民、庁外に対し、引き続き周知を行っていく。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向2 相談支援体制の充実	
事業名4 相談支援包括化推進会議の開催		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	相談を通じた対応困難な複雑化・複合化した課題のケース・制度の狭間のケースに対し、事例・対応方法を分析するとともに、制度や構造的な課題の解決に向けた検討を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	包括的相談支援体制の充実を図るための検討を行う。	包括的相談支援体制のさらなる充実を図るため、関係各課の保有してる社会資源等について共有等を行い、社会資源を有効的に活用できるよう検討を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	福祉よりそい相談窓口や市川市よりそい支援事業がじゅまる＋の取り組みについて共有を行い、包括的相談支援体制の充実を図った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	-	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	-	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	対応困難な複雑・複合化課題等について庁内連携を図り、課題解決に向けた分析を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者など各分野の相談支援各課が連携した包括的相談支援会議を開催し、支援実績や支援体制について共有・検討を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	対応困難な複雑化・複合化した課題について、よりスムーズに支援体制を構築できるよう、関係各課の保有してる社会資源等について共有等を行い、包括的相談支援体制のさらなる充実を図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向2 相談支援体制の充実	
事業名5 連携担当職員の配置		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	相談支援に係る庁内の連携担当職員及び多機関協働事業者との情報共有等を通じて連携体制の強化を図ります。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	関係機関等と連携し支援の充実を図る。	関係機関等と連携し支援の充実を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和5年度から引き続き、連携体制を継続し、強化を図った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	-	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	-	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	対応困難な複雑・複合化課題等について庁内及び多機関協働事業者との連携を図ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	相談支援に係る庁内の連携担当職員及び多機関協働事業者とが適宜情報共有等を行い、連携を継続し支援を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	連携担当職員それぞれを中心とした活動・連携もできるよう、連携体制の強化を図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向2 相談支援体制の充実	
事業名6 支援会議の開催		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	支援の対象となる本人から同意が得られていないケースについて、関係者間で情報共有を行う「支援会議」を開催し、地域における見守り体制や、庁内の連携を確認します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	本人同意を得られない複雑化・複合化した課題の共有と支援へのつなぎ方について関係団体と連携を図る。	本人同意を得られない複雑化・複合化した課題の共有と支援へのつなぎ方について関係団体と連携を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	支援会議実施件数：5件 本人の同意を得られないケースにおいて、関係各課と・関係相談支援機関等と連携し支援会議を開催。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,092,000円	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	0円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	対応困難な複雑・複合化課題等について庁内及び関係団体と連携を図ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	単独では支援・解決が困難である、複雑化・複合化した事案に対し、各関係機関の持っている情報・つながり・スキル等を活用し、庁内及び関係団体と連携を図り、適切な支援を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、支援・解決が困難である複雑化・複合化した事案に対し、各関係機関と適宜情報共有を行い、適切な支援を効果的に行えるよう、関係団体と連携を強化していく。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名7 在宅医療支援事業		担当課	保健センター健康支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	高齢や疾病のため、在宅医療を必要とする地域住民が安心して在宅での療養生活ができるよう、本市より委託を受けた市川市医師会が運営する地域医療支援センターにおいて、在宅医療相談や在宅医療機器の貸し出し、訪問診療を実施している医師の紹介等を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	高齢や疾病のため、在宅医療を必要とする地域住民が安心して在宅での療養生活ができるよう、本市より委託を受けた市川市医師会が運営する地域医療支援センターにおいて、在宅医療相談や在宅医療機器の貸し出し、訪問診療を実施している医師の紹介等を行います。	高齢や疾病のため、在宅医療を必要とする地域住民が安心して在宅での療養生活ができるよう、本市より委託を受けた市川市医師会が運営する地域医療支援センターにおいて、在宅医療相談や在宅医療機器の貸し出し、訪問診療を実施している医師の紹介等を行います。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	【1】在宅医療支援事業の整備 地域医療支援センター事業 新規利用者：133名 利用者：（実）1,238名、（延）1,246名 吸引器等の貸し出し、医療材料等の提供及び相談窓口を設置し、在宅医療に関する相談や在宅医の情報提供等を行いました。 【2】在宅医療システム推進事業 円滑な情報提供のために『在宅医療機関リスト』を作成し、利用しています。各種会議への参加等、本事業の周知や在宅医療への協力について促しました。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	8,600,000円	8,600,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	8,600,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	身近な地域で安心して暮らせるよう、在宅医療の充実に取り組んだか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	在宅医療に関する相談窓口として情報提供や吸引器の貸し出し等により在宅医療の充実に図ることができました。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	継続して安心した在宅医療を提供できるように、支援体制を整備していきます。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名8 医療・介護関係者の情報共有の支援		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	在宅療養生活を支えるために、状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われるよう、情報共有ツールの普及・活用を支援し、必要に応じて情報共有ツール等の改善・見直しを図ります。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	情報共有ツールの活用状況について調査を実施。調査結果により課題を把握し、改善・見直しを図る。	多職種連携地域包括ケアシステムの運用の見直しを図る。 年度末に令和7年度の情報共有ツールの活用状況について調査を実施。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和5年度分の調査結果について「在宅医療・介護連携推進に関する会議」で報告、協議を行い、情報共有ツールの一部について見直しに向けて検討を始めた。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,171,000円	1,347,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,044,080円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	在宅療養生活を支えるため地域の医療・介護関係者の情報共有を推進する支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	調査結果より、活用状況や課題を踏まえて、改善につなげることができた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	情報共有ツールの一つである、多職種連携地域包括ケアシステムの運用の見直しを図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名9 医療・介護関係者の研修会の開催		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域の医療・介護関係者の相互の理解を深め、連携を実現するために、多職種での参加型の研修会を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	下記研修会の開催 ●口腔機能維持に係る多職種連携による支援 ●在宅医療・介護連携における薬剤師の役割 ●認知症の方への多職種連携による支援	下記研修会の開催 ●本人の意思に沿った意思決定支援を考える ●薬局薬剤師とケアマネジャーとの連携 ●災害時における多職種連携	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	上記研修会開催時のアンケートの結果、「連携が図れている」と回答した割合の平均81%	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,171,000円	1,347,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,044,080円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	在宅医療・介護連携を推進するため地域の医療・介護関係者の相互理解を深めるような研修会を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	アンケートの結果、医療・介護関係者の連携が図られていると評価	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	参加型研修会の開催継続	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名10 地域住民への普及啓発		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域住民にかかりつけ医を持つことの重要性のほか、在宅療養を支える専門職の役割を紹介し、在宅医療や介護について理解を促進します。また人生の最終段階におけるケアのあり方や在宅での看取りについて、理解できるようにするため、講演会の開催やパンフレット等の配布を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	地域住民を対象とした在宅医療講座を実施するとともに、在宅療養パンフレットの配布を通して在宅医療や介護について啓発を図る。	●在宅医療講座の開催 ①元気な時こそ人生会議（主催講座） ②人生会議（アドバンス・ケアプランニング）（依頼講座） ●認知症講演会の開催 テーマ：認知症と共に生きる ～新しい認知症観を知ろう～」 ●在宅療養パンフレットの配布	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	●在宅医療講座の開催 テーマ： ①本人の意思を尊重した在宅療養支援 ②本人の意思を尊重した看取りの支援 ●健康市川市民の集いへの参加 テーマ：通院ができなくなったら ～市川市の在宅療養について～ ●認知症講演会の開催 テーマ：認知症と共に生きる ●在宅療養パンフレットの配布(194部)	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,171,000円	1,347,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,044,080円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	かかりつけ医を持つことの重要性のほか、在宅医療や介護についての理解促進について普及啓発を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	在宅医療講座開催時のアンケート結果から、在宅医療と介護及び人生最終段階の過ごし方に関する理解が深まったと判断	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	在宅医療や介護について、人生の最終段階におけるケアのあり方や在宅での看取りに関する理解の促進を目的とした、講座の開催及び関連パンフレットの配布	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名11 急病診療所運営事業		担当課	保健医療課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	急病診療所では、休日や夜間の急な病気の初期診療を行うため、内科、小児科、外科（土、日、祝日及び年末年始のみ）の診療を実施します。休日急病等歯科診療所では、休日に急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日、祝日、盆期および年末年始に診療を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○急病診療所を365日運営し、1次救急として急な病気の初期診療を行う。 ○休日急病等歯科診療所を76日運営し、急な歯の痛み等の応急処置を行う。 ○急病診療所及び休日急病等歯科診療所の開設時間などを記載した案内カードを医療機関等に配布し、初期救急医療機関として市民に広く周知する。	○急病診療所を365日運営し、1次救急として急な病気の初期診療を行う。 ○休日急病等歯科診療所を75日運営し、急な歯の痛み等の応急処置を行う。 ○急病診療所及び休日急病等歯科診療所の開設時間などを記載した案内カードを医療機関等に配布し、初期救急医療機関として市民に広く周知する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○急病診療所 開設日数 365日 ○休日急病等歯科診療所 開設日数 76日 ○急病診療所及び休日急病等歯科診療所の開設時間等を記載した案内カード配布数 配布施設数：74か所 配布枚数：27,642枚	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	284,497,243円	280,108,030円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	282,864,661円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	緊急時の医療体制の整備と周知を推進したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	○急病診療所開設日数 達成率100%⇒評価A ○休日急病等歯科診療所開設日数 達成率100%⇒評価A ○周知活動について 配布施設数及び枚数より評価Aとする。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、夜間や休日の急病患者に対し、初期救急として診療可能な体制を整え、急病診療所及び休日急病等歯科診療所の開設時間などを記載した案内カードを医療機関等に配布し、初期救急医療機関として市民に広く周知する。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	
事業名12 2次救急医療運営事業			担当課 保健医療課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	主治医や急病診療所では扱えない病気、入院・手術が必要な場合及び急病診療所の対応時間外における受け入れ体制の充実のため、救急医療体制（2次）を整備します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を配置できるように整備を行う。	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を引き続き配置できるように整備を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を配置し、365日患者の受け入れが出来るように整備した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	86,886,800円	86,886,800円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	86,886,800円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	緊急時の医療体制の整備を推進したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を配置し、救急医療体制の整備を達成したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	2次救急医療機関として、8医療機関の輪番制で当番病院を引き続き配置できるように整備を行う。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名13 成年後見制度の相談支援		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	判断能力が低下した高齢者や障がい者の生命・財産を守り、地域での生活を継続できるよう、窓口や電話相談のほかに訪問による相談、申立てに関する支援などを実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	成年後見制度による支援を必要とする方が、安心して利用できるよう、窓口における相談体制を整備します。	成年後見制度による支援を必要とする方が、安心して利用できるよう、窓口における相談体制を整備します。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	(1)個別相談件数 ・新規相談件数：239件 ・継続相談件数：382件 (2)家庭裁判所への後見申立て支援件数 ・申立て支援件数：119件 ・家庭裁判所の面談の同席等：10件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	33,715,000円	32,763,481円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	33,715,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	権利擁護（成年後見制度）の体制整備を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	成年後見制度の周知が図られ、相談件数が増加したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	相談件数が増加しているため、更なる相談体制の整備、関係機関へ周知、共有及び連携が必要とされる。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名14 成年後見制度の普及啓発		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	広く地域住民に成年後見制度の周知を図るため、パンフレットの配布やホームページ、講演会、出前講座等を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	パンフレットの発行、配布を行います。 市民をはじめ、関係機関に対しても講演会等を開催し、制度の周知、啓発に努めます。	パンフレットの発行、配布を行います。 市民をはじめ、関係機関に対しても講演会等を開催し、制度の周知、啓発に努めます。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・市民・関係者向けの講演会：3回 ・出前講座：10回 ・福祉関係者を対象とした研修会：3回 ・成年後見制度個別相談会：12回 ・成年後見制度の概要についてまとめたパンフレットを作成し、市民や福祉関係者に配布	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	33,715,000円	32,763,481円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	33,715,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	成年後見制度の周知を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	適切な回数の講演会等を実施したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	成年後見制度の周知、啓発及び利用促進は継続的に実施していく。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名15 報酬費用の助成		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	成年後見制度を利用している方で、低所得や資産等の事情により、成年後見人等への報酬を負担することが困難な方に市が報酬の一部を助成します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	報酬の一部助成等、成年後見制度を安心して利用できるよう支援し、制度の利用促進に繋がります。	報酬の一部助成等、成年後見制度を安心して利用できるよう支援し、制度の利用促進に繋がります。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年度報酬助成実績 ・報酬助成件数：63件 (内訳) ・在宅 15件 ・施設・入院 41件 ・併用 7件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	20,094,000円	20,320,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	14,237,638円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	権利擁護（成年後見制度）の体制整備を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	成年後見制度周知が図られ、予算内で適切な報酬助成を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	被後見人の本人らしい生活を支援するため、引き続き制度周知、適切な報酬助成に努める。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名16 市民後見人の養成及び活動支援		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	権利擁護を支援する体制の確保に向けて、市民後見人の養成とその活動の支援を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市川市後見支援センターにおいて、市民後見人候補者を養成、育成することで、成年後見制度の担い手の体制整備を行います。	市川市後見支援センターにおいて、市民後見人候補者を養成、育成することで、成年後見制度の担い手の体制整備を行います。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・養成講座修了者に対する定期研修：3回 ・養成講座修了者32名の登録及び管理を行うとともに、相談支援を行った。 ・千葉家庭裁判所市川出張所から審判された市民後見人6名の相談支援を実施した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	6,538,400円	7,078,500円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	6,538,400円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	市民後見人の養成に向けた施策を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	・市民後見人養成講座の修了者に対して、育成を目的とした研修を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	市民後見人養成講座の修了者の育成と併せて、第3期市民後見人養成研修を行う。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名17 高齢者見守り支援事業		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	高齢者や障がい者のいる世帯への「見守り通報機器」の利用にあたり、世帯の状況に応じた費用助成を行い、利用を支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	あんしん電話からの移行を進める。 自治会回覧等による事業の周知。	事業の周知。 的確な利用登録者の管理及び委託業者、消防局との連携。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年1月より、あんしん電話から高齢者見守り支援事業への移行対応を実施した。移行済件数は313件（令和7年5月31日時点）。 また、令和6年12月18日に自治会回覧にて、高齢者見守り支援事業の周知を実施。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	20,083,607円	26,457,363円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	14,507,698円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域で安心して暮らせるように見守り通報機器の利用を促進し、設置台数を拡大することができたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	自治会にて周知を行ったことで、利用を促進することができた。利用者数が大幅に増加しており（令和6年度の新規設置台数324台）、設置台数の拡大につながっている。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、事業の周知を行い、地域で安心して暮らせるよう見守り通報機器の利用を促進する。利用者が大幅に増加したため、的確な利用登録者の管理及び委託業者、消防局との連携を図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向4 権利擁護と見守り体制の充実	
事業名18 市川市地域見守り活動に関する協定		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	市内新聞販売所や宅配業者等と、地域の見守り活動に関する協定を締結しています。事業者が日常業務を行う中で高齢者の異変等を発見した場合は通報し、本市と連携を図りながら、安否等を見守り、適切な対応を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	協定未締結事業者に対し、チラシ等による協定の周知および周知方法の拡大を行う。	チラシ等による協定の周知を行うとともに、他事業と連携し、登録事業者数のさらなる増加を図る	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	新たに4事業者が追加され、36事業者と協定を締結した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	-	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	-	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域で安心して暮らせるように、締結事業者を増やし連携を図ることができたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	前年度より締結事業者が増加し、地域の見守りに関して連携を図ることができたため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	協定の周知方法が課題となっているため、チラシの作成だけでなく、他事業の周知方法を参考にし、より多くの事業者への周知を行い、締結事業者の増加を図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名19 福祉サービス苦情解決事業		担当課	こども施策課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	本市が所管する福祉施設の提供するサービスについて、利用者等からの苦情に適切に対応するため、福祉サービス苦情解決事業運営委員会を設置する等して苦情を解決する仕組みを整えます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	①福祉サービス苦情解決事業運営委員会の開催（1/29予定） ②千葉県主催の研修に第三者委員が参加（12/25予定）	①福祉サービス苦情解決事業運営委員会の開催（1/28予定） ②千葉県主催の研修に第三者委員が参加（12/24予定） ③苦情受付案件については、運営委員会委員及び苦情受付担当者との調整を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	①福祉サービス苦情解決事業運営委員会については、1/29実施 ②千葉県主催の研修については、12/25に実施され、第三者委員1名が、zoomにて参加	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	35,000円	35,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	32,800円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	安心して福祉サービスを利用できるよう、苦情を解決する仕組みを整えたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	計画通りに実施することができた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	運営委員会では、視察のほか、各施設での苦情について、担当課ごとに苦情状況報告をまとめ、第三者委員からの助言を受けている。その内容を各施設での苦情対応のスキルアップに繋げることができるよう情報の共有を図る。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名20 高齢者虐待等を未然に防ぐ取組		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	高齢者虐待を発見した場合の通報先や相談窓口の周知を図るとともに、高齢者虐待を未然に防止するための啓発として、市民、介護支援専門員、高齢者サポートセンター職員、介護サービス事業所及び施設の職員を対象とした「高齢者虐待防止研修会」を開催します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市民、支援者、関係機関等に対し、高齢者虐待の防止に関する研修会を開催し、高齢者虐待等を未然に防ぐ支援体制を強化する。	市民、支援者、関係機関等に対し、高齢者虐待の防止に関する研修会を開催し、高齢者虐待等を未然に防ぐ支援体制を強化する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	関係機関等に対し高齢者虐待防止研修会を3回実施 ①市職員対象：『養護者による高齢者虐待対応の基本』 ②高齢者サポートセンター職員対象：『セルフ・ネグレクトへの対応』 ③ケアマネジャー対象：『男性が介護をするということ』	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	90,000円	90,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	90,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	相談機関等と連携し、虐待防止に向けた取組みを実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	関係機関に対して様々な角度から虐待防止に向けた研修を実施した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	高齢者虐待についての通報先や相談窓口の周知を図るとともに、高齢者虐待を未然に防止するための啓発として引き続き「高齢者虐待防止研修会」を実施していく。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名21 障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議の開催		担当課	障がい者支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	障害者虐待の防止及び障がいを理由とする差別の解消を図るために、関係機関及び地域の関係者を交えて必要な協議を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市川市家庭等における暴力等対策ネットワーク会議運営要綱第3条第1号に規定する実務者が行う家庭等における暴力等に関する会議のうち、障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議（障害実務者会議）を開催する。 また、障害者虐待防止研修を開催し、障害者虐待についての理解の促進並びに周知、啓発を行う。	市川市家庭等における暴力等対策ネットワーク会議運営要綱第3条第1号に規定する実務者が行う家庭等における暴力等に関する会議のうち、障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議（障害実務者会議）を開催する。 また障害者虐待防止研修（今年度はグループホーム対象）を開催し、障害者虐待についての理解の促進並びに周知、啓発を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	障害実務者会議については令和6年10月9日に開催し、関係機関との情報共有および意見交換を行った（15名の委員のうち1名のみ欠席）。 障害者虐待防止研修については令和6年11月12日に市川市内で児童発達支援および放課後等デイサービスに従事する職員を対象に「他害行為等のある児童への支援のあり方」に関する研修を実施した（121事業所に案内し、55名の参加）。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	30,000円	30,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	30,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	関係機関等と連携し、虐待防止に向けた取組を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	障害者虐待防止研修においては出席率が45.4%と昨年度の39%を上回ったが、引き続き出席率の向上に努めていく必要があると考えるため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き障害者虐待の防止及び障がいを理由とする差別の解消を図るために、適切な議題やテーマの設定を行うとともに、引き続き参加率の向上に向け、工夫(開催時期や開催時間帯の見直し等)を行っていく。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名22 保育園の第三者機関評価事業		担当課	幼保施設管理課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	保育の質の向上や保護者からの信頼を高めるため、第三者評価機関による審査・評価を行います。評価結果は、市公式Webサイト等で広く公開します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	公立保育園（１園）において、第三者評価を実施する。	公立保育園（１園）において、第三者評価を実施する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年度は市川市立行徳保育園で実施。第三者評価を受けるにあたり、改めて保育園運営、環境全般、毎日の保育の見直しや振り返りを全職員で行った。外部評価していただくことで、様々な課題が見えてくることが多く、改めて改善の意識が芽生え、保育の質の向上につながっていると考える。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	176,000円	176,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	159,500円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	安心して福祉サービスを利用できるよう、第三者評価機関による審査・評価を受けたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	予定通り、第三者評価を実施することができた。食育、恵まれた環境の中での保育、地域の子育て支援、インクルーシブ保育への取り組みについて評価していただいた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	令和7年度は新田第2保育園にて第三者評価を実施予定である。 令和6年度市川市立行徳保育園の報告書を参考にしながら、新田第2保育園の保育園運営や保育の振り返り、課題を見直していけるよう取り組む。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名23 保育所等における虐待等防止の取組		担当課	幼保施設管理課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	不適切保育（虐待等が疑われる事案）の相談窓口を設置し、保護者や保育士から相談があった場合は速やかに対応します。また、施設長を対象とした不適切保育防止研修を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○不適切保育（虐待等が疑われる事案）の相談窓口を設置する。 ○不適切保育の防止を目的とする研修を実施する。 ○毎年全保育施設を対象に実施する指導監査において、不適切保育の防止を特別重点項目に設定し、実地指導の際に具体的な取り組み状況を確認する。	○不適切保育（虐待等が疑われる事案）の相談窓口を設置 ○不適切保育の防止を目的とする研修実施 ○毎年全保育施設を対象に実施する指導監査において、不適切保育の防止を特別重点項目に設定し、実地指導の際に具体的な取り組み状況を確認する。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○不適切保育の相談窓口設置 ○不適切保育の防止を目的とする研修実施 実施日：令和6年10月22日 研修名：「こどもの人権を尊重した保育士のあり方を考える（不適切保育防止研修）」 参加施設数：96施設 ○指導監査実施件数：217施設	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	50,000円	30,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	50,000円	-	-
C H E C K (評価・分析)	評価視点		
	虐待防止に向けた取組を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	計画通り実施したため	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	・不適切保育防止研修について、さらに多くの事業所に周知・啓発を行うため、研修内容の録画配信を行う。	-	-

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる		施策の方向5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	
事業名24 家庭等における暴力等対策ネットワーク会議の開催		担当課	ダイバーシティ推進課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	DV、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待の家庭等における様々な暴力に対応するため、関係機関等で構成されるネットワーク会議を開催し、情報の共有化を図るとともに、連携を強化します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	家庭等における暴力等対策ネットワーク会議を年1回以上開催する。	家庭等における暴力等対策ネットワーク会議を年1回以上開催する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	家庭等における暴力等対策ネットワーク会議を1回開催。（開催日：令和6年8月21日） 相談件数等の実績報告や事例検討を行い、各関係機関との情報共有を実施した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	127,400円	127,400円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	45,500円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	関係機関等で構成されるネットワーク会議を年1回以上開催したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	計画していた開催回数を達成したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	年1回以上の「家庭等における暴力等対策ネットワーク会議」の開催を継続する。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向6 福祉コミュニティの充実	
事業名25 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域の多様な主体や個人の地域福祉活動の支援を行うコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、誰もが暮らしやすい支え合いの仕組みづくり・地域づくりに向けた支援を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○市内に4名のコミュニティソーシャルワーカーを配置する。 ○コミュニティソーシャルワーカー連絡会を毎月開催する。	○市内に4名のコミュニティソーシャルワーカーを配置する。 ○コミュニティソーシャルワーカー連絡会を毎月開催する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○4つの圏域において、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、福祉コミュニティの充実に努めた。 ○コミュニティソーシャルワーカー連絡会を毎月開催した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	66,986,500円	29,708,000円	-
	令和6年度決算額	令和7年度決算額	令和8年度決算額
	66,954,800円		-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の活動について周知を行うとともに、誰もが暮らしやすい支え合いの仕組みづくり・地域づくりに向けた支援を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	よりそい出張窓口を開設する等、コミュニティソーシャルワーカーの周知を図るとともに、地域づくりや個別支援等に対応した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	コミュニティソーシャルワーカーの更なる周知方法等の検討を図る。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向6 福祉コミュニティの充実	
事業名26 生活支援コーディネーターの配置		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域の高齢者の支援ニーズや地域資源を把握し、課題解決に向けて、地域住民や関係団体との連携を図り、支援ニーズと多様な主体による活動や取組のマッチングを行う生活支援コーディネーターを、市全域（第1層）、日常生活圏域（第2層）に配置します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	ボランティアやNPO法人等、多様な実施主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、地域における資源の発掘（担い手の養成やサービス開発）や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングを行う生活支援コーディネーターを第1層（市全域）、第2層（各高齢者サポートセンター）に配置。	ボランティアやNPO法人等、多様な実施主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、地域における資源の発掘（担い手の養成やサービス開発）や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングを行う生活支援コーディネーターを第1層（市全域）、第2層（各高齢者サポートセンター）に配置。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・地域ケア会議等の各種会議へ参加し、個別ケースを通じた地域課題の把握に努めた。 ・買い物不便地区の課題解決に向け、自治会等と協力し移動販売の誘致を検討した。 ・地域住民とともに団地住民の交流の場を立ち上げ、見守り体制の充実を推進するなど、支援ニーズと地域資源のマッチングを推進した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	19,692,000円	75,928,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	18,768,415円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	生活支援コーディネーターの活動周知とともに、地域における資源発掘や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングを進められたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	生活支援コーディネーターの活動周知とともに、地域における資源発掘や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングを着実に進めた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き生活支援コーディネーターの活動周知とともに、地域における資源発掘や関係者間のネットワーク構築、また地域の支援ニーズと取り組みのマッチングの推進を行うとともに、高齢者が多様な主体の活動を選択できるような体制づくりを進める。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向6 福祉コミュニティの充実	
事業名27 地域ケアシステム推進事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域住民で組織する「地区社会福祉協議会」ごとに地域福祉活動の拠点（地域ケア拠点）を整備し、拠点で活動する相談員やサロン活動等に係る経費に対する補助を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○地域ケア拠点に対し、適切に経費補助を行う。 ○地域ケア拠点で生じる不具合等に対応する。	○地域ケア拠点に対し、適切に経費補助を行う。 ○地域ケア拠点で生じる不具合等に対応する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○拠点で活動する相談員やサロン活動等に係る経費に対する補助を行った。 ○地域ケア拠点で生じた不具合等に対して、修繕等の対応を行った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	18,773,000円	18,055,000円	-
	令和6年度決算額	令和7年度決算額	令和8年度決算額
	18,473,976円		-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域ケアシステムを推進するため、補助を含めた支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	地域ケアシステムを推進するため、補助を含めた支援を実施したが、拠点で使用するパソコンの故障・不良に対応できなかった。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	地域ケアシステムを推進するため、補助を含めた支援を実施していく。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向6 福祉コミュニティの充実	
事業名28 自治（町）会加入の促進		担当課	自治振興課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	他市区町村からの転入者等へのパンフレットの配布、市民まつり・行徳まつり等のイベント時の啓発活動により、自治（町）会の加入を促進します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市民課窓口等でのパンフレットの配布。 市民まつり・行徳まつり等で、自治会の活動をP R。	市民課窓口等でのパンフレットの配布。 市民まつり・行徳まつり等で、自治会の活動をP R。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	市民課窓口等でのパンフレットの配布。 市民まつり・行徳まつり等で、自治会の活動をP R。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	99,000円	99,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	99,000円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	自治会活動をP Rし、加入へとつながられるよう、パンフレット等で啓発活動を行い、加入促進を図ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	令和6年度の加入世帯数が、前年と比較し減少したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、自治会活動をPRし、加入へとつながられるよう、パンフレットの改良や啓発活動を行っていく。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向7 地域における防災体制充実の推進	
事業名29 自主防災組織資器材購入費等補助金制度			担当課 地域防災課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	自主防災組織に対し、地域の自主的な防災体制の整備を支援するため、防災資器材の購入や修繕の費用に対する補助を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	申請のあった自主防災組織に対し、防災資器材の購入や修繕の費用に対する補助を行う。	申請のあった自主防災組織に対し、防災資器材の購入や修繕の費用に対する補助を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年度は33の自主防災組織から36件の申請があり、防災資器材の購入費の補助を行った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	4,500,000円	4,500,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	4,426,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	防災資器材の購入や修繕の費用に対する補助を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	予算執行率が98.36%となったことから、制度を活用してもらえたと認識している。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	多くの自主防災組織にこの制度を利用してもらえるよう周知をしていく。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向7 地域における防災体制充実の推進	
事業名30 避難所における子どもや女性等の要配慮者への配慮		担当課	地域防災課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	高齢者や障がい者、乳幼児等を安全に受け入れる避難所体制を整備するとともに、多様性への配慮について検討を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	災害時、要配慮者が少しでも過ごしやすくなるよう各避難所における設備や備蓄品を強化する。	災害時、要配慮者が少しでも過ごしやすくなるよう各避難所における設備や備蓄品を強化する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	災害用備蓄トイレは一般型のほかに車椅子型を購入し車椅子利用者に配慮をした。 食糧品では、高齢者等用として白がゆのアルファ米を、乳幼児用としての粉ミルク・液体ミルク及び使い捨て哺乳ビンを購入した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	39,819,000円	40,000,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	39,201,928円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	平時から要配慮者の支援について検討を行い、支援策の実施に向けた取組みを前に進めたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	要配慮者用の設備や備蓄品の拡充が進んだため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き要配慮者の設備や備蓄品を計画的に備蓄を進めていく	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向7 地域における防災体制充実の推進	
事業名31 避難行動要支援者対策事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する「避難行動要支援者」の把握に努めるとともに、避難の支援等を実施するための基礎となる名簿を作成します。また、覚書締結自治会への名簿の発送及び未締結自治会への名簿の活用に向けた案内を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○避難行動要支援者名簿登録者の中でも特に優先度の高い人に対して、自治(町)会、民生委員等の避難支援等関係者の協力を得て、個別避難計画の作成を進める。	○ご本人やご家族自らが作成する計画づくりに取り組むため、避難支援等関係者への情報提供に同意している約3,300人を対象に、個別支援シートを郵送し、記入及び返信する計画を進める。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○個別避難計画の作成に向けて、本人やそのご家族、避難支援等関係者にあたる自治町会や民生委員、市職員などが顔を合わせて計画を作成する方法に加えて、申請書を市に直接提出する方法にて計画を作成した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	239,000円	1,110,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	217,715円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	個別避難計画の作成を進めたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	○個別避難計画の作成数 目標 30件 実績 25件 目標には届かなかったが、個別避難計画作成数が増加しているためBとした。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	○ご本人やご家族自らが作成する計画づくりに取り組むため、避難支援等関係者への情報提供に同意している約3,300人を対象に、個別支援シートを郵送し、個別避難計画策定を推進する。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向8 ボランティア・NPO活動の推進と社会参加の促進	
事業名32 市民活動支援センターの運営		担当課	NPO・市民活動支援課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	市民活動団体に関する情報を提供し、市民活動への支援を通して、地域における様々な活動を活性化させ、地域の課題解決力の向上と地域福祉の推進を図ります。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○団体の活動に関する最新情報について、いちかわ支え合いネットのほか、センターでのチラシ配架、窓口案内等を通じて提供する。 ○市民活動支援センターで可能な支援内容（印刷機・場所・サポート用品）を、市公式Webサイト等を通じて周知する。 ○市民活動団体事業補助金について、各種広報のほか、センター利用団体からの窓口およびメールでの個別相談対応、団体の事例紹介リーフレットの作成・配布により情報提供を行う。	○団体の活動に関する最新情報について、いちかわ支え合いネットのほか、センターでのチラシ配架、窓口案内等を通じて提供する。 ○市民活動支援センターの支援内容を見直し、センターの利用方法や活用方法等を市公式Webサイト等を通じて周知する。 ○センターを利用する市民活動団体同士のつながりをつくるためのイベント等を企画し開催する。 ○利用団体の相談を行う体制を検討し、令和8年度からの開始を目標に準備をすすめる。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○団体の活動に関する最新情報について、いちかわ支え合いネットのほか、センターでのチラシ配架（338件）、窓口案内等を通じて提供した。 ○市民活動支援センターで可能な支援内容（印刷機・場所・サポート用品）を、市公式Webサイト等を通じて周知した。 ○市民活動団体事業補助金について、補助金を活用している2団体の事例紹介リーフレットを作成し、配布をした。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	3,881,710円	4,709,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	3,673,819円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	市民活動支援センターにおいてさまざまな市民活動団体の情報を提供するとともに、センターを利用する団体の増加を図ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	①令和6年度登録件数：53件（昨年度対比：100%）→B ②令和6年度利用団体数：1,416団体（昨年度対比：121%）→B ③令和6年度センター稼働率：21.3%（昨年度対比：117%）→B	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	利用団体数、利用者数ともに令和5年度から増加した。しかし、市民活動支援センターの令和6年度の稼働率が21.3%であることから、さらに有効に市民活動支援センターを利用いただくためにセンターの支援内容の見直しや、センター利用に関する情報発信等を積極的に行っていく。	-	-

基本目標Ⅱ 参加と交流のあるまちを共につくる		施策の方向8 ボランティア・NPO活動の推進と社会参加の促進	
事業名33 参加支援事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	これまでの社会参加に向けた事業では対応が困難な方に対して、支援メニューを作成し、地域の社会資源とのマッチングを行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	多機関協働事業等で支援している対象者に対して地域活動を含む居場所等への参加を支援する。	多機関協働事業等で支援している対象者に対して地域活動を含む居場所等への参加を支援する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	ひきこもりの方やその家族、障がい者就労施設等に通っている方など、制度の狭間で悩み、社会参加できる居場所がない方を対象としたフリースペース等の提供を行った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	6,221,417円	6,238,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	6,221,417円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域活動等に参加する人を増やすための施策を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	よりそい窓口等に相談に来られた方や、ひきこもり当事者やその家族などへ、悩みの共有、社会的な接点や就労に対し、自ら求め行動できるようになるための居場所を年間を通じて定期的に開催し、参加支援を行った。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き継続するとともに、当事者たちの生活圏内において、地域団体等がすでに行っている居場所等の社会資源を把握し、活用できるよう情報収集し、連携できるよう取り組んでいく。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とるおいのあるまちを共につくる		施策の方向9 犯罪の防止と立ち直りの支援	
事業名34 自主防犯活動支援事業		担当課	市民安全課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	市内の自治（町）会や有志の防犯活動に対し、防犯活動実施状況と必要物品の調査を行い、要望に応じて防犯活動物品を提供します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	登録している全ての自治会等の自主防犯活動状況を把握する。 また、防犯活動を行っている自治会等の要望に応じて防犯物品の配布を行う。	登録している全ての自治会等の自主防犯活動状況を把握する。 また、防犯活動を行っている自治会等の要望に応じて防犯物品の配布を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	アンケート送付：244団体 アンケート回答：167団体 防犯パトロール実施：148団体 防犯物品配布：140団体	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,920,000円	1,820,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,664,357円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	必要な防犯活動物品を提供し、防犯活動の推進に努めたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	防犯物品配布完了団体数（140団体）÷ 防犯物品配布希望団体数（140団体）＝ 100%	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	アンケート回答数を増やすために、提出方法や周知方法を検討する。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とるおいのあるまちを共につくる		施策の方向9 犯罪の防止と立ち直りの支援	
事業名35 街頭防犯カメラ設置費の補助			担当課 市民安全課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	防犯活動を実施している自治（町）会及び商店会等が、公道を撮影範囲とする防犯カメラの設置を行う際に、機器購入及び設置費用を対象に補助を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	各自治（町）会及び商店会等が新しく防犯カメラを設置した際に設置費の補助を行う。 令和6年度：5自治会、8台（予定）	各自治（町）会の要望をもとに、警察等と協議の上、市でカメラ付き防犯灯の新規設置を行う。 令和7年度：79台（予定）	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	各自治（町）会及び商店会等が新しく防犯カメラを設置した際に設置費の補助を行った。 令和6年度：4自治会、7台	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,600,000円	14,773,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,291,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	犯罪の抑止及び治安の向上に努めたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	設置数（7台）÷設置予定数（8台） = 87.5%	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	タウンミーティングや市川市自治会連合協議会からの要望及び令和6年に市内で発生した強盗事件を受け、新たに自治（町）会から要望を受けて市がカメラ付き防犯灯の設置を行う事業を開始することに伴い、自治（町）会等による防犯カメラの設置に対する補助を廃止した。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とうるおいのあるまちを共につくる		施策の方向9 犯罪の防止と立ち直りの支援	
事業名36 保護司関連支援事業の促進		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	市川浦安地区保護司会の事務局である市川市社会福祉協議会と連携し、立ち直りに向けた支援を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	「社会を明るくする運動」をはじめとする市川浦安地区保護司会主催の活動への支援を通じ、犯罪予防のための啓発、宣伝、地域との関係づくりがスムーズに行われ、保護司による立ち直り支援が実りあるものとなることを目指す。	「社会を明るくする運動」をはじめとする市川浦安地区保護司会主催の活動への支援を通じ、犯罪予防のための啓発、宣伝、地域との関係づくりがスムーズに行われ、保護司による立ち直り支援が実りあるものとなることを目指す。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	「社会を明るくする運動」のポスター掲示や広報いちかわへの記事掲載等により、市川浦安地区保護司会主催の活動への支援を行った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	1,342,000円	1,342,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	1,342,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	保護司会事務局と協力し、犯罪や非行を犯した人の立ち直りに向けた支援を行う保護司の後方支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	保護司会事務局と協力し、「社会を明るくする運動」の周知等を行い、犯罪や非行を犯した人の立ち直りに向けた支援を行う保護司の後方支援を実施した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	「社会を明るくする運動」の周知等、保護司会の後方支援を引き続き実施する。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とおいしいのあるまちを共につくる		施策の方向10 バリアフリーの推進	
事業名37 誰もが歩きやすい歩行空間の整備		担当課	道路建設課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	歩道の段差の解消や平坦性の確保など、誰もが歩きやすい歩行空間を整備します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	5 件の工事で歩道整備を実施 ○新設 1箇所 L = 約 60m (二俣) ○改良 4 箇所 L = 約810m (富浜、曽谷、行徳駅前、南八幡)	9件の工事で歩道整備を実施 ○新設 1箇所 L = 約 52m (二俣) ○改良 5 箇所 L = 約810m (富浜等、国分等、行徳駅前、鬼越、南八幡～平田4件)	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○改良 3箇所 L = 約590m (富浜、曽谷、行徳駅前)	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	167,000円	279,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	141,665円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	バリアフリーの基準に適合した歩道整備工事を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	工事を繰越したことにより、計画した延長の歩道整備ができなかったため。 590／870＝約68%	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	繰越工事を減らすように工事監理に努ていく。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とおいしいのあるまちを共につくる		施策の方向10 バリアフリーの推進	
事業名38 福祉有償運送運営協議会の運営		担当課	地域共生課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	NPO法人等が実施する福祉有償運送について、その必要性及び安全性の確保並びに旅客の利便の確保に係る方策等を協議する場として、福祉有償運送運営協議会を設置し、運営します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○協議会を実施し、新規登録、更新登録、その他必要事項に関する協議を行い、市内福祉有償運送の更なる充実を図る。	○協議会を実施し、新規登録、更新登録、その他必要事項に関する協議を行い、市内福祉有償運送の更なる充実を図る。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	◎協議会の開催について ◆協議会開催数：1回 ◆議題 ・移送サービス状況報告 ・新規登録について (既存事業者の再登録)	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	93,000円	93,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	36,400円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	安全性や利便性の確保に係る方策等について協議したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	新規事業者の参入が叶わず、また予定していた回数（2回）分の協議会の実施ができなかったが、既存事業者の再登録をすることができたため。	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	・新規事業者の参入を図るため、福祉有償運送について積極的な周知を行う。 ・既存事業者に対し、事業継続に必要な諸手続き(更新登録、軽微な変更届など)の案内を行う。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とうるおいのあるまちを共につくる		施策の方向10 バリアフリーの推進	
事業名39 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進		担当課	地域包括支援課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	安全なまちづくりを目指し、認知症への理解を深められるような周知・啓発、認知症カフェの実施支援等を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○認知症ガイドブックを活用し、認知症に理解のある店舗等を増やすなど、認知症に対する理解促進を図ることにより、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指す。 ○認知症の人を支える繋がりを支援し、認知症の人の介護負担軽減を図ることを目的とした認知症カフェの設置推進のため、民間による設置、実施の支援を行う。	○認知症ガイドブックを活用し、認知症に理解のある店舗等を増やすなど、認知症に対する理解促進を図ることにより、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指す。 ○認知症の人を支える繋がりを支援し、認知症の人の介護負担軽減を図ることを目的とした認知症カフェの設置推進のため、民間による設置、実施の支援を行う。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・認知症ガイドブック設置場所開拓：71箇所 ・認知症にやさしいお店・事業所新規登録：10件 ・市内で活動する登録認知症カフェ：7箇所	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	79,140,000円	22,585,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	75,033,685円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	認知症の人やその家族への理解や協力を推進し、安心して暮らすことのできる地域づくりを進めたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	認知症地域支援推進員の活動により、認知症ガイドブックの新規設置場所の開拓や認知症にやさしいお店・事業所の新規登録が増え、認知症への理解の深まりに繋がった。	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	・地域住民への新しい認知症観の浸透に時間を要するため、今後も認知症地域支援推進員が積極的に地域に出向き普及啓発をすすめる。 ・登録認知症カフェの設置推進のため、認知症地域支援推進員により、地域内での新たな開設に向けた促しと支援を行うとともに、地域住民や関係者に対して認知症カフェの意義や活動内容を周知する。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とうるおいのあるまちを共につくる		施策の方向10 バリアフリーの推進	
事業名40 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供		担当課	障がい者支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	障がいに対する理解の促進や社会的障壁をできる限り除去するための合理的な配慮の提供に必要な取組を進めます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市川市公式webにて、障害者差別解消に関する情報発信を行い、周知啓発を行う。 毎年ある12月3日から9日の「障害者週間」に合わせて開催された障害者週間イベント（I♡あいフェスタ2024-13th-）において、「障害者差別解消法の改正」にてチラシを配布し、障がい者に対する理解と合理的配慮の提供に関する情報を発信する。	市川市公式webにて、障害者差別解消に関する情報発信を行い、周知啓発を行う。 障害者週間イベントを実施し、「障害者差別解消法の改正」のチラシを配布するとともに、障がいについての展示企画を行い、障がいへの理解の促進を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	市川市公式webにて、障害者差別解消に関する情報発信を行った。 障害者週間イベント（I♡あいフェスタ2024～13th～）を実施し、「障害者差別解消法の改正」のチラシを配布するとともに、障がいへの理解の促進を図った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	-	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	-	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	心のバリアフリー化の普及啓発を推進したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	市川市公式webには209件のアクセス、障害者週間イベントで実施した展示企画には318名の来場があり、一定の周知を行うことはできたが、引き続き情報発信を行う必要があるため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、市川市公式web及びイベントにて、障がいに対する理解の促進を図る。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とおいしいのあるまちを共につくる		施策の方向11 住居環境の整備	
事業名41 民間賃貸住宅あっせん制度		担当課	市営住宅課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	民間の賃貸住宅を見つけることが困難な住宅確保要配慮者等に対し、本市及び一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会市川支部が共同で民間賃貸住宅のあっせんを行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	本制度を周知するため、広報いちかわに掲載するとともに、チラシによる案内を行う。 50件の申請件数を目標とする。	本制度を周知するため、広報いちかわに掲載するとともに、チラシによる案内を行う。 50件の申請件数を目標とする。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	広報いちかわへの掲載とチラシにより本制度を周知し、制度利用の申請件数は68件であった。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	-	-	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	-	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	住宅確保要配慮者等に対し、民間賃貸住宅のあっせんを行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	令和6年度計画の目標とした申請件数を上回る申請があり、民間賃貸住宅のあっせんを行えたため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引続き、広報いちかわへの掲載とチラシにより本制度の周知を図る。	-	-

基本目標Ⅲ 安全とおいしいのあるまちを共につくる		施策の方向11 住居環境の整備	
事業名42 あんしん住宅推進事業		担当課	街づくり整備課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	安全で快適な住まいづくりを進めるため、住宅の改修工事費用の一部を助成します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○自身が所有・居住する住宅又は分譲マンション共用部において、バリアフリー・防災性の向上を目的として行う改修工事費用の一部を助成することで、安全で快適な住まいづくりを推進する。	○自身が所有・居住する住宅又は分譲マンション共用部において、バリアフリー・防災性の向上を目的として行う改修工事費用の一部を助成することで、安全で快適な住まいづくりを推進する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	想定補助件数に対して十分な交付件数を確保できた。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	4,807,632円	4,810,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	3,966,632円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	住み慣れた地域で安心して暮らせるように、居住環境の整備を推進したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	工事の取りやめや申請内容が要件を満たさず取り下げとなるケースがあったが、予算に対して執行率が82.5%であるため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	申請開始から1か月ほどで予算の上限に達してしまったため、補助金の交付要件を数値基準で明確化し、より効果のある工事内容が申請できるように制度改正を進めた。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向12 健康づくり・介護予防の支援	
施策の方向12 健康づくり・介護予防の支援			
事業名43 健康ポイントAruco		担当課	健康都市推進課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	「歩く」こと、「測る」ことにポイントを付与することで、市民が自身の健康データを意識し、健康的な生活習慣を継続して送ることができるよう支援するもので、獲得したポイントはデジタル地域通貨と交換し、地域内の消費に利用できます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○市公式Webサイトやイベントなどで周知を図り、多くの市民に健康ポイントArucoを利用してもらう。	○引き続き登録者、とくに若年層の利用者拡大を図るほか、アプリを介して健康に関する情報を提供するなどコンテンツの充実を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	市公式WebサイトでのAruco登録ページの閲覧数は2,650回となり、公民館でのスタートアップ講座を含めたイベントでの周知は40回を数える。 また、市内公民館などでArucoのチラシを配架し利用者の拡大を図った結果、登録者6,716人となった。 また、30代以下の利用者は全体の20%に満たない。	-	-
	令和6年度予算現額 （情報システムに関する費用等除く）	令和7年度予算現額 （情報システムに関する費用等除く）	令和8年度予算現額
	5,595,000円	5,594,500円	-
	令和6年度決算見込額 （情報システムに関する費用等除く）	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	5,358,000円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	健康ポイントArucoの登録者の拡大、利用率の向上および利便性・機能性の充実など。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	登録者数（目標：7,000人） （実績：6,716人） 達成率が96%のため評価をAとする	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	登録者の更なる拡大、特に若年層の登録割合の拡大を図る。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向12 健康づくり・介護予防の支援	
施策の方向12 健康づくり・介護予防の支援			
事業名44 自立支援、介護予防及び重度化防止の推進		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	高齢者がいつまでも主体的な生活ができるよう、一般介護予防事業や通所型短期集中予防サービス事業を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市民が自らフレイル予防・介護予防に取り組むことができるよう多様な媒体を活用し普及啓発を行うほか、地域住民が主体となる「通いの場」を充実させるため、立ち上げ及び継続支援を行うことで、社会参加の機会を促進し地域づくりを推進する。また、生活機能の低下がみられた方に、早期に専門職が集中的に支援することで、日常生活の活動性を高め、介護予防・重度化防止に努める。	市民が自らフレイル予防・介護予防に取り組むことができるよう多様な媒体を活用し普及啓発を行うほか、地域住民が主体となる「通いの場」を充実させるため、立ち上げ及び継続支援を行うことで、社会参加の機会を促進し地域づくりを推進する。また、生活機能の低下がみられた方に、早期に専門職が集中的に支援することで、日常生活の活動性を高め、介護予防・重度化防止に努める。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	LINE（健康長寿）登録者数：4,827人 「市川みんなで体操」団体数：51 高齢者の居場所づくり支援箇所数：6 サービスC利用者数：51人	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	7,036,000円	8,076,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	4,250,690円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	フレイル予防・介護予防に関する普及啓発を行うとともに、住民が主体となって継続して取り組むことができるような支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	・市公式LINE「健康長寿」の登録者数が増加し、積極的な情報配信を実施。他主催イベントでの普及啓発活動を実施。 ・市川みんなで体操の団体数が増加。新たに「高齢者の居場所づくり」支援に取り組み、新規の通いの場を創出することができた。 ・短期集中予防サービス事業チラシを事業対象者の被保険者証に同封し、周知を図るとともに、地域住民が集う場での周知や、説明動画を市公式Webサイトで公開した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	・介護予防に関する積極的な情報配信をする。また、多様な層に対して介護予防のきっかけづくりができるよう、効果的な普及啓発活動を検討・実施していく。 ・高齢化等で通いの場の活動の継続が困難になっている団体もあるため、生活支援コーディネーターとも連携し、通いの場の充実を目指す。 ・市内関係機関や市民への周知を行うとともにサービス提供体制の整備を進める。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名45 若年者等就労支援事業		担当課	商工課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	若年者等が仕事や就職について気軽に相談できる窓口を開設します。また、求職者と企業とのミスマッチ解消のため、就職面接会を実施します。さらに、働くことに不安を抱えた若者に対し、職場体験を通して不安を解消し、前向きな就職活動ができるように支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	(1)若年者等が、仕事や就職について気軽に相談できる窓口を開設する。 (2)市川公共職業安定所との共催により、障がい者、福祉職及び若者向けの就職面接会を開催する。 (3)働くことに不安を抱えた若者を対象に、企業での職場体験を実施し、働くことへの抵抗感を取り除き、就職に結びつける。	(1)若年者等が、仕事や就職について気軽に相談できる窓口を開設する。 (2)市川公共職業安定所との共催により、障がい者、福祉職及び若者向けの就職面接会を開催する。 (3)働くことに不安を抱えた若者を対象に、企業での職場体験を実施し、働くことへの抵抗感を取り除き、就職に結びつける。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	(1)いちかわ・うらやす若者サポートステーションの市川駅前サテライト窓口を設置し、64人が相談に訪れ、15人が就職した。 (2)うらやす障がい者就職面接会、福祉のしごと就職面接会、いちかわ若者就職面接会を計3回開催し、参加者81人に対し、採用者が18人だった。 (3)いちかわ・うらやす若者サポートステーションの登録利用者を対象に職場体験事業を実施し、50人が体験を行い、14人が就職した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	2,540,000円	2,519,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	2,488,945円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	関係機関と連携し、若年者等の就労が困難な方に向けた支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	(1)相談者数が64人であり、第三次基本計画(実施計画)の数値目標である90人の71%であったことからB評価とした。 (2)R5年度参加人数61人、採用9人に対し、R6年度の参加者が81人、採用者が18人だった。参加者、採用者数ともに増加したためA評価とした。 (3)職場体験の体験人数が50人、就職者数が14人であり、目標である実施人数60人、就労人数20人より下回ってはいるが、それぞれの人数の実績の平均が想定の76.5%であったことからA評価とした。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	いちかわ・うらやす若者サポートステーション及び市川公共職業安定所と連携して周知等を行い、今後も参加者の増加を図る。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名46 就労準備支援事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	就労に必要な実践的な知識、技能等の不足等や、複合的な課題があり、生活のリズムが崩れていることや社会との関わりに不安を抱え、就労意欲が低下している等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、日常生活の改善及び基礎能力の形成等の支援を計画的に実施することで、一般就労に向けた準備を支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	生活困窮者に対し、日常生活の改善等の支援を計画的に実施し、一般就労に向けた準備を支援する。	関係機関との連携を強化し、生活困窮者に対し、日常生活の改善等の支援を計画的に実施し、一般就労に向けた準備を支援する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	支援件数 13件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	10,959,000円	11,069,334円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	10,959,000円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	関係機関と連携し、就労が困難な方に向けた支援を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	就労準備支援が必要な人に対して適切にプランを作成し、自立した生活が送れるように支援ができた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	より支援が行き届くように、引き続き関係機関との連携を強化する。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名47 住居確保給付金支給事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	本人の責によらない失業や収入の減少により、住居を喪失するおそれのある方を対象に、就労支援などを実施し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うとともに、賃貸住宅の家賃を支給します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	対象者に住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行い、適切な支給をする。	関係機関との連携を強化し、対象者に住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行い、適切な支給をする。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	支給件数 165件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	12,254,209円	12,508,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	7,750,300円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	住民一人ひとりが地域で自立した生活が送れるように支援したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	必要な人に支援し、自立につなげることができた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き関係機関との連携を強化し、就労支援に繋がれるよう必要な支援を行う。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名48 家計改善支援事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	家計収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして、生活の再建に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言、指導等を行うことにより相談者自身の家計管理能力を高め、早期に生活再建を図れるよう支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	家計状況の「見える化」と根本的な課題の把握を行い、生活再建を図れるように支援する。	関係機関との連携を強化し、家計状況の「見える化」と根本的な課題の把握を行い、生活再建を図れるように支援する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	支援件数 10件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	5,479,500円	5,534,666円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	5,479,500円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	住民一人ひとりが地域で自立した生活が送れるように支援したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	相談者の課題が複合的なケースが増えたことで家計相談のみの相談者が減少したことにより、前年度に比べ件数は減少したが、自立した生活が送れるように支援ができた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き関係機関との連携を強化し、多くの相談者が自立した生活が送れるよう支援を行う。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名49 ホームレス自立支援事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	自立の意思がありながらホームレスとなることを余儀なくされた方が、地域社会に再び参入することを支援し、かつホームレスの地域社会への参入に際し、地域社会の理解と協力を得ることにより、ホームレスに関する問題の解決を図ります。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	市内巡回によりホームレスの現状を把握し、自立の意思のある方への支援の他、日常生活に関する指導、要援護者の発見及び応急的援護の実施について推進を図る。	市内巡回によりホームレスの現状を把握し、自立の意思のある方への支援の他、日常生活に関する指導、要援護者の発見及び応急的援護の実施について推進を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	ホームレスの現状把握、日常生活の指導をと おして信頼関係を構築し、ホームレスの気持ち・体調の変化に即座に気づき、路上生活からの脱却につなげてきた。定期的な巡回により要援護者の発見もできている。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	10,185,951円	10,189,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	10,180,341円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	ホームレスが路上生活から脱し、地域社会で自立した生活が送れるように支援したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	定期的な巡回指導でコミュニケーションを図った結果、3名が路上生活から脱し、自立した生活を送れるようになった。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	ホームレスの現状把握と信頼関係を築くことで路上生活脱却の支援を継続する。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向13 就労と生活困窮者への支援	
施策の方向13 就労と生活困窮者への支援			
事業名50 子どもの学習・生活支援事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	生活保護受給世帯を含む生活困窮者世帯の、主に就学年齢の世帯員に対し、学習支援や居場所の提供等を行うことで、学習意欲の向上・基礎学力の向上・生活習慣の改善等を図り、高校への進学・高校の中退を防止し、将来の安定就職へつなげることを目指します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	小学5・6年生、中学生、高校生を対象に市内4会場でそれぞれ年間40回以上学習支援等を実施する。	小学5・6年生(原則)、中学生、高校生を対象に市内4会場でそれぞれ年間40回以上学習支援等を実施する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	学習支援や居場所の提供等を行うことで、学習意欲と学力の向上、生活習慣の改善、高校・大学への進学、高校の中退を防止することができた。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	11,122,000円	11,592,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	10,877,680円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	生まれ育った環境に左右されないよう、こどもの学習環境の整備を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	市内4会場で40回以上の学習生活支援を行えた、クリスマス・ハロウィンなどのイベントを年に3回実施することにより、学習だけでなく居場所支援にもつながった。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	居場所支援をすることにより、学習会場に通う楽しさを知り、学習意欲の向上・基礎学力の向上につなげる。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援	
施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援			
事業名51 自殺対策事業(人材育成事業)「ゲートキーパー養成講座」		担当課	保健センター健康支援課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	専門職だけでなく、市民に近い立場の方を対象とし、自殺に関する正しい知識のもと、地域での見守りを強化していく事を目的に周知を図ります。また、対象に応じたプログラムを設定し、研修会を実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	庁内職員向けの研修 3回/年 ・新規採用職員 ・国民健康保険課職員 ・発達支援課職員 市民向け講座 1回/年 ・小中高生の子を持つ保護者及び子どもと関わる方を対象に実施	庁内職員向けの研修 3回/年 ・新規採用職員 ・相談業務に関わる部署のうち、ゲートキーパー講座未実施の課（2課を予定）職員 市民向け講座 1回/年 ・小中高生の子を持つ保護者及び子どもと関わる方などを対象に実施	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・令和6年7月11日に新規採用職員90名に対し研修を実施した。 ・令和6年12月16日～令和7年1月31日に、国民健康保険課（72名）と発達支援課（70名）の職員に対し研修を実施した。 ・令和6年11月29日に市民向け講座を開催し、124名が参加した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	50,000円	50,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	50,000円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	ゲートキーパー研修受講者の自殺対策に対する理解が深まったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	令和6年度の計画通り研修を開催することが出来たため。	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き研修や講座を通じてゲートキーパーに関する周知を行い、自殺対策の理解を深められるよう努める。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援	
施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援			
事業名52 自殺対策事業(普及啓発活動)「快適睡眠講座」		担当課	保健センター健康支援課
P L A N (計 画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	健康教育や健康相談等において、こころの健康や自殺に関する正しい知識の普及等地域に根ざした啓発活動を実施します。また、対象者が参加しやすいよう各種講座、健康教育や講演会・イベント等を企画・実施します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	年1回 快適睡眠講座の開催	年1回 快適睡眠講座の開催	-
D O (実 行 ・ 実 績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年10月9日に快適睡眠講座を開催し、80名が参加した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	52,000円	52,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	52,000円	-	-
(評 価 ・ 分 析) C H E C K	評価視点		
	快適睡眠講座実施後に「睡眠とうつ病の関係」を理解できたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	令和6年度の計画通り講座を開催することが出来、講座実施後アンケートにおいて、回答者の約79%が睡眠とうつ病の関係について「理解できた」「だいたい理解できた」と回答したため。	-	-
A C T I O N (改 善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き研修や講座を通じてこころの健康や自殺に関する周知を行い、自殺対策の理解を深められるよう努める。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援	
施策の方向14 自殺防止に対する包括的な支援			
事業名53 市川市自殺対策関係機関連絡会の開催		担当課	保健センター健康支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	学識経験者・医療関係者・福祉関係者・警察・行政などで構成される関係機関連絡会を開催し、それぞれの立場から取組を進めるとともに、連携を強化し、社会的要因を含めた総合的な対策を推進していきます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	自殺対策関係機関連絡会 1回/年 自殺対策庁内連絡会 1回/年	自殺対策関係機関連絡会 1回/年 自殺対策庁内連絡会 1回/年	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	令和6年10月28日に自殺対策関係機関連絡会を開催。 令和6年11月22日に自殺対策庁内連絡会を開催。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	91,000円	91,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	72,800円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	自殺対策関係機関連絡会、自殺対策庁内連絡会を開催し、自殺防止に向けた連携が図れたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	令和6年度の計画通り各機関との連絡会を開催し、自殺防止に向けた情報共有が出来たため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き関係機関連絡会を開催することで連携を強化し、社会的要因を含めた総合的な対策を推進していく。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向15 地域の居場所づくり	
施策の方向15 地域の居場所づくり			
事業名54 地域づくり事業（生活困窮者支援等のための地域づくり事業）		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	住民が持つ多様なニーズや生活課題に柔軟に対応できるよう、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民主体の活動支援・情報発信、地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みをつくります。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○市内に4名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、次の業務を行う。 ・地域住民のニーズ・生活課題の把握 ・地域住民の活動支援・情報発信 ・行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開 ・地域づくりに向けた支援	○市内に4名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、次の業務を行う。 ・地域住民のニーズ・生活課題の把握 ・地域住民の活動支援・情報発信 ・行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開 ・地域づくりに向けた支援	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	・地域住民のニーズ・生活課題の把握 →3,182件 ・地域住民の活動支援・情報発信 →1,306件 ・行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開 →1,032件 ・地域づくりに向けた支援 →4,459件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	66,986,500円	29,708,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	66,954,800円	-	-
	評価視点		
誰もが安心できる地域の居場所をつくり、多様な交流の機会を創出したか。			
C H E C K （評価・分析）	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	サロン活動の支援や地域活動のサポートを行った。	-	-
	令和7年度への反映		
A C T I O N （改善）	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	地域住民のニーズを把握し、活動の支援や情報発信に加えて個別支援を通じた地域づくりにも取り組む。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向15 地域の居場所づくり	
施策の方向15 地域の居場所づくり			
事業名55 地域子育て支援拠点事業		担当課	こども施策課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域において親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。 また、子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。 また、子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	●地域子育て支援センター 妊婦と0歳～就学前の親子を対象として、保護者の負担を緩和し、安心して子育てができる環境を整えるため、保育園等の機能を活かし、遊び場の提供のほか、育児相談や子育てに関する情報提供等を行った。 ◆延べ利用者数：58,286名 ※前年度延べ利用者数：60,912名 ●親子つどいの広場 妊婦と0歳～3歳の親子を対象として、保護者の負担を緩和し、安心して子育てできる環境を整えるため、気軽に利用できる広場を開設し、遊び場の提供のほか、仲間作りや子育てに関する情報提供等を行った。 ◆延べ利用者数：37,592名 ※前年度延べ利用者数：33,280名	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	124,514,743円	134,698,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	122,348,191円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の充実を図ることができたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	妙典親子つどいの広場の開設、八幡親子つどいの広場の移転、末広親子つどいの広場の開設準備を滞りなく実施できたほか、地域子育て支援センターと親子つどいの広場の利用者数の合計が前年度を上回ったため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	妊婦の認知度向上を図るため効果的な周知方法を検討する。	-	-

基本目標Ⅳ 生きがいを感じるまちを共につくる		施策の方向15 地域の居場所づくり	
施策の方向15 地域の居場所づくり			
事業名56 こども食堂・フードバンクの支援		担当課	こども施策課 地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域や民間団体により自主的に運営されているこども食堂・フードバンクの取組を支援するため、活動状況の発信や、こども食堂の運営費の一部助成を行い、こどもの居場所づくりを推進します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	【こども施策課】 食事の提供とともに学習支援や遊び場の提供等を実施しているこども食堂を運営する団体に補助金を交付することで、子どもの居場所づくりの推進を図ります。 また、「こども食堂マップ」を作製しこどもやこどもに関わる方々に向けた周知啓発を図ります。 【地域共生課】 令和6年6月より南行徳地域共生センターにて、月1回、行徳こども食堂と市の共催によりこども食堂を開催することで子どもたちの居場所づくりを推進します。	【こども施策課】 食事の提供とともに学習支援や遊び場の提供等を実施しているこども食堂を運営する団体に補助金を交付することで、子どもの居場所づくりの推進を図ります。 また、「こども食堂マップ」を作製しこどもやこどもに関わる方々に向けた周知啓発を図ります。 【地域共生課】 南行徳地域共生センターにて、月1回、行徳こども食堂と市の共催によりこども食堂を開催することで子どもたちの居場所づくりを推進します。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	【こども施策課】 子どもの居場所づくり支援事業補助金を18団体（前年度16団体）に交付し、児童延べ6,083人の利用があった。 また、こども食堂及び「こども食堂マップ」をこどもに関わる立場の方々に知ってもらうため、主任児童委員やスクールカウンセラーの研修会に出席し周知を図った。 【地域共生課】 開催回数 10回 延利用者数 未就学～中学生 205人 高校生・大人 285人	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	5,454,000円	4,880,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	3,894,000円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	こどもの居場所づくりを推進できたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	開催頻度としては毎月実施することができた。 また運営費の助成に関し、補助金を利用する団体が2団体増加したこと、補助団体における児童の延べ利用者数が増加（R6:6,083人、R5：4,649人）したことから、こどもの居場所づくりの推進に寄与したため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	今後とも月1回の開催を継続し、またこども食堂及び「こども食堂マップ」の【こども】に対する周知について運営団体の意見を聴きながら検討する。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向16 地域福祉に対する意識の啓発	
事業名57 地域共生社会の実現に向けた研修の実施		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた研修を実施し、意識の啓発を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	支援関係機関を対象とし、多機関協働に関する啓発や連携促進を目的とした講座を開催する。	支援関係機関を対象とし、多機関協働に関する啓発や連携促進を目的とした講座を開催する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	多機関協働事業において、多職種・多機関等の担当職員が集まり、事例検討会を実施	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	100,000円	100,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	0円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	地域共生社会の実現に向けて、他者の価値観の違いや存在を認め合える意識の啓発を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	外部講師を招いての講座実施が叶わなかった一方で、多機関協働事業においては、多職種・多機関等の担当職員が集まり、事例検討会で意識啓発を行うことができたため。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	支援関係機関や市民のニーズを考慮し、適切な時期に、「地域共生社会」の実現に向けた研修会等を実施する。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向17 地域福祉活動の担い手の確保と育成	
事業名58 高齢者生活支援サポーター養成研修の実施		担当課	地域包括支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	支援を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう、日常生活の中での困りごとに対応する、ボランティア活動の担い手を養成するための研修を行います。また、生活支援コーディネーターと連携し、研修修了者が地域の活躍の場につながるような仕組みづくりを行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	高齢者の個別の生活ニーズに応える生活支援サービス等の担い手となる市川市高齢者生活支援サポーター養成研修を、市川市社会福祉協議会と共催で市内2カ所の会場（八幡会場・行徳会場）で実施。	高齢者の個別の生活ニーズに応える生活支援サービス等の担い手となる市川市高齢者生活支援サポーター養成研修を、市川市社会福祉協議会と共催で市内4カ所の会場（東西南北の会場）で実施。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	修了証配布人数 八幡会場：8名 行徳会場：9名 ※令和6年度講座受講者がボランティア活動を行った件数：16件	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	120,000円	49,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	48,262円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域福祉活動の担い手を増やすための養成や育成に係る施策を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	地域福祉活動の担い手を増やすための養成や育成に係る講座を開催した。受講者は生活支援コーディネーターや社協ボランティアセンターを通じて実際の活動に繋げることが出来た。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	・講座参加者を増やすため、全二日間の講座を市内4カ所（東西南北）の会場で開催を検討。 ・実際の地域での活動につなげるため、社会福祉協議会のボランティアセンターや市内で活動する民間ボランティア団体、生活支援コーディネーターを講座に参加していただき、活動とのマッチングを進める。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向17 地域福祉活動の担い手の確保と育成	
事業名59 地域ケア相談員育成の支援			担当課 地域共生課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域ケア拠点の相談員としての意識、情報力、スキルアップに向けての取組が相談員間や地区間で偏りが生じないよう、また、相談員相互の交流の場を確保できるよう、市川市社会福祉協議会による総合的な研修会等の企画・実施を支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○地区推進会議で各地区の状況を共有する。 ○社会福祉協議会と連携して「てるぼサロンまつり」を開催する。	○地区推進会議で各地区の状況を共有する。 ○社会福祉協議会と連携して「てるぼサロンまつり」を開催する。 ○社会福祉協議会に対して、地域ケア相談員のスキル向上に向けた研修会等が開催されるよう、働きかける。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○地区推進会議にて、3地区の相談内容の特徴を共有した。 ○「てるぼサロンまつり」の開催にあたり、市川市社会福祉協議会による企画・実施の支援を行った。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	18,773,000円	180,870,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	18,473,976円	-	-
(評価・分析) C H E C K	評価視点		
	地域ケア相談員のスキル向上に向けた研修会等の企画・実施を支援できたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	地域ケア相談員相互の交流の場を確保できるよう、「てるぼサロンまつり」の開催にあたり支援を行った。	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	地域ケア相談員のスキル向上に向けた研修会等について、より多く実施されるよう市川市社会福祉協議会に働きかけていく。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向18 地域資源の有効活用	
事業名60 地域活動応援制度の推進		担当課	地域共生課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域貢献・地域交流の一環として地域活動の場を定期的に提供する民間団体（社会福祉法人、民間企業等）を募集します。また、提供された場に関する情報を近隣の地区社会福祉協議会等に提供することにより、地域福祉活動の活性化を支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	地域活動の場を定期的に提供する民間団体の登録数を増加させる。	地域活動の場を定期的に提供する民間団体の登録数を増加させる。 事業を周知することで活用を促していく。	-
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	提供施設数：6	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	0円	0円	-
	令和6年度決算額	令和7年度決算額	令和8年度決算額
	0円	-	-
C H E C K (評価・分析)	評価視点		
	地域活動団体等の活動や情報交換の場を提供し、地域の活性化につなげたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	C	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	地域活動の場を提供する民間団体について6件の新規登録があった。市公式Webサイトで情報提供を行っているが活用はみられなかった。	-	-
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、提供する民間団体へ周知するとともに、活用を促していく。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向18 地域資源の有効活用	
事業名61 地域ケアシステム推進連絡会開催の促進		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域ケアシステム推進連絡会のプラットフォーム化の機能を活かし、様々な地域福祉活動に関わる人材・施設・情報等の福祉資源のネットワークづくりに努めます。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○社会福祉協議会と連携し、14の地区社会福祉協議会全てで地域ケアシステム推進連絡会が開催されるよう働きかける。	○社会福祉協議会と連携し、14の地区社会福祉協議会全てで地域ケアシステム推進連絡会が開催されるよう働きかける。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	14地区社会福祉協議会全てで地域ケアシステム推進連絡会が開催された。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	18,773,000円	180,870,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	18,473,976円	-	-
（評価・分析） C H E C K	評価視点		
	地域活動団体等の活動や情報交換の場を提供し、地域の活性化につなげたか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	14地区社会福祉協議会全てで地域ケアシステム推進連絡会が開催された。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、地域ケアシステム推進連絡会をはじめとする、地域活動団体の活動や情報交換の場を提供する。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向19 情報共有・管理の充実	
事業名62 地区推進会議の開催		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	小域福祉圏（14 地区）の地域ケアシステム推進連絡会で取り上げられた地域課題を共有します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	年2回の会議を開催し、各地域課題をまとめ、課題解決に向けた協議を行う。	年2回の会議を開催し、各地域課題をまとめ、課題解決に向けた協議を行う。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	◎会議開催実績 ◆開催数 2回 ◆議題 ①第1回 ・振り返りシートについて ・地域別ケア拠点の傾向について ・CSWの役割について ②第2回 ・地域課題に関する調査の実施について ・生活困窮者支援等のための地域づくり事業の報告	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	113,000円	114,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	82,848円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地区における福祉課題を整理し、その課題解決に向けた情報共有や検討を行ったか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	B	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	計画数通り会議を開催し、地域ごとの相談件数等の傾向について共有を行ったこととあわせて、各地域別の課題について調査を実施したことから、地域ごとの課題を明確化することができた。 一方で、地域課題の解決に向けた協議を実施することができなかった。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	令和6年度に実施した地域別課題調査をもとに地区推進会議を年に2回実施し、課題解決に向けた協議を行う。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向19 情報共有・管理の充実	
事業名63 民生委員活動事業		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地区民生委員・児童委員協議会において、行政からの連絡事項等の情報共有や、意見交換などを行います。また、地域福祉の進行役である民生委員・児童委員が、地域住民に対する相談や訪問等を円滑に実施できるよう、支援を行います。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○18の地区民生委員児童委員協議会に職員が出席し、行政からの連絡を伝えるとともに、各委員からの相談に対応する。	○18の地区民生委員児童委員協議会に職員が出席し、行政からの連絡を伝えるとともに、各委員からの相談に対応する。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	○18の地区民生委員児童委員協議会に職員が出席し、行政からの連絡を伝えるとともに、各委員から相談や質疑があった場合対応を行った。 また、友愛訪問の希望があった際に民生委員へ適切に情報を伝えた。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	28,561,790円	29,265,000円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	28,471,816円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	民生委員児童委員の活動に必要な情報を提供し、意見交換等を実施したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	会長連絡会の議題に沿って、地区民生委員児童委員協議会にて、民生委員児童委員の活動に必要な情報提供を行い、相談や質疑等に対してはFAQに沿った回答や、必要に応じて事業所管課へ確認を行い、適切に対応を行った。 また、友愛訪問の希望があった際に民生委員へ適切に情報を伝え、円滑に開始できるよう努めた。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引続き民生委員児童委員の活動に必要な情報提供を行い、円滑な民生委員活動に繋がるよう努める。	-	-

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤を共につくる		施策の方向19 情報共有・管理の充実	
事業名64 個人情報適正活用支援		担当課	地域共生課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画		
	地域活動を行うにあたって個人情報の収集・管理の留意点等をわかりやすく記載したリーフレットを作成し、地域活動の担い手に配布します。これにより、地域活動の担い手が、個人情報を適切に管理しつつ、適正に活用することができるよう支援します。		
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画
	○地域ケア拠点の相談員に「個人情報取扱い手引き」の周知を図る。	○地域ケア拠点の相談員に「個人情報取扱い手引き」の周知を図る。	-
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果
	個人情報の適切な管理のため、リーフレットの内容を周知した。	-	-
	令和6年度予算現額	令和7年度予算現額	令和8年度予算現額
	0円	0円	-
	令和6年度決算見込額	令和7年度決算見込額	令和8年度決算見込額
	0円	-	-
C H E C K （評価・分析）	評価視点		
	地域活動に必要な個人情報の適切な保管・管理方法を周知したか。		
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価
	A	-	-
	評価理由	評価理由	評価理由
	地区推進会議にて、個人情報の適切な保管・管理のため、リーフレットの内容を周知した。	-	-
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映
	引き続き、新たに委嘱された相談員や福祉委員等に、リーフレットの周知に努める。	-	-

第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果

◎：目標達成 △：現状維持 ×：目標未達成

基本目標	施策の方向	成果指標	設問	該当選択肢	R6.1.9～1.22				R7.5.15～5.28					
					R5(基準年度)				R6					
					回答者数	有効回答者数	割合	目標値	回答者数	有効回答者数	割合	対前年度	対基準年度	
Ⅰ 安心と信頼のあるまちを共につくる	1 地域福祉に関する情報の提供	本市の地域福祉に関する情報を得られていると思う割合	地域における高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者支援等をはじめとする様々なサービスに関する情報を得られていると思いますか。	そう思う	41人				102人				-	◎
				どちらかといえばそう思う	319人				844人					
				どちらからといえばそう思わない	408人				855人					
				そう思わない	204人				491人					
				わからない	165人				317人					
				計	360人				1,137人					
				2 相談支援体制の充実	福祉に関する相談が必要な場合にどこに相談すればいいか知っている割合	高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者支援等をはじめとする様々なサービスに関する相談が必要な場合にどこに相談すればよいか知っていますか。	知っている	116人				234人		
	一部知っている	631人	1,491人											
	まったく知らない	390人	884人											
	計	116人	1,137人				10.2%	増加	234人	2,609人	9.0%	▲1.2%	▲1.2%	
	3 地域医療体制と在宅医療・介護連携の推進	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている割合	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局※を持っていますか。 ※かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局とは、健康に関することを気軽に相談できる身近な医師・歯科医師・薬局です。	すべて持っている	305人				726人				-	◎
				一部持っている	652人				1,464人					
				持っていない	180人				419人					
				計	305人	1,137人	26.8%	増加	726人	2,609人	27.8%	+1.0%	+1.0%	
	4 権利擁護と見守り体制の充実	成年後見制度を知っている割合	成年後見制度※を知っていますか。 ※成年後見制度とは、認知症・知的障がいその他の精神上の障がいによって物事を判断する能力が不十分な方の日常生活を法的に支援する制度です。	知っている（ある程度内容まで知っている）	504人				1,037人				-	×
				名称を見たり聞いたりしたことはある	512人				1,246人					
				知らない	121人				326人					
				計	504人	1,137人	44.3%	増加	1,037人	2,609人	39.7%	▲4.6%	▲4.6%	
	5 福祉サービスの質の向上と虐待の防止	福祉サービスの質に満足している割合	【回答者自身又はご家族が保育園・高齢者福祉サービス・障害福祉サービス等を利用している方に伺います。】 これらの福祉サービスの質に満足していますか。	満足している	24人				202人				-	◎
				どちらかといえば満足している	148人				652人					
				どちらかといえば不満である	60人				148人					
				不満である	24人				33人					
				わからない	177人				54人					
				計	172人				433人					

第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果

◎：目標達成 △：現状維持 ×：目標未達成

基本目標	施策の方向	成果指標	設問	該当選択肢	R6.1.9～1.22				R7.5.15～5.28					
					R5(基準年度)				R6					
					回答者数	有効回答者数	割合	目標値	回答者数	有効回答者数	割合	対前年度	対基準年度	
Ⅱ 参 加 と 交 流 の あ る ま ち を 共 に つ く る	6 福祉コミュニティの充実	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を知っている割合	地域の多様な主体や個人の地域福祉活動の支援を行う専門職であるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を知っていますか。	知っている（ある程度内容まで知っている）	132人				299人				-	×
				名称を見たり聞いたりしたことはある	386人				892人					
				知らない	619人				1,418人					
				計	132人	1,137人	11.6%	増加	299人	2,609人	11.5%	▲0.1%	▲0.1%	
	7 地域における防災体制充実の推進	地域での関係づくりなど、防災体制の整備に向けた地域活動が充実していると思う割合	お住いの地域で平時における防災訓練を実施するなど、顔の見える関係づくりができていると思いますか。	そう思う	32人				78人				-	◎
				どちらかといえばそう思う	229人				561人					
				どちらからといえばそう思わない	331人				750人					
				そう思わない	447人				1,016人					
				わからない	98人				204人					
				計	261人	1,137人	23.0%	増加	639人	2,609人	24.5%	+1.5%	+1.5%	
	8 ボランティア・NPO活動の推進と社会参加の促進	地域活動等に参加している割合	以下の地域活動に参加していますか。（複数選択可）	自治（町）会の活動	404人				956人				-	×
				地区社会福祉協議会の活動	32人				70人					
				PTA・子ども会の活動	135人				298人					
				高齢者クラブ・サロンの活動	44人				78人					
				地域の伝統行事や祭り	151人				347人					
				ボランティア団体・NPO団体に参画してのボランティア活動	103人				188人					
				見守り・声かけ・手伝いなどの活動	102人				190人					
				その他（地域活動に該当する活動に限る）	22人				30人					
				↑いずれかの活動に参加している人数をカウント	619人	1,137人	54.4%	増加	1,375人	2,609人	52.7%	▲1.7%	▲1.7%	
				いずれにも参加していない	518人				1,234人					
	注 意													
	何かしらの活動と「いずれにも参加していない」を回答いただいた方については、本資料上では「いずれにも参加していない」を回答しなかったものとみなし、回答者数の修正を行っております。													

注意
何かしらの活動と「いずれにも参加していない」を回答いただいた方については、本資料上では「いずれにも参加していない」を回答しなかったものとみなし、回答者数の修正を行っております。

第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果

◎：目標達成 △：現状維持 ×：目標未達成

基本目標	施策の方向	成果指標	設問	該当選択肢	R6.1.9～1.22				R7.5.15～5.28				
					R5(基準年度)				R6				
					回答者数	有効回答者数	割合	目標値	回答者数	有効回答者数	割合	対前年度	対基準年度
Ⅲ 安全と うるおい のある まちを 共に つくる	9 犯罪の防止と立ち直りの支援	地域で安全に暮らしていると思う割合	地域の防犯体制が整備され、安全に暮らしていると思いますか。	そう思う	38人				83人			-	×
				どちらかといえばそう思う	509人				1,095人				
				どちらかといえばそう思わない	278人				756人				
				そう思わない	144人				344人				
				わからない	168人				331人				
				計	547人	1,137人	48.1%	増加	1,178人	2,609人	45.2%	▲2.9%	▲2.9%
	10 バリアフリーの推進	移動に関して不自由を感じる割合	【65歳以上の方、又は身体に障がいのある方のみお答えください。】 買い物や通院などの移動に際し、不自由さを感じていますか。	不自由さを感じている	34人				23人			-	◎
				どちらかといえば不自由さを感じている	52人				76人				
				どちらかといえば不自由さを感じていない	87人				143人				
				不自由さを感じていない	176人				344人				
				わからない	30人				3人				
				計	86人	379人	22.7%	減少	99人	589人	16.8%	▲5.9%	▲5.9%
	11 居住環境の整備	自分が居住する住宅に関して不安を感じている割合	ご自身が住んでいる住宅に不安を感じていますか。	不安を感じている	97人				172人			-	◎
				どちらかといえば不安を感じている	281人				682人				
				どちらかといえば不安を感じていない	388人				942人				
				不安を感じていない	333人				745人				
				わからない	38人				68人				
				計	378人	1,137人	33.2%	減少	854人	2,609人	32.7%	▲0.5%	▲0.5%

第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果

◎：目標達成 △：現状維持 ×：目標未達成

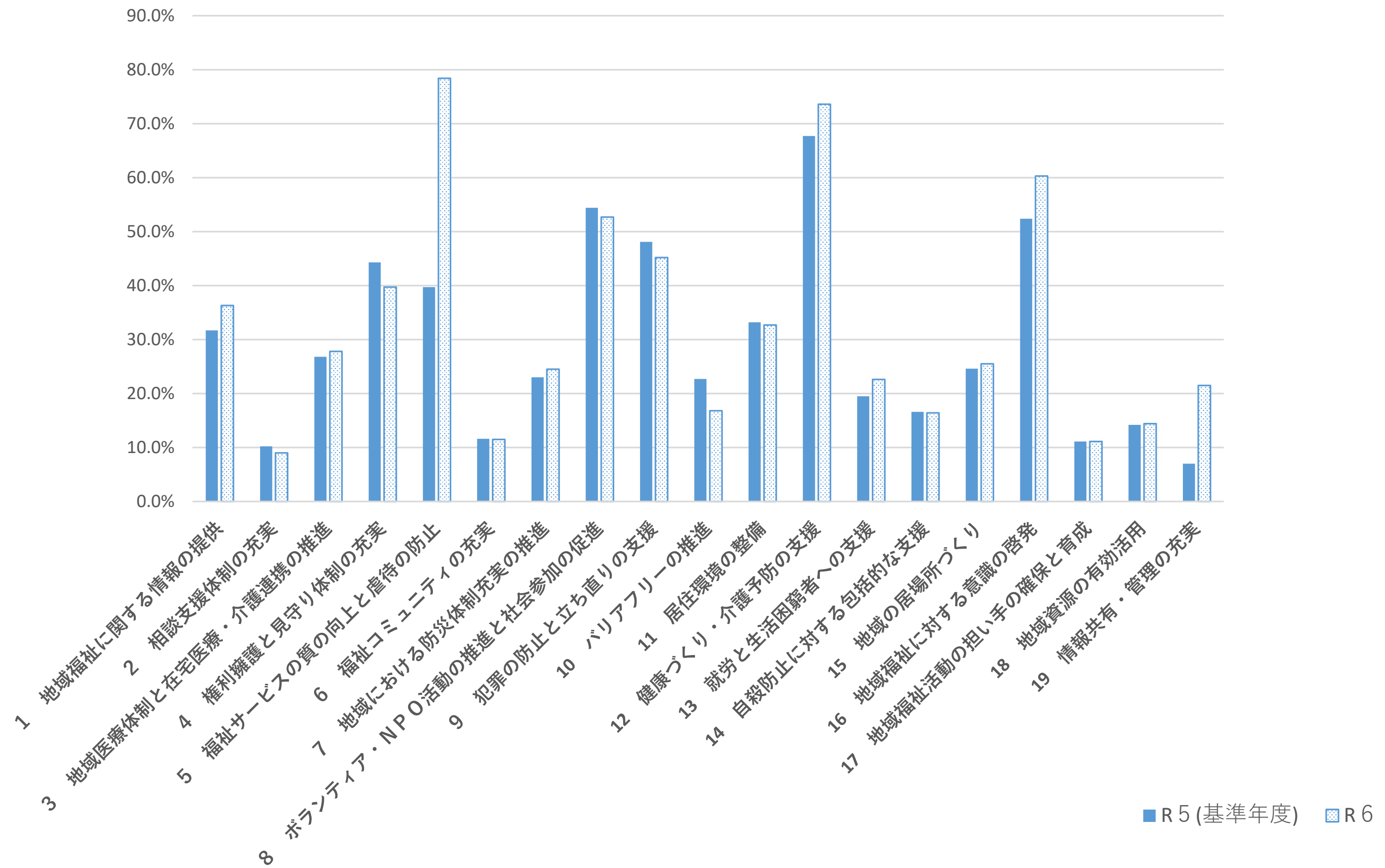
基本目標	施策の方向	成果指標	設問	該当選択肢	R6.1.9～1.22				R7.5.15～5.28					
					R5(基準年度)				R6					
					回答者数	有効回答者数	割合	目標値	回答者数	有効回答者数	割合	対前年度	対基準年度	
Ⅳ 生きがいを感じるまちをつくる	12 健康づくり・介護予防の支援	自分が心身ともに健康であると感じている割合	心身ともに健康であると感じていますか。	そう思う	183人				530人				-	◎
				どちらかといえばそう思う	587人				1,389人					
				どちらかといえばそう思わない	228人				440人					
				そう思わない	115人				216人					
				わからない	24人				34人					
				計	770人	1,137人	67.7%	増加	1,919人	2,609人	73.6%	+5.9%	+5.9%	
	13 就労と生活困窮者への支援	就労支援、社会的自立の支援が充実していると思う割合	高齢者・障がい者・ひとり親・生活困窮者等を対象にした就労支援・社会的自立の支援は充実していると思いますか。	そう思う	26人				58人				-	◎
				どちらかといえばそう思う	196人				532人					
				どちらかといえばそう思わない	295人				696人					
				そう思わない	159人				327人					
				わからない	461人				996人					
				計	222人	1,137人	19.5%	増加	590人	2,609人	22.6%	+3.1%	+3.1%	
	14 自殺防止に対する包括的な支援	1人で悩まずに困った時に相談できる窓口等があることを知っている割合	1人で悩まず困ったときには相談できる窓口等があることを知っていますか。	知っている（ある程度内容まで知っている）	189人				427人				-	×
				名称を見たり聞いたりしたことはある	533人				1,225人					
				知らない	415人				957人					
				計	189人	1,137人	16.6%	増加	427人	2,609人	16.4%	▲0.2%	▲0.2%	
	15 地域の居場所づくり	気軽に立ち寄れる地域の居場所がある割合	気軽に立ち寄れる地域の居場所はありますか。	ある	72人				173人				-	◎
				どちらかといえばある	208人				493人					
				どちらからいえない	274人				568人					
				ない	470人				1,125人					
				わからない	113人				250人					
				計	280人	1,137人	24.6%	増加	666人	2,609人	25.5%	+0.9%	+0.9%	

第5期市川市地域福祉計画 地域福祉を推進する主な取組・事業を実施した成果

◎：目標達成 △：現状維持 ×：目標未達成

基本目標	施策の方向	成果指標	設問	該当選択肢	R6.1.9～1.22				R7.5.15～5.28					
					R5(基準年度)				R6					
					回答者数	有効回答者数	割合	目標値	回答者数	有効回答者数	割合	対前年度	対基準年度	
Ⅴ 地 域 福 祉 推 進 の 基 盤 を 共 に つ く る	16 地域福祉に対する意識の啓発	他者の価値観の違いや存在を認め合っていると思う割合	他者の価値観の違いや存在を認め合っていると思いますか。	そう思う	67人				243人				-	◎
				どちらかといえばそう思う	529人				1,331人					
				どちらかといえばそう思わない	236人				451人					
				そう思わない	108人				197人					
				わからない	197人				387人					
				計	596人				1,137人					
				17 地域福祉活動の担い手の確保と育成	地域福祉活動の担い手が確保できていると思う割合	地域福祉活動※の担い手を確保できていると思いますか。 ※地域福祉活動とは、地域住民が主体となって、地域の多様な主体と連携しながら、地域の困りごとを解決しようとする様々な支え合い・助け合いの活動です。	十分確保できている	6人				19人		
	どちらかといえば確保できている	120人	270人											
	どちらかといえば確保できていない	340人	896人											
	確保できていない	282人	578人											
	わからない	389人	846人											
	計	126人	1,137人				11.1%	増加				289人		
	18 地域資源の有効活用	地域福祉活動の場が確保できていると思う割合	地域福祉活動の場を確保できていると思いますか。				十分確保できている	9人				29人		
				どちらかといえば確保できている	152人	346人								
				どちらかといえば確保できていない	319人	791人								
				確保できていない	229人	492人								
				わからない	428人	951人								
				計	161人	1,137人	14.2%	増加				375人		
				19 情報共有・管理の充実	活動に必要な情報の取得方法、適切な保管・管理方法を知っている割合	【地域福祉活動の担い手の方のみお答えください。】 地域福祉活動に必要な個人情報等の取得方法、適切な保管・管理方法を知っていますか。	知っている	19人				35人		
	一部知っている	105人	66人											
	まったく知らない	149人	62人											
	計	19人	273人				7.0%	増加	35人	163人	21.5%	+14.5%	+14.5%	

各指標の基準年度比較



第 1 回市川市社会福祉審議会	資料 3-①-5
令和 7 年 8 月 6 日（水）	

市川市成年後見制度利用促進基本計画の進捗状況報告について

市川市成年後見制度利用促進基本計画は、地域共生社会の実現に向け、尊厳のある本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できるようにすることを目的として、これを実現させるため 3 つの施策目標を設定しています。

本計画については、成年後見制度の利用促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、進行管理及び評価を行うものとなっており、今回は、令和 6 年度の評価について、ご報告するものです。

評価は、実施した事業内容について、A～D を用いて評価し、A 評価は達成率が 75% 以上、B 評価は達成率が 50% 以上 75% 未満、C 評価は 25% 以上 50% 未満、D 評価は 25% 未満として評価しています。

目標達成度は、それぞれの施策目標において設定した事業における A～D の評価を、それぞれ 100 点、75 点、50 点、25 点で配点し、その合計点を満点の数値で除し、これに 100 を乗じて得た数値を、「目標達成度」としています。（小数点以下は四捨五入）

今回の報告資料の構成は次のとおりです。

資料	資料番号
市川市成年後見制度利用促進基本計画 取組内容 令和 6 年度進捗状況について	3-①- 6
市川市成年後見制度利用促進基本計画 各進捗状況詳細資料（個票）	3-①- 7

市川市成年後見制度利用促進基本計画 取組内容 令和6年度進捗状況について

各事業の評価方法(A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点)※施策目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合(小数点以下、四捨五入)
A 十分達成できた(75%以上) B 概ね達成できた(50%以上75%未満) C やや不十分だった (25%以上50%未満) D 不十分だった(25%未満)

施策目標Ⅰ 制度への理解の促進

【目標達成度】		講演会等の開催、パンフレットの配布等を行い、市民・関係機関へ向けて成年後見制度の周知・啓発を図ることができた。		
100%				
	取組内容	評価	評価理由等	
1	成年後見制度の普及啓発	A	市民に向けた講演会、出前講座を開催し、制度の普及啓発を図ることができた。	
2	関係機関への周知・啓発	A	福祉関係者に向けた研修会を開催し、制度の周知・啓発を図ることができた。	
3	成年後見制度の相談支援	A	成年後見制度の周知が図られ、前年度より相談件数が増加した。	
4	任意後見制度の利用促進	A	利用促進を目的とした講演会を開催し、周知・啓発を行うことができた。	

施策目標Ⅱ 安心して利用できる制度の運用

【目標達成度】		市長申立制度、報酬費用助成制度の活用等により、身寄りのいない方や費用負担が困難な方でも成年後見制度を利用できるよう支援を行った。		
100%				
	取組内容	評価	評価理由等	
1	親族後見人への定期的支援	A	研修会の実施に加え、家庭裁判所の審判書に中核機関の案内を同封し、広報にも努めた。	
2	市長による審判請求手続き(市長申立て事務)	A	制度の周知が図られ、前年度より審判請求件数が増加した。	
3	受任調整会議の開催	A	毎月1回の会議の開催を開催し、適切な後見人の選任に繋がった。	
4	報酬費用の助成	A	制度の周知が図られ、適切な報酬を助成することができた。	

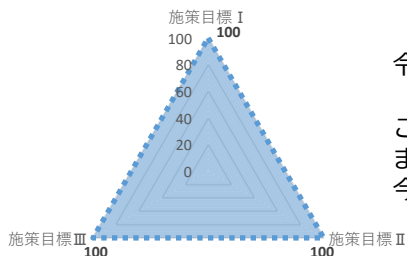
施策目標Ⅲ 中核機関の機能の充実と地域連携ネットワークの仕組みづくり

【目標達成度】		市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議を開催することで、本市における地域連携ネットワークを構築し、支援体制を強化することができた。		
100%				
	取組内容	評価	評価理由等	
1	地域連携ネットワークの体制整備	A	市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議の開催を2回に増やし、支援体制の基盤強化を行った。	
2	市民後見人の養成および活動支援	A	市民後見人養成講座の修了者に対して、育成を目的とした研修等を実施した。	

計画全体

【目標達成度】

100%



令和6年度の達成度は、100%となった。

これまで取り組んでいた講演会等を引き続き開催し、制度の周知・啓発を図った。
また、市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議の開催を増やし、支援体制の基盤強化を行った。
今回、強化した体制を基に、他の施策目標における取組内容についても、一層の強化を行っていきたい。

市川市成年後見制度利用促進基本計画 各進捗状況詳細資料（個票） （令和6年度分）

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 1 制度への理解の促進		① 成年後見制度の普及啓発	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課		
P L A N (計 画)	令和6年度～令和8年度の計画					
	広く地域住民に成年後見制度の周知を図るため、パンフレットの配布やホームページ、講演会、出前講座等を実施します。					
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画			
	・成年後見制度の周知を目的とした研修会等の開催。 ・パンフレットの配布	・成年後見制度の周知を目的とした研修会等の開催。 ・パンフレットの配布				
D O (実 行 ・ 実 績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果			
	・市民・関係者向けの講演会：3回 ・成年後見制度個別相談会：12回 ・出前講座：10回 ・成年後見制度の概要についてまとめたパンフレットを市民や福祉関係者に配布。					
C H E C K (評 価 ・ 分 析)	評価視点					
	成年後見制度の周知を実施したか。					
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価			
	A					
	評価理由	評価理由	評価理由			
A C T I O N (改 善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映			
	・周知・啓発の回数のみならず、発信する情報の質向上を図る。 ・金融機関・スーパー・コンビニ、その他困りごとのある方を発見する可能性のある場所への広報、啓蒙の取り組みの企画・実施を行う。					

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 1 制度への理解の促進		②関係機関への周知・啓発	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画			
	高齢者サポートセンター、基幹相談支援センターなどの相談機関やケアマネジャー、生活保護、生活困窮者の相談を受ける支援者等を対象とした研修会を開催し、制度の周知・啓発を進めます。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	福祉関係者・関係機関への研修会を開催する。	福祉関係者・関係機関への研修会を開催する。		
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	福祉関係者・関係機関を対象研修会：3回			
C H E C K （評価・分析）	評価視点			
	成年後見制度の周知を実施したか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	適切な回数の福祉関係者に向けた研修会を開催し、制度の周知・啓発を図ることができたため。			
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	特に障がい分野について、研修会の周知・広報方法を検討する必要がある。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 1 制度への理解の促進		③制度への理解の促進	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画			
	判断能力が低下した高齢者や障がい者の生命・財産を守り、地域での生活を継続できるよう、窓口や電話相談のほか訪問による相談、申立てに関する支援などを実施します。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	市川市社会福祉協議会、市川市高齢者サポートセンター、基幹相談支援センターえくるが相談窓口であることを周知し、申立てに関する支援等に繋げる。	市川市社会福祉協議会、市川市高齢者サポートセンター、基幹相談支援センターえくるが相談窓口であることを周知し、申立てに関する支援等に繋げる。		
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	相談件数：3,069件 (内訳) ・市川市社会福祉協議会：648件 ・市川市高齢者サポートセンター：2,222件 ・基幹相談支援センターえくる：199件			
C H E C K (評価・分析)	評価視点			
	成年後見制度の相談・支援を推進できたか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	成年後見制度の周知が図られ、前年度より相談件数が増加したため。			
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	相談件数が増加しているため、更なる相談体制の整備、関係機関へ周知、共有及び連携が必要とされる。中核機関の各会議を活用し、広報・周知を行う。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 1 制度への理解の促進		④任意後見制度の利用促進	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画			
	利用者の自発的意思を尊重する任意後見制度について正しく理解し、適切に安心して利用できるよう周知していきます。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	任意後見制度の周知を目的とした講演会を開催する。	任意後見制度の周知を目的とした講演会を開催する。		
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	市民・関係者向けに終活についての講演会を1回行い、その中で、任意後見契約について周知した。			
C H E C K （評価・分析）	評価視点			
	任意後見制度の周知を実施したか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	利用促進を目的とした講演会を開催し、制度の周知・啓発を行うことができたため。			
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	引き続き、周知・啓発になるような講演会の内容やあり方を精査していくとともに、身寄りのない方の相談の対応についても体制づくりを関係者間で協議を進めていく。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 2 安心して利用できる制度の運用		①親族後見人への定期的支援	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N （ 計 画 ）	令和6年度～令和8年度の計画			
	親族後見人が適切に後見人業務に取り組むことができるよう、家庭裁判所と連携し、活動を支援する体制を整備します。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	親族後見人を対象とする研修会を開催する。	親族後見人を対象とする研修会を開催する。		
D O （ 実 行 ・ 実 績 ）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	後見人のつどいを 1 回開催した			
C H E C K （ 評 価 ・ 分 析 ）	評価視点			
	親族後見人を支援する体制整備を実施したか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	研修会の実施に加え、家庭裁判所の審判書に中核機関の案内を同封し、広報にも努めたため。			
A C T I O N （ 改 善 ）	令和 7 年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	家庭裁判所等と協議を重ね、より一層の周知・啓発に向けて取り組む。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 2 安心して利用できる制度の運用		②市長による審判請求手続き (市長申立て事務)	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N (計画)	令和6年度～令和8年度の計画			
	成年後見制度の利用が必要と認められる方で本人、家族や親族等による申立てが期待できない場合に、市長が家庭裁判所に後見等開始の審判請求手続きを行います。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	対象者の状況を精査し、市長申立てに係る手続きを行う。	対象者の状況を精査し、市長申立てに係る手続きを行う。		
D O (実行・実績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	審判請求件数：34件			
(評価・分析) C H E C K	評価視点			
	市長による審判請求手続きを適切に行うことができたか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	制度の周知が図られ、前年度より審判請求件数が増加したため。			
A C T I O N (改善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	・対象者の状況を関係機関と連携し早急に把握する。 ・市長申立てが必要と判断した場合は迅速な手続きを実施する。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 2 安心して利用できる制度の運用		③受任調整会議の開催	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N (計 画)	令和6年度～令和8年度の計画			
	本人にあった成年後見人等（団体等）を推薦できるように会議を開催し、調整を行います。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	権利擁護相談における「後見人等選任後の支援方針」および「適切な後見人等候補者」について、専門職を交え協議する受任調整会議を開催する。	権利擁護相談における「後見人等選任後の支援方針」および「適切な後見人等候補者」について、専門職を交え協議する受任調整会議を開催する。		
D O (実 行 ・ 実 績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	受任調整会議：12回（月1回）			
C H E C K (評 価 ・ 分 析)	評価視点			
	受任調整会議を定期的に行うことができたか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	受任調整会議で纏められた意見を「申立事情説明書」に記載することで、適切な後見人の選任に繋がったため。			
A C T I O N (改 善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	後見人等の交代について、国の動向等を踏まえ、家庭裁判所・各関係団体とともに連携し、協議を重ねていく。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 2 安心して利用できる制度の運用		④報酬費用の助成	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N (計 画)	令和6年度～令和8年度の計画			
	成年後見制度を利用している方で、低所得や資産等の事情により、成年後見人等への報酬を負担することが困難な方に市が報酬の一部を助成します。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	報酬の一部助成等、成年後見制度を安心して利用できるよう支援し、制度の利用促進に繋げる。	報酬の一部助成等、成年後見制度を安心して利用できるよう支援し、制度の利用促進に繋げる。		
D O (実 行 ・ 実 績)	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	報酬助成件数：117件			
(C H E C K ・ 分 析)	評価視点			
	成年後見人等に対し、報酬を適切に助成できたか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	成年後見制度の周知が図られ、予算内で適切な報酬助成を行ったため。			
A C T I O N (改 善)	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	現行の制度内容を精査し、必要な方に制度が行き届くよう体制作りを進めていく。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 3 中核機関の機能の充実と地域連携ネットワークの仕組みづくり		①地域連携ネットワークの体制整備	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N （計画）	令和6年度～令和8年度の計画			
	市民及び地域とともに、行政、家庭裁判所、民間の団体等が一体的に連携・協力し、支援を必要とする方を、早期に発見し、適切な支援につなげるための体制づくりを行います。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議を開催する。	市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議を開催する。		
D O （実行・実績）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	開催回数：2回			
C H E C K （評価・分析）	評価視点			
	地域連携ネットワークの体制整備を実施したか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	市川市成年後見制度等地域連携ネットワーク会議の開催を前年度1回から2回に増やし、支援体制の基盤強化を行ったため。			
A C T I O N （改善）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	出席者を見直し、より綿密な地域連携ネットワークを構築していく。			

市川市成年後見制度利用促進基本計画 自己評価シート

施策目標 3 中核機関の機能の充実と地域連携ネットワークの仕組みづくり		②市民後見人の養成及び活動支援	担当課	地域包括支援課、障がい者支援課
P L A N （ 計 画 ）	令和6年度～令和8年度の計画			
	権利擁護を支援する体制の確保、地域共生社会の実現へ向けた人材育成や参加支援を目指した市民後見人の養成を継続していきます。			
	令和6年度の計画	令和7年度の計画	令和8年度の計画	
	市川市後見支援センターにおいて、市民後見人候補者を養成、育成することで、成年後見制度の担い手の体制整備を行う。	市川市後見支援センターにおいて、市民後見人候補者を養成、育成することで、成年後見制度の担い手の体制整備を行う。		
D O （ 実 行 ・ 実 績 ）	令和6年度の成果	令和7年度の成果	令和8年度の成果	
	・養成講座修了者に対する定期研修：3回 ・市民後見人6名の相談支援を実施			
C H E C K （ 評 価 ・ 分 析 ）	評価視点			
	市民後見人の養成に向けた施策を実施したか。			
	令和6年度評価	令和7年度評価	令和8年度評価	
	A			
	評価理由	評価理由	評価理由	
	市民後見人養成講座の修了者に対して、育成を目的とした研修等を適切な回数実施したため。			
A C T I O N （ 改 善 ）	令和7年度への反映	令和8年度への反映	令和9年度への反映	
	市民後見人養成講座の修了者の育成と併せて、第3期市民後見人養成研修を行う。			

第 9 期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 の進捗状況報告について

「市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念の実現に向けて、施策ごとに事業・取組みの進行管理のための評価指標を設定しています。

「第 9 期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」における記載ページ

○施策体系	p.44
○施策及び進行管理事業	p.100-101

▶ 今回の報告資料の構成は次のとおりです。

資料名	資料番号
事業実績及び評価	
第 9 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 進行管理事業 令和 6 年度進捗状況について	資料 3-②-2
第 9 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 各年度の進捗状況	資料 3-②-3
第 9 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 事業別個票（令和 6 年度分）	資料 3-②-4

▶ 目標達成度 ……A評価＝100点、B評価＝75点、C評価＝50点、D評価＝25点として配点し、基本目標ごとに、評価の合計点数を満点数で除して得た割合（小数点以下、四捨五入）

基本目標1 自分らしく「自立」した生活をおくる

目標達成度	市公式LINEの情報サービス登録者数が拡大し、高齢者が情報を得る手段も変化している。従来の紙媒体のみならず、パソコンやスマートフォンを通じた情報収集も広がりつつあると考えられる。
96%	

施策	個票No.	進捗管理事業	評価
(1) 多様な社会参加の促進	1	社会参加に関する情報提供	A
	2	いきいきセンターの運営	A
(2) 介護予防と健康づくりの推進	3	いちわかプログラム(通所型短期集中予防サービス事業)	A
	4	わっしょいフレイル予防（介護予防普及啓発事業）	A
(3) 生活支援や見守りの充実	5	市川市地域見守り活動に関する協定	A
(4) 認知症への理解の促進	6	認知症サポーター養成講座の開催	B

基本目標2 尊厳ある暮らしを最期まで支える

目標達成度	介護が必要な方やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、各会議等を開催し、関係者のネットワーク構築に努めた。
100%	

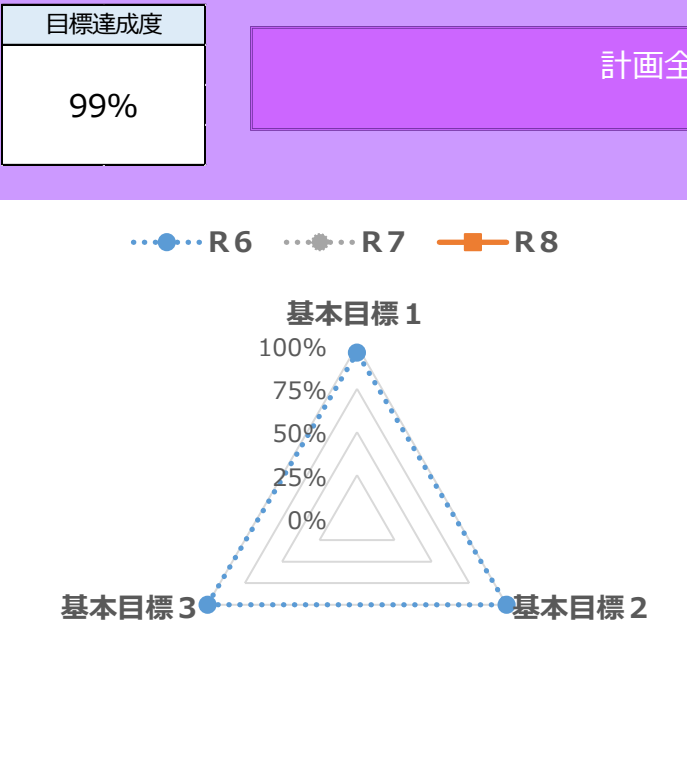
施策	個票No.	進捗管理事業	評価
(1) 高齢者サポートセンターの機能強化とケアマネジメント支援	7	地域ケア個別会議	A
(2) 在宅医療・介護連携の推進	8	在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築	A
(3) 連携による認知症への支援	9	認知症地域支援推進委員の配置	A
(4) 介護者の負担軽減	10	「家族介護教室」や「認知症カフェ」による介護者の支援	A
(5) 権利擁護の支援	11	高齢者虐待を未然に防ぐ取り組み	A

基本目標3 安心と共生の基盤をつくる

目標達成度	福祉・介護分野の人材の確保および定着に向け、介護に関する入門的研修を実施し、多くの参加があった。また、認知症にやさしいお店・事業所や民間賃貸住宅のあっせん制度の申し込み件数が目標値を大きく上回った。
100%	

施策	個票No.	進捗管理事業	評価
(1) 誰もが共に暮らす地域へ	12	「認知症にやさしいお店・事業所」の認定	A
(2) 安心して暮らし続けられる住まいへ	13	住宅確保要配慮者等民間賃貸住宅あっせん制度	A
(3) 介護人材確保と業務効率化の支援	14	介護に関する入門的研修	A
(4) 保険者機能の強化に向けて	15	地域ケア推進会議	A

計画全体の総括



第9期計画の1年目にあたる令和6年度の実績は、ほとんどの施策において目標を達成したが、検討を要する事業が多々あるため、事業の質の向上に取り組んでいく必要がある。地域の多様な主体とともに問題解決を目指し、安心して暮らし続けられる体制を整えていく。

第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 各年度の進捗状況

第1回 市川市社会福祉審議会	資料3-②-3
令和7年8月6日（水）	

推進体制	施策	個票No.	進捗管理事業	進捗管理の指標	R 6				R 7				R 8			
					目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度
基本目標 1 自分らしく「自立」した生活を送る	(1) 多様な社会参加の推進	1	社会参加に関する情報提供	市公式LINE「通いの場」登録者数	1,200人	14,958人	A	96%								
		2	いきいきセンターの運営	新規登録人数	400人	486人	A									
	(2) 介護予防の健康づくりの推進	3	いちわかプログラム(通所型短期集中予防サービス事業)	プログラム参加人数	40人	51人	A									
		4	わっしょいフレイル予防（介護予防普及啓発事業）	市公式LINE「健康長寿」の登録者数	2,100人	4,827人	A									
	(3) 生活支援や見守りの充実	5	市川市地域見守り活動に関する協定	登録団体数	32団体	36団体	A									
	(4) 認知症への理解の促進	6	認知症サポーター養成講座の開催	学校や職域における認知症サポーター養成講座開催事業所数	15団体	13団体	B									

推進体制	施策	個票No.	進捗管理事業	進捗管理の指標	R 6				R 7				R 8			
					目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度
基本目標 2 尊厳ある暮らしを最期まで支える	(1) 高齢者サポートセンターの機能強化のケアマネージメント支援	7	地域ケア個別会議	地域ケア個別会議の開催回数	60事例	60事例	A	100%								
	(2) 在宅医療・介護連携の推進	8	在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築	在宅医療・介護連携推進に関する会議の開催回数	3回	3回	A									
	(3) 連携による認知症への支援	9	認知症地域支援推進委員の配置	認知症ガイドブック（概要版）配架窓口数	88カ所	159カ所	A									
	(4) 介護者の負担軽減	10	「家族介護教室」や「認知症カフェ」による介護者の支援	家族介護教室の開催回数	45回	45回	A									
	(5) 権利擁護の支援	11	高齢者虐待を未然に防ぐ取り組み	市川市高齢者虐待の防止に関する会議の開催回数	1回	1回	A									

推進体制	施策	個票No.	進捗管理事業	進捗管理の指標	R 6				R 7				R 8			
					目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度	目標値	実績値	評価	達成度
基本目標 3 安心と共生の基盤をつくる	(1) 誰もが共に暮らす地域へ	12	「認知症にやさしいお店・事業所」の認定	認定事業所数	25事業所	44事業所	A	100%								
	(2) 安心して暮らし続ける住まいへ	13	住宅確保要配慮者等民間賃貸住宅あっせん制度	あっせん制度の申込件数	45件	68件	A									
	(3) 介護人材の確保と業務効率化の支援	14	介護に関する入門的研修	入門的研修の参加人数	45人	51人	A									
	(4) 保険者機能の強化に向けて	15	地域ケア推進会議	地域ケア推進会議の開催回数	2回	2回	A									

第1回 市川市社会福祉審議会	資料3-②-4
令和7年8月6日（水）	

第9期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 事業別個票
（令和6年度分）

基本目標1・施策(1) 多様な社会参加の促進①

No.1

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、社会とつながりを持つことができる居場所や、生きがいを持って活躍できる機会が必要です。高齢者をはじめとする住民が、地域の支え手として活躍することや、興味・関心に応じて参加できる機会が拡充するよう、基盤となる団体への支援を継続するほか、情報提供やマッチングによって多様な社会参加の促進を図ります。



【地域共生課】

社会参加に関する情報提供 (計画書P.49)		市公式LINE の情報配信サービスでは、登録者の希望する分野の情報を受信することができます。「通いの場」は、地域住民が集う活動の場などの紹介を行っています。		
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標	市公式LINE「通いの場」登録者数:前年度実績(1,200人)より増加	市公式LINE「通いの場」登録者数:前年度実績より増加	市公式LINE「通いの場」登録者数:前年度実績より増加
	具体的な行動計画	高齢者のSNS利用率が年々増加する中、配信の実施により、高齢者の社会参加の促進を図りたい。令和6年度も引き続き、登録者の獲得に取り組む。	高齢者のSNS利用率が年々増加する中、配信の実施により、高齢者の社会参加の促進をはかりたい。令和7年度も引き続き、登録者の獲得に取り組む。	

D O	実行内容 (年度末時点)		「通いの場」の配信(4月～)		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	14,958人		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		配信の登録者数について前年度より増加させることができた。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		代表的な「通いの場」である高齢者クラブ情報の配信や「てるぼサロン」情報の配信を継続する。		

基本目標1・施策(1) 多様な社会参加の促進②

No.2

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、社会とつながりを持つことができる居場所や、生きがいを持って活躍できる機会が必要です。高齢者をはじめとする住民が、地域の支え手として活躍することや、興味・関心に応じて参加できる機会が拡充するよう、基盤となる団体への支援を継続するほか、情報提供やマッチングによって多様な社会参加の促進を図ります。



【地域共生課】

いきいきセンターの運営 (計画書P.50)		高年齢者の自主的な社会参加・学習活動を行う場であるいきいきセンター(老人福祉センター、老人いきいきの家および地域共生センター)などの公共施設を活用し、余暇時間の充足や交流機会の充実を図るとともに、仲間づくりや健康づくりを推進します。老人福祉センターは1施設、老人いきいきの家は11施設、地域共生センター1施設を運営しています。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	新規登録者数:400人	新規登録者数:400人	新規登録者数:400人	
	具体的な行動計画	いきいきセンターの新規登録は、市主催教養講座「シニアカレッジ」の受講をきっかけとする場合が多い。令和6年度も引き続き、シニアカレッジを開催し、新たな利用者の獲得に取り組む。	シニアカレッジに新たな講座を追加することや居場所づくりの取り組みを推進することで新たな利用者の獲得に取り組む。		

D O	実行内容 (年度末時点)		・シニアカレッジの実施(①5月～、②11月～)		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	486人		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		市主催教養講座「シニアカレッジ」やモデルケースとして開始した居場所づくりの取り組みにより指標を大きく上回ることができたため。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		市主催教養講座「シニアカレッジ」について、新たな講座メニューを増やすことなどを検討とともに、居場所づくりの取り組みを展開することで、新たな利用者の参加を推進する。		

基本目標1・施策(2) 介護予防と健康づくりの推進①

No.3

健康寿命の延伸に向けて、誰もが自らの健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことが重要です。多くの市民が、なるべく早期から健康づくりや介護予防に取り組むよう、様々な方法で普及啓発を行います。また、介護予防に資する「通いの場」の充実を図るとともに、心身機能の低下があった場合に、集中的に取り組むことを支援し、介護予防・重度化防止に努めます。



【地域包括支援課】

いちわかプログラム(通所型短期集中予防サービス事業) (計画書P.53)		フレイルの状態(心身の活力が低下した状態)にある方を対象とした、生活機能の向上を目的として短期間集中的に取り組む介護予防プログラムです。事業所に通い、リハビリ専門職の助言のもとで個別のプログラムを実施することで、“元気な生活”を取り戻し(リエイブルメント)、社会参加を目指します。		
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標	プログラム参加人数:前年度実績(40人)より増加	プログラム参加人数:前年度実績より増加	プログラム参加人数:前年度実績より増加
	具体的な行動計画	新規の事業対象者および要支援認定者と判定された方の被保険者証に事業のチラシを同封する。 地区社協の相談員会議など地域住民の集う場にて周知を行う。	・新規の事業対象者および要支援認定者と判定された方の被保険者証に事業のチラシを同封する。 ・地区社協の相談員会議など地域住民の集う場にて周知を行う。 ・高齢者サポートセンターに適宜事業説明を実施していく。	

D O	実行内容 (年度末時点)		令和6年度新規事業対象者および要支援認定者の決定通知に同封した数:2,388通 地区社協相談員会議(5会場)で周知及びチラシ配架		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	51人		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		事業チラシの同封や地域住民の集う場にて周知を行った結果、事業利用者の増加に繋がった。また、事業利用者の8割以上がセルフマネジメント獲得や地域・趣味活動に事業の目的であるリエイブルメントに繋がった。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		一定の利用者数増は見られたが、大幅な増加には至らなかったことから、事業のメインターゲットがフレイルの相談をする高齢者サポートセンターに対して事業説明を強化することで一層の事業参加を促す。		

基本目標1・施策(2) 介護予防と健康づくりの推進②

No.4

健康寿命の延伸に向けて、誰もが自らの健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことが重要です。多くの市民が、なるべく早期から健康づくりや介護予防に取り組むよう、様々な方法で普及啓発を行います。また、介護予防に資する「通いの場」の充実を図るとともに、心身機能の低下があった場合に、集中的に取り組むことを支援し、介護予防・重度化防止に努めます。



【地域包括支課】

わっしょいフレイル予防(介護予防普及啓発事業) (計画書P.54)		加齢に伴い、心身の機能や社会とのつながりが弱くなった状態を“フレイル”と言います。早めにフレイルに気づき社会参加や介護予防を心がけることで、フレイルの進行を防ぎ、健康な状態に戻ることができます。市は、情報発信や講座開催などを通じフレイル予防の意識付けに努めます。		
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標	市公式LINE「健康長寿」の登録者数:前年度実績(2,100人)より増加	市公式LINE「健康長寿」の登録者数:前年度実績より増加	市公式LINE「健康長寿」の登録者数:前年度実績より増加
	具体的な行動計画	ポスター掲示、チラシ配架、講座参加者や通いの場等で周知しLINE登録者数の増を目指す。	定期的な配信の継続および周知、さらに参加型のコミュニケーション等により、登録者数の増を目指す。	

D O	実行内容 (年度末時点)		ポスター掲示や講座等で市民へLINE登録を周知・案内している。また、登録者の年代を任意回答で把握に努めている。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	4,827人(R7年3月28日時点)		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		登録者数が前年度実績を上回ったため、指標達成とした。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた次年度の留意点・改善点		登録者数の増加に伴い、情報配信に留まらず、介護予防に関する知識や認知度の確認やニーズ把握等も可能と考えられるため、効果的な活用策を検討していきたい。		

基本目標1・施策(3) 生活支援や見守りの充実

No.5

年齢を重ねても、できることはなるべく自分で、できない部分は周囲の手助けやサービスを利用して、その人らしい、「自立」した生活を送ることができるよう、市は、高齢者の日常生活上のニーズや課題、必要な地域資源を把握し、地域の多様な主体と連携して、生活支援体制の充実に努めます。



【地域包括支援課】

市川市地域見守り活動に関する協定 (計画書P.59)			市内新聞販売所や宅配業者などの事業者と、地域の見守り活動に関する協定を締結しています。事業者が日常業務を行う中で高齢者の異変などを発見した場合は通報し、市と連携を図りながら、安否などを見守り、適切な対応を行っていきます。			
年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標		登録団体:32団体	登録団体:前年度実績(または見込)から増加	登録団体:前年度実績(または見込)から増加	
	具体的な行動計画		チラシ等による協定の周知 事業者への周知方法の拡大	チラシ等による協定の周知 他事業と連携し、登録団体の増加を図る		
D O	実行内容 (年度末時点)		チラシ作成			
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	36団体			
		自己評価 (事業全体)	A			
	自己評価の理由		登録団体数が指標を上回ったため。			
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		チラシ等による周知を行うとともに、周知 方法の拡大として他事業との連携を図る。			

基本目標1・施策(4) 認知症への理解の促進

No.6

認知症は、「誰もがなりうるもの」であり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものです。認知症の人が尊厳を保持しつつ社会の一員として尊重される地域の実現をめざし、常に認知症の人の立場に立ち、認知症の人およびその家族の意向尊重への配慮に向けて、認知症に関する知識と理解が市民に深められるよう、様々な機会を活用して認知症に関する啓発の推進を図ります



【地域包括支援課】

認知症サポーター養成講座の開催 (計画書P.60)			「認知症サポーター」は認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を応援する人です。地域住民をはじめ、高齢者と接する様々な職種の方々や学生など、幅広く養成講座への参加を呼びかけ、認知症の人を地域全体で支え合う体制を整えていきます。			
年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標		学校や職域における認知症サポーター養成講座開催団体数:前年度実績(15団体)より増加	学校や職域における認知症サポーター養成講座開催団体数:前年度実績より増加	学校や職域における認知症サポーター養成講座開催団体数:前年度実績より増加	
	具体的な行動計画		認知症地域支援推進員等を通じた周知活動を実施し、学校や職域における講座の開催数の増加を図る。	周知先を拡大し、学校や職域における講座の開催数の増加を図る。		
D O	実行内容 (年度末時点)		学校や職域における認知症サポーター養成講座の実施。			
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	13団体			
		自己評価 (事業全体)	B			
	自己評価の理由		職域は9団体受講したが、学校は4団体の受講にとどまり、講座の開催が前年度実績を下回ったため。			
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		学校における講座の開催数が少なかったことから、私立の小・中学校等を含めた学校への周知活動を強化する。			

基本目標2・施策(1) 高齢者サポートセンターの機能強化のケアマネジメント支援

No.7

介護が必要になっても、可能な限り在宅で生活を送れるよう、身近な相談窓口の周知を図り、個々の状況に応じた適切なケアマネジメントを推進します。また、高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を拠点に、医療や地域の関係団体・機関による各種ネットワークを結びつけ、効果的な支援が可能となるネットワークの構築を図ります。



【地域包括支援課】

地域ケア個別会議 (計画書P.66)		「地域ケア個別会議」は、医療・介護などの専門職をはじめ、地域の多様な関係者が協働し、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、高齢者の生活を地域全体で支援することを目的として実施します。高齢者サポートセンターおよび市は、積極的に「地域ケア個別会議」を開催します。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	地域ケア個別会議の開催:60事例	地域ケア個別会議の開催:60事例	地域ケア個別会議の開催:60事例	
	具体的な 行動計画	地域ケア個別会議の運営 地域ケア個別会議として、以下の会議を実施 ①処遇困難事例についての地域ケア個別会議(高齢者サポートセンター主催) ②自立支援、ケアマネジメント支援を目的とした地域ケア個別会議(市が主催し4つのエリアごとに実施)	地域ケア個別会議の運営 地域ケア個別会議として、以下の会議を実施 ①処遇困難事例についての地域ケア個別会議(高齢者サポートセンター主催) ②自立支援、ケアマネジメント支援を目的とした地域ケア個別会議(市が主催し4つのエリアごとに実施)		
D O	実行内容 (年度末時点)		市主催 6回 30事例の検討を実施。 センター主催 30回 30事例の検討を実施。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	60事例		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		指標の回数を達成したため。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		地域ケア会議について、関係機関に周知するとともに、高齢者サポートセンターの業務負担(記録の簡素化等)について検討を行っていく。		

基本目標2・施策(2) 在宅医療・介護連携の推進

No.8

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するために、住民や地域の医療・介護関係者と地域の目指すべき姿を共有しつつ、医療機関と介護事業所などの関係者の連携を推進します。



【地域包括支援課】

在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築 (計画書P.69)		医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面(日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り)において、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、PDCAサイクル(①課題抽出と対応策の検討、②対応策の実施、③対応策の評価、④改善の取組み)に取り組めます。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	在宅医療・介護連携の推進に関する会議の開催回数:3回	在宅医療・介護連携の推進に関する会議の開催回数:3回	在宅医療・介護連携の推進に関する会議の開催回数:3回	
	具体的な行動計画	会議を開催し、地域の医療・介護関係者と協議を重ね、PDCAサイクルに沿って、在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に取り組む。	会議を開催し、地域の医療・介護関係者と協議を重ね、PDCAサイクルに沿って、4つの場面における連携構築を強化するとともに、多職種情報連携システムの活用方法の検討を協議する等在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に取り組む。		

D O	実行内容 (年度末時点)		6月27日 R6年度事業計画について 10月31日 認知症施策推進計画について 令和7年1月28日 R6年度実績評価と評価		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	3回		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		指標の開催回数を達成したため。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		充実した協議内容となるよう、日頃から医療・介護関係者の声に耳を傾け、会議当日に向けての準備を丁寧に行う。次年度は多職種情報連携システムの活用方法の検討などを中心に予定している。		

基本目標2・施策(3) 連携による認知症への支援

No.9

認知症の人の尊厳が保たれ、最期までその人らしく暮らし続けるために、認知症の人の意思決定の支援が適切に行われ、その意向を十分に尊重し、尊厳を保持しつつ切れ目なく保健医療サービス、福祉サービスその他のサービスが提供されるよう支援します。



【地域包括支援課】

認知症地域支援推進委員の配置 (計画書P.71)			認知症地域支援推進員を高齢者サポートセンターに配置し、認知症の人に対し、状態に応じた適切な支援が行われるよう、医療・介護および地域の多世代の様々な人たちや生活関連領域に係る関係者の連携を図る取組を行い、周囲からの認知症の人やその家族への理解や協力を深め、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進します。		
年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標		認知症ガイドブック(概要版)配架窓口:前年度実績(88カ所)より増加	認知症ガイドブック(概要版)配架窓口:前年度実績より増加	認知症ガイドブック(概要版)配架窓口:前年度実績より増加
	具体的な行動計画		認知症地域支援推進員の訪問活動により、認知症に理解のある店舗等を増やすことで、認知症ガイドブックの新規設置場所を増やす。	認知症地域支援推進員が訪問活動を行い、認知症に理解のある店舗等を増やすことで、市内全域に幅広く認知症ガイドブックの新規設置場所を増やす。	
D O	実行内容 (年度末時点)		認知症ガイドブックを新たに病院・薬局・飲食店・コンビニ・銀行などに設置した。 (新規設置71カ所)		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	159カ所		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		・認知症地域支援推進員の活動を通して、銀行や郵便局、薬局など市民が目にしやすい場所で、認知症ガイドブックを配架することができた。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた次年度の留意点・改善点		配架地域に偏りがあるため、配架されていない地域に、より訪問活動を通し周知を行う。		

基本目標2・施策(4) 介護者の負担軽減

No.10

介護を必要とする高齢者の主な介護は、子や配偶者など家族が担っており、介護サービスの利用の有無にかかわらず、身体的・精神的・経済的な負担感や孤立感を有している人もいます。必要な介護サービスの確保を図るとともに、働く人が家族の介護のために離職せざるを得ない状況を防ぎ、ヤングケアラーを含めた家族における介護の負担軽減のための取り組みを推進します。



【地域包括支援課】

「家族介護教室」や「認知症カフェ」による介護者の支援 (計画書P.73)		高齢者サポートセンターでは、介護者の健康や介護に関する個別相談に応じ、必要な指導・助言を行うほか、介護技術の講習や介護者同士の交流を目的とした教室を開催します。		
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標	家族介護教室の開催数:45回	家族介護教室の開催数:45回	家族介護教室の開催数:45回
	具体的な行動計画	要介護被保険者の状態の維持・改善を目的とした、適切な介護知識・技術の学習や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する。	要介護被保険者の状態の維持・改善を目的とした、適切な介護知識・技術の学習や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催し、関係機関等の研修会や広報で周知する。	
D O	実行内容 (年度末時点)		要介護被保険者の状態の維持・改善を目的とした、適切な介護知識・技術の学習や、外部サービスの適切な利用方法の取得等をテーマとした介護予防教室を開催した。	
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	45回	
		自己評価 (事業全体)	A	
	自己評価の理由		指標の回数、会議を開催し、家族介護者への支援を行うことができた。(参加人数は延べ578名)	
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		より多くの、支援が必要な家族介護者の参加を促すため、関係機関等の研修会や広報といった周知方法を検討する。	

基本目標2・施策(5) 権利擁護の支援

No.11

認知症などにより判断能力が不十分な人や、生活上に何らかの問題を抱え、解決できず困難な状況にある高齢者に対し、地域や入所施設において尊厳のある生活を維持し安心して生活を送ることができるように支援します。地域の関係者や事業者との協力・連携体制の構築を図り、高齢者虐待の早期発見を図るとともに、関係機関と連携して対応を行います。また、高齢者を対象とした振り込め詐欺や悪質商法などの犯罪に関する注意喚起や相談活動などを進めていくことで、広く地域の高齢者の権利を守ります。



【地域包括支援課】

高齢者虐待を未然に防ぐ取組み (計画書P.76)		高齢者虐待を発見した場合の通報先や相談窓口の周知を図るとともに、高齢者虐待を未然に防止するための啓発として、市民、介護支援専門員(ケアマネジャー)、高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)職員、介護サービス事業所および施設の職員を対象とした「高齢者虐待防止研修会」を引き続き開催します。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	市川市高齢者虐待の防止に関する会議の開催回数:1回	市川市高齢者虐待の防止に関する会議の開催回数:1回	市川市高齢者虐待の防止に関する会議の開催回数:1回	
	具体的な行動計画	「市川市高齢者虐待の防止に関する会議」を開催し、本市における高齢者虐待の現状及び課題に関すること等の情報交換を行う。	「市川市高齢者虐待の防止に関する会議」を開催し、本市における高齢者虐待の現状及び課題に関すること等の情報交換を行う。今年度は、複合化した問題に対する対応についてをテーマに開催予定。		

D O	実行内容 (年度末時点)		令和6年11月26日に市川市高齢者虐待の防止に関する会議を開催。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	1回		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		本市の高齢者虐待の状況をテーマとする会議を開催し、個別の事例を通して、各支援機関の事業内容や付随する状況や情報の共有を進めることができた。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		関係機関と迅速な情報交換ができるよう体制を強化していく。特に近年、養護者が障がいを抱えていたり、生活困窮状態にあるなど、他領域の問題を複合化しているケースが多くなっているため、関係機関との連携を強化していく。		

基本目標3・施策(2) 誰もが共に暮らす地域へ

No.12

誰もが社会から孤立せず、世代や背景を超えて相互に支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、お互いに理解し、偏見をなくすることが重要です。本計画では、認知症に関する地域の理解が深められ、認知症の人とその家族が日常生活および社会生活を円滑に送ることができ、認知症の人が尊厳を保持しつつ他の人々と共生できる地域の実現を目指します。また、様々な困難を抱えたとしても、安心してその人らしい生活を送ることができるよう、制度の壁を越えた柔軟な支援に取り組みます。



【地域包括支援課】

「認知症の人にやさしいお店・事業所」の認定 (計画書P.83)		認知症の人にやさしい取組みを行っている店舗および事業所を、「認知症の人にやさしいお店・事業所」として認定し、広く市民に周知することにより、認知症の人や家族が不自由なく生活できる環境を整えます。		
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標	認定事業所数： 前年度(25事業所)実績より増加	認定事業所数： 前年度実績より増加	認定事業所数： 前年度実績より増加
	具体的な 行動計画	周知活動を充実させ、認定事業所数の増加を図る。	認知症サポーター養成講座と併せて周知し、認定事業所数の増加を図る。	
D O	実行内容 (年度末時点)		認知症地域支援推進委員会が中心となり、地域で認知症の人にやさしい取組みを実施している事業所等へ周知を行った。	
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	44事業所	
		自己評価 (事業全体)	A	
	自己評価の理由		法律事務所や認知症カフェが新たに加わり、前年度実績より増加したため。	
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		認知症の人にやさしい取組みを行っている事業所であっても、認定要件の1つである認知症サポーターの配置を満たしていない場合があるため、やさしいお店・事業所の周知と並行して認知症サポーター養成講座の周知活動を実施する。	

基本目標3・施策(2) 安心して暮らし続けられる住まいへ

No.13

「住まい」は地域における生活の基盤となるものです。年齢や家庭事情、生活困窮などにより住宅の確保が困難とならないよう、円滑な入居を支援するとともに、安全・安心な生活環境の実現を目指します。また、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ニーズに応じた住まいの充実に努めるとともに、自然災害などに対する備えを推進します。



【市営住宅課】

住宅確保要配慮者等民間賃貸住宅あっせん制度 (計画書P.86)		市と一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会市川支部が共同で、住宅の確保に配慮を要する高齢者などに対して、民間賃貸住宅のあっせんを行います。必要とする人に制度が利用されるよう、高齢者およびその支援者などに対する情報提供に努めます。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	あっせん制度の申込件数:45件	あっせん制度の申込件数:45件	あっせん制度の申込件数:45件	
	具体的な行動計画	本制度を周知するため、広報いちかわに掲載するとともに、チラシによる案内を行う。	本制度を周知するため、広報いちかわに掲載するとともに、チラシによる案内を行う。		

D O	実行内容 (年度末時点)		広報いちかわへの掲載とチラシによる本制度を周知。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	68件		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		令和6年度計画の目途とした申請件数を上回る申請があり、民間賃貸住宅のあっせんを行えたため。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた次年度の留意点・改善点		引続き、広報いちかわへの掲載とチラシにより本制度の周知を図る。		

介護を必要とする高齢者が増加する中で、介護の担い手となる世代の人口減少や高齢化が進むと見込まれ、人材確保は喫緊の課題となっていることから、福祉・介護分野の人材確保および定着に向けた取組みを進めます。また、提供されるサービスの質の確保のため、介護事業所の業務の効率化や従事者の資質向上に向けて支援します。



【介護保険課】

介護に関する入門的研修 (計画書P.90)			介護の基本的知識を学び、介護分野への就労のきっかけとして、介護に関する入門的研修を実施します。さらに、職場体験や介護事業所へのマッチング支援により、介護業務の不安を払拭し、多様な人材の参入促進として介護資格の取得希望者や就業者などの増加に努めます。		
年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
P L A N	指標		入門的研修の参加人数:45人	入門的研修の参加人数:50人	入門的研修の参加人数:55人
	具体的な行動計画		参加者が介護に対して正しい理解を持ち、不安を払拭していただけるような研修を開催する。	より多くの方が研修に参加出来るよう、周知方法や受講方法を見直す。	
D O	実行内容 (年度末時点)		8月、11月、2月にそれぞれ市内で開催した。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	51人		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		令和6年度から受講定員数を拡大するとともに、研修会場を3か所に増やし、より多くの方が研修に参加できるよう取り組んだ。 また、申込者のうち落選された方に対しては、キャンセル待ちの枠を設ける等の工夫をし、指標を達成した。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		周知活動については、研修終了後のアンケートを基に、どのようなメディアや媒体が有効か検討する。また、2回目(南部)以降は申込者数が少ないため、1回目(北部)の定員数を多めに設定する等、より多くの方へ介護に触れる機会を提供できるよう、取り組む。		

基本目標3・施策(4) 保険者機能の強化に向けて

No.15

本市では今後も中長期にわたり、介護保険サービスの利用者が増加すると見込まれていることから、介護保険事業の円滑な運営と持続可能な制度運用のため、現状分析に基づく適切な介護サービス確保および介護給付の適正化や公正な介護認定に努めます。また、介護サービス事業者に対する指導・監査により、サービスの質を高めるとともに、災害や感染症の発生時のサービスを継続に対する備えを確認するなど、介護を必要とする方が安心して利用できる環境の整備に努めます。



【地域包括支援課】

地域ケア推進会議 (計画書P.95)		「地域ケア個別会議」(P.66参照)において検討された課題のうち、多くの事例に共通する課題は、地域課題として整理し、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」をはじめ、関連の深い会議体において検討し、課題解決を図ります。			
年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
P L A N	指標	地域ケア推進会議の開催:2回	地域ケア推進会議の開催:2回	地域ケア推進会議の開催:2回	
	具体的な 行動計画	・昨年度テーマである「居場所」への「移動支援」について、地域における課題の共有、課題解決にむけた方法の検討。 ・市主催及び高サボ主催の地域ケア会議から見える課題の共有、次回会議における議題の提案。	第一回目のテーマとして生活支援コーディネーターが把握した地域課題の検討、第二回目のテーマとして地域ケア個別会議にて把握した地域課題の検討を実施。		
D O	実行内容 (年度末時点)		・第一回地域ケア推進会議にて「居場所」への「移動支援」について、地域における課題の共有、課題解決の方法を検討。 ・第二回地域ケア推進会議にて地域ケア個別会議で多く課題として挙げられた「見守り体制」「認知症」についてのグループワークを実施。		
C H E C K	目標達成 自己評価	実績	2回		
		自己評価 (事業全体)	A		
	自己評価の理由		当該年度内において2回地域ケア推進会議を実施したため。		
A C T I O N	CHECK内容を踏まえた 次年度の留意点・改善点		当該会議は第一層の協議体として、多様な主体の強みや資源を活かした役割を担うように整理する場と位置付けられているが、現状そこまでの議論に至っていない。次年度は地域課題を会議に参加する各団体・委員と共有するとともに、具体的解決策についての協議を行う場としていく。		

第 1 回 市川市社会福祉審議会	資料 3-③-1
令和 7 年 8 月 6 日 (水)	

第 5 次いちかわハートフルプランの進捗状況について

(障がい者支援課)

第 5 次いちかわハートフルプランは、令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 年間の計画期間としており、今回は令和 6 年度の進捗状況の報告となります。

第 5 次いちかわハートフルプランの構成

- 障害者基本法に基づく「市町村障害者計画」
- 障害者総合支援法に基づく「市町村障害福祉計画」
- 児童福祉法に基づく「市町村障害児福祉計画」

今回の報告資料の構成は次のとおりです。

資料 3-③-2	市川市障害者計画 ○具体的な施策に係る進捗状況について
資料 3-③-3	○重点施策について
資料 3-③-4	○重点事業の進捗状況について
資料 3-③-5	○重点事業(個票)
資料 3-③-6	○その他の事業の進捗状況について
資料 3-③-7	第 7 期市川市障害福祉計画・第 3 期市川市障害児福祉計画 ○第 2 章 成果目標と活動指標について
資料 3-③-8	○第 3 章 障害者総合支援法に係るサービス等について
資料 3-③-9	○第 4 章 児童福祉法に係るサービスについて

市川市障害者計画の具体的な施策に係る進捗状況について(p.66～115)

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)
※ 《％》は、A=100、B=75、C=50、D=25として、重点事業（薄い網掛けをした事業）について、平均値を算出したもの。

第1回 市川市社会福祉審議会 令和7年8月6日（水）	資料3-③-2
-------------------------------	---------

第1節 子育て・教育の充実

特別支援教育推進事業は、学校教職員に対し、研修会等を通して、市川スマイルプランと個別の指導計画の作成と活用について周知した。

《目標達成度100%》			
障がい児支援	重点事業	保育園巡回相談事業	A
	その他の事業	乳幼児健康診査事業	A
		地域職員への研修事業	A
		ライフサポートファイル活用事業	A
		ペアレントプログラム	A
学校教育	重点事業	特別支援教育推進事業	A
	その他の事業	市川市特別支援連携協議会	A

第2節 就労・社会参加の促進

障がい者就労支援事業は、令和7年度に新たにスタートする就労選択支援においても、関係機関と連携しながら、適切な支援を行う体制を整えた。

《目標達成度88%》			
就労支援・雇用促進	重点事業	障がい者就労支援事業	A
	その他の事業	優先調達推進事業	A
		障がい者雇用事業	B
		雇用促進事業(障がい者就労支援)	・雇用促進奨励金 A
			・職場実習奨励金 A
生涯学習・文化・スポーツ	重点事業	障がい者スポーツ事業	B
	その他の事業	障がい者等の読書環境の整備事業	A
		障がい者文化講座	A
		パラスポーツ普及促進事業	A

第3節 生活支援の充実

身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業は、通所施設の要望に応じて、地域リハビリテーションのネットワークづくりのために情報交換会を実施した。

《目標達成度100%》			
地域生活の支援	重点事業	地域生活支援拠点等コーディネーターの配置	A
		地域活動支援センター運営費補助金事業	A
情報アクセシビリティ・意思疎通支援	重点事業	手話奉仕員養成講座及び市民手話教室運営業務委託	A
	その他の事業	手話通訳者・要約筆記者の設置・派遣	A
		市公式Webサイトのアクセシビリティの確保・維持	A
保健・医療	重点事業	身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	A
	その他の事業	重度心身障害者医療費助成	A

第4節 相談・権利擁護体制の確立

成年後見制度利用支援事業は、「後見制度個別相談会」を毎月1回開催し、合計12件(高齢者を含む)の相談に応じた。

《目標達成度100%》			
相談	重点事業	相談支援体制の整備	A
権利擁護	重点事業	成年後見制度利用支援事業	A
	その他の事業	市川市障害者虐待防止センター	A
		障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議	A

第5節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進

人にやさしい道づくり重点地区整備事業において、歩道のバリアフリー化工事を1箇所実施。

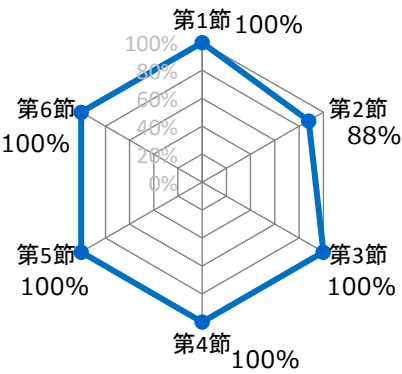
《目標達成度100%》			
災害や感染症の対策	重点事業	避難行動要支援者対策事業	A
	その他の事業	福祉避難所	A
		災害時における福祉用具等物資の供給等協力に関する協定	A
		総合防災訓練の実施	A
		NET119	A
まちづくり・居住環境整備	重点事業	人にやさしい道づくり重点地区整備事業	A
	その他の事業	グループホームの開設・運営、入居者の家賃負担に対する支援	A
		公園施設のバリアフリー等	A
		あんしん住宅助成事業	A

第6節 地域の理解・支援の促進

市川市自立支援協議会との協働による研修については、相談支援部会と協働して2回、生活支援部会と協働して2回、計4回の研修を実施した。

《目標達成度100%》			
障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供	重点事業	障がいに関する理解啓発事業	A
	その他の事業	福祉の店運営支援事業	A
		市新規採用職員に対する研修	A
		市職員に対する研修・啓発	A
		福祉教育の推進	A
支援人材の確保と質の向上	重点事業	地域ケアシステム推進事業	A
		市川市自立支援協議会との協働による研修	A
連携強化、支援体制整備	重点事業	市川市自立支援協議会の開催	A

計画全体



《目標達成度98.5%》

令和6年度は、各項目でC評価がなく、進捗度も比較的良好であった。第2節以外の重点事業については、100%の目標達成となった。また、Bの事業については、引き続き事業の周知等に取り組んでいく。

市川市障害者計画 具体的な施策
重点施策について(令和6年度)

第5次いちかわハートフルプラン 令和6年度進捗状況報告(市川市 障がい者支援課)

第1回 市川市社会福祉審議会	資料3-③-3
令和7年8月6日(水)	

1 障がい児支援	○ 保育園巡回は、保育園にて行動観察を行った後、各対象児について、対面でカンファレンスを実施した。具体的な支援の方法を写真入りの巡回資料で提示し、助言を行った。 ○ 市川スマイルプランは、中学校の作成割合が目標値を下回っているため、中学校でのスマイルプラン活用をさらに進めるとともに、スマイルプラン作成のメリットを保護者へ伝えていく必要がある。
2 就労の支援	○ 障がい者就労支援は、就職、その他の相談(支援)、就職活動相談(支援)、就職後相談(支援)、会社からの相談(支援)、チャレンジ相談(支援)を実施した。 ○ 障がい者軽スポーツ教室は、「障がい者に軽スポーツを行う機会を提供し、スポーツの楽しさを伝える」ということを目的にボッチャやモルック等の軽スポーツを実施した。
3 地域生活の支援	○ 地域生活支援拠点等コーディネーターは、障がいの特性に起因して生じる緊急の事態等に対処し又は備えるため、事前登録者の受付・相談を行ったほか、体験の場の実施や短期入所先の見学を行った。 ○ 地域活動支援センターを運営する事業を行う者の経営の支援を図るため、運営費補助金を交付した。 ○ 聴覚障がい者及び言語機能障がい者が健聴者等との円滑な意思の疎通を図る上で必要な手話通訳者等の人材を育成し、市民向けに手話を知っていただくための講習会を開催した。 ○ 理学療法士・作業療法士が地域の障害福祉サービス通所施設に巡回し、リハビリテーションの視点で通所利用者に関する相談・助言を行った。
4 相談支援体制の整備	○ 基幹相談支援センターえるは、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援など、多様な相談支援を実施した。 ○ 成年後見制度については、今後も当事者及び当事者家族の成年後見制度への理解、利用促進を図るとともに、相談及び申立て支援の充実を図るための体制整備を行っていく。
5 災害や感染症の対策	○ 避難行動要支援者対策は、個別避難計画の作成に向けて、本人やそのご家族、避難支援等関係者にあたる自治町会や民生委員、市職員などが顔を合わせて計画を作成する方法に加えて、申請書を市に直接提出する方法にて計画を作成した。 ○ 人にやさしい道づくり重点地区整備は、「市川市交通バリアフリー基本構想」に基づき、主要駅周辺の半径500m以内を重点整備地区とし、歩道の段差解消、平坦性の確保等のバリアフリー化を進めた。
6 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供	○ 障害者基本法に定める障害者週間の趣旨をふまえ、毎年、「I♥あいフェスタ」を開催。令和6年度はオリジナル楽曲を活用したダンス動画Webページを公開したほか、第1庁舎ファンクションルームにてI♥1グランプリの作品展示やニッケコルトンプラザにて、パリ2024パラリンピック車いすラグビー金メダリスト羽賀選手の講演会を行った。 ○ 福祉の店の市役所第1庁舎販売、大柏出張所販売、道の駅常設は定着してきた。障害者週間販売会やサマーフェスティバル販売をコルトンプラザで開催し、多くのお客様と活発な交流ができた。
7 支援人材の確保と質の向上	○ 市川市自立支援協議会は、各部会と協働して研修を実施し、障がい者福祉に従事する方の育成・定着や質の向上に資することができた。 ○ 市川市自立支援協議会及び各専門部会を定期的に開催することで、地域における課題を共有し、検討した。

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

※ 《％》は、A＝100、B＝75、C＝50、D＝25 として、節ごとに平均値を算出したもの。

第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～

第1項 障がい児支援

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.67	1 保育園巡回相談事業	こども部	発達支援課	保育園巡回件数	89回	100回	95回	A	100回			100回		

第2項 学校教育

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.70	2 特別支援教育推進事業	学校教育部	指導課	通常学級に在籍している幼児・児童・生徒のうち、市川スマイルプラン（個別の教育支援計画）を作成している者の割合	6%	6%	6.8%	A	6%			7%		

第2節 就労・社会参加の促進 ～地域で活動する～

第1項 就労支援・雇用促進

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.73	3 障がい者就労支援事業	福祉部	障がい者支援課	相談件数	3,027件	2,300件	2,666件	A	2,300件			2,300件		

第2項 生涯学習・文化・スポーツ

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.76	4 障がい者スポーツ事業	スポーツ部	スポーツ推進課	障がい者軽スポーツ教室への参加人数	38人	50人	32人	B	50人			50人		

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

※ 《％》は、A＝100、B＝75、C＝50、D＝25 として、節ごとに平均値を算出したもの。

第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～

第1項 地域生活の支援

	事業名	担当課		指標等	R5年度	R6年度			R7年度			R8年度		
					実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.81	5 地域生活支援拠点等コーディネーターの配置	福祉部	障がい者支援課	地域生活支援拠点等コーディネーターへの事前登録者数	216人	160人	233人	A	170人			180人		
p.81	6 地域活動支援センター運営費補助金事業	福祉部	障がい者支援課	補助を行った市内施設数	8件	9件	8件	A	9件			9件		

第2項 情報アクセシビリティ・意思疎通支援

	事業名	担当課		指標等	R5年度	R6年度			R7年度			R8年度		
					実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.87	7 手話奉仕員養成講座及び市民手話教室運営業務委託	福祉部	障がい者支援課	養成講座修了者数	18名	16名	16名	A	16名			16名		

第3項 保険・医療

	事業名	担当課		指標等	R5年度	R6年度			R7年度			R8年度		
					実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.89	8 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	福祉部	障がい者支援課	個別支援件数	541件	550件	552件	A	560件			570件		

第4節 相談・権利擁護体制の確立 ～自分で決める～

第1項 相談

	事業名	担当課		指標等	R5年度	R6年度			R7年度			R8年度		
					実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.92	9 相談支援体制の整備	福祉部	障がい者支援課	基幹相談支援センターえくるの相談員の数（1 未満の端数は0.5単位に整理）	7.0人工	11.5人工	9.0人工	A	12.5人工			13.5人工		

第2項 権利擁護

	事業名	担当課		指標等	R5年度	R6年度			R7年度			R8年度		
					実績	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.99	10 成年後見制度利用支援事業	福祉部	障がい者支援課 地域包括支援課	相談実件数（障がい分）	43件	60件	59件	A	65件			70件		
				啓発回数	27回	20回	28回		21回			22回		

第5節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～

第1項 災害や感染症の対策

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.101	11 避難行動要支援者対策事業	福祉部	地域共生課	個別避難計画の作成数	11回	30回	25回	A	40回			50回		

第2項 まちづくり・居住環境整備

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.105	12 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	道路交通部	道路建設課	歩道のバリアフリー化箇所数	2箇所	1箇所	1箇所	A	1箇所			1箇所		
p.105	13 グループホームの開設・運営、入居者の家賃負担に対する支援	福祉部	障がい者支援課	開設時の補助の実施	実施	実施	実施	A	実施			実施		
				運営費の補助の件数（事業所数）	51件	63件	52件		65件			67件		
				被助成者数	467人	300人	345人		320人			340人		

第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～

第1項 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.108	14 障がいに関する理解啓発事業	福祉部	障がい者支援課	実施の有無	実施	実施	実施	A	実施			実施		
p.109	15 福祉の店運営支援事業	福祉部	障がい者施設課	出店回数	231回	293回	241回	A	293回			293回		

第2項 支援人材の確保と質の向上

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.112	16 市川市自立支援協議会との協働による研修	福祉部	障がい者支援課	相談支援部会、生活支援部会、就労支援部会、こども部会と協働した研修の実施	実施	実施	実施	A	実施			実施		

第3項 連携強化、支援体制整備

	事業名	担当課	指標等	R5年度	R6年度				R7年度			R8年度		
				実績	計画値	実績	評価		計画値	実績	評価	計画値	実績	評価
p.115	17 市川市自立支援協議会の開催	福祉部	障がい者支援課	市川市自立支援協議会の開催	開催	開催	開催	A	開催			開催		

市川市障害者計画 具体的な施策 重点事業(個票)

第1回 市川市社会福祉審議会 令和7年8月6日(水)	資料3-③-5
-------------------------------	---------

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～** > **第1項 障がい児支援**

<重点事業>

事業名	保育園巡回相談事業		担当課	こども部 発達支援課（令和7年度よりこども部幼保施設管理課）		ページ	67
事業概要	民間の保育園を巡回し、障がい児に対しての適切な支援について職員に対して助言を行います。						
指標等	保育園巡回件数						
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
目標	100回		100回		100回		
実績	95回						
評価(＊)	A						
評価の理由	評価の目安通りAとした。						
実績の概要	保育園にて行動観察を行った後、各対象児について、対面でカンファレンスを実施した。具体的な支援の方法を写真入りの巡回資料で提示し、助言を行った。						
今後の課題と対応							

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > 第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～ > 第2項 学校教育

<重点事業>

事業名	特別支援教育推進事業		担当課	学校教育部 指導課	ページ	70
事業概要	市川市特別支援教育推進計画（第3期）に則り、全ての幼稚園・学校において、特別な教育的ニーズのある幼児・児童・生徒の市川スマイルプラン（個別の教育支援計画）を作成し、家庭、教育、福祉等の関係機関との連携を図りながら、一貫した支援を目指します。					
指標等	通常学級に在籍している幼児・児童・生徒のうち、市川スマイルプラン（個別の教育支援計画）を作成している者の割合					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	6%		6%		7%	
実績	6.8%					
評価(＊)	A					
評価の理由	評価の目安通りでAとした。					
実績の概要	令和4年に文科省が行った調査で、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、小中学校で8.8%いることが明らかになった。令和6年度末に各校の特別支援教育コーディネーターに行ったアンケートを基に算出したところ、市川スマイルプランの作成率は幼稚園11.9%、小学校7.8%、中学校4.3%であった。					
今後の課題と対応	中学校の作成割合が目標値を下回っている。中学校でのスマイルプラン活用をさらに進める。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第2節 就労・社会参加の促進 ～地域で活動する～** > **第1項 就労支援・雇用促進**

<重点事業>

事業名	障がい者就労支援事業			担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	73
事業概要	市川市障がい者就労支援センターアクセスを設置し、アクセスにおいて、障がい者からの就労に係る相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行うとともに、障がい者の一般企業での就労に向けての各種支援や、就労系の障害福祉サービスの利用に向けての支援等を行います。また、就労定着支援による支援が終了した障がい者に対し、必要な支援を行っていきます。						
指標等	相談件数						
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
目標	2,300件		2,300件		2,300件		
実績	2,666件						
評価(＊)	A						
評価の理由	目標の相談件数を上回り、障がい者からの就労に関する相談ニーズに応え、適切な支援を行うことができたため。						
実績の概要	就職、その他の相談（支援）、就職活動相談（支援）、就職後相談（支援）、会社からの相談（支援）、チャレンジ相談（支援）を実施した。						
今後の課題と対応	令和7年度に新たにスタートする就労選択支援においても、関係機関と連携しながら、適切な支援を行う体制を整える。						

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第2節 就労・社会参加の促進 ～地域で活動する～** > **第2項 生涯学習・文化・スポーツ**

<重点事業>

事業名	障がい者スポーツ事業		担当課	スポーツ部 スポーツ推進課	ページ	76
事業概要	障がいのある方にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、健康・体力の保持と増進をはかります。					
指標等	障がい者軽スポーツ教室への参加人数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	50人		50人		50人	
実績	32人					
評価(＊)	B					
評価の理由	評価の目安通りBとした。					
実績の概要	第1回（令和6年6月15日）：4人 第2回（令和6年7月20日）：4人 第3回（令和6年9月21日）：10人 第4回（令和6年10月19日）：6人 第5回（令和6年11月16日）：7人 第6回（令和6年12月21日）：1人 ボッチャやモルック等の軽スポーツを実施し、「障がい者に軽スポーツを行う機会を提供し、スポーツの楽しさを伝える」という目的を達成した。					
今後の課題と対応	・新種目1つに絞って開催した方が時間配分的にやりやすいのではないか、と委員から意見があった。 ・参加された方の障がいの状況を見て補助の仕方などを考える必要がある。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～** > **第1項 地域生活の支援**

<重点事業>

事業名	地域生活支援拠点等コーディネーターの配置		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	81
事業概要	障がいの特性に起因して生じる緊急の事態等に対処し又は備えるため、相談その他必要な支援を行います。					
指標等	地域生活支援拠点等コーディネーターへの事前登録者数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	160人		170人		180人	
実績	233人					
評価(＊)	A					
評価の理由	評価の目安通りAとした。					
実績の概要	事前登録者の受付・相談を行っているほか、体験の場の実施や短期入所先の見学を行っている。					
今後の課題と対応	事前登録者数をさらに増加させるため、広報にて本事業の周知を図る。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > 第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～ > 第1項 地域生活の支援

<重点事業>

事業名	地域活動支援センター運営費補助金事業		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	81
事業概要	地域活動支援センターを運営する事業を行う者の経営の支援を図るため、市川市地域活動支援センター運営費補助金を交付します。					
指標等	補助を行った市内施設数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	9件		9件		9件	
実績	8件					
評価(＊)	A					
評価の理由	評価の目安通りAとした。					
実績の概要	市内実績 8事業所 121,598,354円					
今後の課題と対応	令和7年度は新規開設事業所1件を見込んでいる。 地域活動支援センターは、障害福祉サービスではないため、経営者は報酬を受けることができず、独自の収入がないことから、今後も市町村は運営支援を行っていく必要がある。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～** > **第2項 情報アクセシビリティ・意思疎通支援**

<重点事業>

事業名	手話奉仕員養成講座及び市民手話教室運営業務委託		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	87
事業概要	聴覚障がい者及び言語機能障がい者が健聴者等との円滑な意思の疎通を図る上で必要な手話通訳者等の人材を育成します。また、市民向けに手話を知っていただくための講習会を開催します。					
指標等	養成講座修了者数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	16名		16名		16名	
実績	16名					
評価(＊)	A					
評価の理由	受講生の定員を満たし、すべて修了したことからA評価とした。					
実績の概要	定員以上の申込みの中から16名の受講者を決定、養成講座を実施した。					
今後の課題と対応	今後も養成講座を継続する。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～** > **第3項 保険・医療**

<重点事業>

事業名	身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	89
事業概要	障がいのある方の身体機能及び生活機能を維持するために、理学療法士・作業療法士が、地域の通所施設等への巡回などにより相談・助言を行い、地域におけるリハビリテーション体制の整備を進めます。また、本市における地域リハビリテーションのネットワークづくりを進めるために、地域生活支援に関わる関係者とリハビリテーション情報交換会を開催し、地域におけるニーズや課題について検討します。					
指標等	個別支援件数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	550件		560件		570件	
実績	552件					
評価(＊)	A					
評価の理由	評価の目安通りAとした。					
実績の概要	理学療法士・作業療法士が地域の障害福祉サービス事業所に巡回し、リハビリテーションの視点で通所利用者に関する相談・助言を行った。					
今後の課題と対応	事業所の要望に応じて、地域リハビリテーションのネットワークづくりのために情報交換会を実施する。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第4節 相談・権利擁護体制の確率 ～自分で決める～** > **第1項 相談**

<重点事業>

事業名	相談支援体制の整備		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	92
事業概要	関係各課と協働し、市川市自立支援協議会を活用しながら、市川市全体としての相談支援体制の整備を進めます。具体的には、えくるの規模拡充、関係機関の役割分担の整理、より一層の機関間の連携強化等に取り組みます。					
指標等	基幹相談支援センターえくるの相談員の数（1 未満の端数は0.5単位に整理）					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	11.5人工		12.5人工		13.5人工	
実績	9.0人工					
評価(＊)	A					
評価の理由	評価の目安に従いAとした。					
実績の概要	目標の人工には届かなかったものの、福祉サービスの利用 援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支 援など、多様な相談支援を実施した。					
今後の課題と 対応	引き続き相談員の拡充に努め、多種多様な相談ニーズに 応えられる相談支援体制の整備を図る。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第4節 相談・権利擁護体制の確立 ～自分で決める～** > **第2項 権利擁護**

<重点事業>

事業名	成年後見制度利用支援事業			担当課	福祉部 地域包括支援課、障がい者支援課	ページ	99
事業概要	知的障がい、精神障がい、認知症等の理由で判断能力が十分でない方が成年後見制度を活用するための啓発活動や相談等の業務を市川市社会福祉協議会に委託して行います。						
指標等	相談実件数（障がい分）／啓発回数						
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
目標	60件・20回		65件・21回		70件・22回		
実績	59件／28回						
評価(＊)	A						
評価の理由	評価の目安どおりAとした。						
実績の概要	・更なる制度の利用促進に向けた周知・啓発活動を実施。 ・新規相談239件（高齢者169件、知的32件、精神26件、その他12件）、継続相談382件、延べ621件 ・「後見制度個別相談会」を毎月1回開催し、合計12件（高齢者を含む）の相談に応じた。						
今後の課題と対応	今後も当事者及び当事者家族の成年後見制度への理解、利用促進を図るとともに、相談及び申立て支援の充実を図るための体制整備を行っていく。						

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第5節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～** > **第1項 災害や感染症の対策**

<重点事業>

事業名	避難行動要支援者対策事業			担当課	福祉部 地域共生課	ページ	101
事業概要	災害の発生、又はそのおそれがある場合に自ら避難することが困難な方の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、特に支援を要する「避難行動要支援者」を把握し、避難の支援等を実施するための名簿を作成します。 また、「地域全体で助け合う『共助意識』」、「支援を受けるため自ら地域とつながりを持つ『自助意識』」の向上を推進し、「避難行動要支援者名簿」を活用したいと考える避難支援等関係者へ提供する体制を整備します。さらに、平時における地域のつながりを促進します。						
指標等	個別避難計画の作成数						
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
目標	30		40		50		
実績	25						
評価(＊)	A						
評価の理由	目標には届かなかったが、評価の目安通りAとした。						
実績の概要	個別避難計画の作成に向けて、本人やそのご家族、避難支援等関係者にあたる自治町会や民生委員、市職員などが顔を合わせて計画を作成する方法に加えて、申請書を市に直接提出する方法にて計画を作成した。						
今後の課題と対応	個別避難計画策定を推進するためにも、ご本人やご家族自らが作成する計画づくりに取り組むため、避難支援等関係者への情報提供に同意している約3,300人を対象に、個別支援シートを郵送する計画を進める。						

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

<重点事業>

事業名	人にやさしい道づくり重点地区整備事業	担当課	道路交通部 道路建設課	ページ	105
事業概要	「市川市交通バリアフリー基本構想」に基づき、主要駅周辺の半径500m以内を重点整備地区とし、歩道の段差解消、平坦性の確保等のバリアフリー化を進めます。				
指標等	歩道のバリアフリー化箇所数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標	1箇所	1箇所	1箇所		
実績	1箇所				
評価(＊)	A				
評価の理由	目標どおり1箇所の工事を実施したため、Aとした。				
実績の概要	・歩道のバリアフリー化 1箇所 市道0107号 行徳駅前4丁目22番～6番地先 L = 196m				
今後の課題と対応	整備した箇所も老朽化が進んでいることから、今後の整備箇所は、整備済の箇所も含めて選定することが必要と思われる。				

＊評価の目安 … A = 十分達成できた(75%以上)、 B = 概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C = やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D = 不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第5節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～** > **第3項 まちづくり・居住環境の整備**

<重点事業>

事業名	グループホームの開設・運営、入居者の家賃負担に対する支援		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	105
事業概要	障害者グループホームの新規開設や運営をする事業者に対し、その経費について補助を行います。また、入居する障がい者に対して、家賃負担の一部を助成します。					
指標等	開設時の補助の実施／運営費の補助の件数（事業所数）／被助成者数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	実施／63件／300人		実施／65件／320人		実施／67件／340人	
実績	実施／52件／345人					
評価(＊)	A					
評価の理由	被助成者数が目標を越えており、申請に基づいて補助を行っているため、Aとした。					
実績の概要	開設時補助： 4件 運営費補助：46法人52事業所 被助成者数：345人					
今後の課題と対応	引き続きニーズに応じた必要な補助を実施する。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～** > **第1項 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供**

<重点事業>

事業名	障がいに関する理解啓発事業			担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	108
事業概要	障害者基本法第9条に定める障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施し、障がいに関する理解促進を図ります。						
指標等	実施の有無						
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
目標	実施		実施		実施		
実績	障害者週間イベント「I♥あいフェスタ」の開催 ① 福祉の店・パリ2024パラリンピック車いすラグビー金メダリスト羽賀選手講演会 （12月8日、ニッケコルトンプラザウエストコート） ② 展示・体験企画 （12月2日～6日第1庁舎ファンクションルーム） ③ Web企画（福祉の店・動画公開）						
評価(＊)	A						
評価の理由	評価の目安どおりAとした。						
実績の概要	① 市内13事業所が出店 ② 来場者数318人						
今後の課題と対応	より多くの方が来場、参加できるイベントを検討する。						

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～** > **第1項 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供**
 <重点事業>

事業名	福祉の店運営支援事業		担当課	福祉部 障がい者施設課	ページ	109
事業概要	障がい者の社会参加と工賃向上を目的に、障害者施設等の障がい者が製作する物品を販売する「福祉の店」の運営を支援します。					
指標等	出店回数					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	293回		293回		293回	
実績	241回					
評価(＊)	A					
評価の理由	市役所第1庁舎販売や新たに計画したサマーフェスティバル等が予定通り開催できた。実績の回復が見込めたため、目安どおりAとした。					
実績の概要	市役所第1庁舎販売、大柏出張所販売、道の駅常設は定着してきた。障害者週間販売会やサマーフェスティバル販売をコルトンプラザで開催し、多くのお客様と活発な交流ができた。					
今後の課題と対応	障害者週間販売会やサマーフェスティバル販売をコルトンプラザで開催する。また、新たに行徳支所での販売も予定している。多くのお客様との交流・収益の増加を目指す。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いしかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～** > **第2項 支援人材の確保と質の向上**

<重点事業>

事業名	市川市自立支援協議会との協働による研修		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	112
事業概要	市川市自立支援協議会の各分会（相談支援分会、生活支援分会、就労支援分会、こども分会）と協働して、障がい者福祉に従事する方の育成・定着や質の向上に資する研修を実施します。また、当該研修は、市が行う指定特定相談支援事業者・指定障害児相談支援事業者に対する指導とも効果的に連携していきます。					
指標等	相談支援分会、生活支援分会、就労支援分会、こども分会と協働した研修の実施					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	実施		実施		実施	
実績	実施					
評価(＊)	A					
評価の理由	各分会と協働して研修を実施し、障がい者福祉に従事する方の育成・定着や質の向上に資することができた。					
実績の概要	相談支援分会と協働して2回、生活支援分会と協働して2回、計4回の研修を実施した。					
今後の課題と対応	引き続き、各分会と協議しながら研修を実施し、地域の障がい者福祉の質の向上を図る。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

第5次いちかわハートフルプラン

第2部 市川市障害者計画 > 第2章 具体的な施策 > **第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～** > **第3項 連携強化、支援体制整備**

<重点事業>

事業名	市川市自立支援協議会の開催		担当課	福祉部 障がい者支援課	ページ	115
事業概要	市川市自立支援協議会及び各専門部会を定期的に開催することで、地域における課題を共有し、検討していきます。					
指標等	市川市自立支援協議会の開催					
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
目標	開催		開催		開催	
実績	開催					
評価(＊)	A					
評価の理由	市川市自立支援協議会及び各専門部会を予定通り開催することができた。					
実績の概要	本会を1回、相談支援部会を6回、生活支援部会を6回、就労支援部会を3回、こども部会を1回実施した。					
今後の課題と対応	引き続き本会及び各専門部会を開催し、地域における課題を共有し、検討していく。					

＊評価の目安 … A＝十分達成できた(75%以上)、 B＝概ね達成できた(50%以上75%未満)、 C＝やや不十分だった(25%以上50%未満)、 D＝不十分だった(25%未満)。

市川市障害者計画 具体的な施策 その他の事業の進捗状況について

第5次いちかわハートフルプラン 令和6年度進捗状況報告（市川市 障がい者支援課）

第1回 市川市社会福祉審議会 令和7年8月6日(水)	資料3-③-6
-------------------------------	---------

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75% $\leq$ x) B…概ね達成できた(50% $\leq$ x<75%) C…やや不十分だった(25% $\leq$ x<50%) D…不十分だった(x<25%)

第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～

第1項 障がい児支援

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.67	1 乳幼児健康診査事業	こども部 こども家庭相談課	●															1歳6か月児・3歳児健康診査を実施。対面でのカンファレンス再開。
p.67	2 地域職員への研修事業	こども部 発達支援課	●															講義形式や事例検討形式で研修を実施。
p.68	3 ライフサポートファイル活用事業	こども部 発達支援課	●															サービス利用相談時等にライフサポートファイルを配布。
p.68	4 ベアレントプログラム	こども部 発達支援課	●															発達に課題のある子どもの子育てについて学ぶ研修を実施。

第2項 学校教育

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.70	5 市川市特別支援連携協議会	学校教育部 指導課	●														オンラインと対面を併用した協議会を開催し、各機関と共有した。	

第2節 就労・社会参加の促進 ～地域で活動する～

第1項 就労支援・雇用促進

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.73	6 優先調達推進事業	福祉部 障がい者支援課	●															障害者就労施設等から優先的に物品や役務の調達を図ります。
p.73	7 障がい者雇用事業	総務部人事課、教育振興部教育総務課		●														チャレンジオフィスいちかわ。
p.74	8 雇用促進事業(障がい者就労支援)	・雇用促進奨励金 経済観光部 商工課	●															市内の障がい者を雇用する事業主に奨励金を交付。
		・職場実習奨励金 経済観光部 商工課	●															市内の障がい者を職場実習に受け入れた事業主に奨励金を交付。
		・障がい者就職面接会 経済観光部 商工課		●														ハローワーク市川との共催により障がい者就職面接会を開催。

第2項 生涯学習・文化・スポーツ

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.76	9 障がい者等の読書環境の整備事業	生涯学習部 中央図書館	●															DAISY 図書やLL ブックなどの障がい者資料の充実に努める。
p.76	10 障がい者文化講座	福祉部 障がい者支援課	●															合唱、俳句の講座。
p.76	11 バススポーツ普及促進事業	スポーツ部 スポーツ推進課	●															車いすバスケットボール等の体験会や試合観戦機会の創出。

第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～

第2項 情報アクセシビリティ・意思疎通支援

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.87	12 手話通訳者・要約筆記者の設置・派遣	福祉部 障がい者支援課	●															予定どおり実施(年2回)。
p.87	13 市公式Webサイトのアクセシビリティの確保・維持	市長公室 広報広聴課	●															画像に代替テキストを提供する等、Web アクセシビリティの確保。

第3項 保険・医療

[illegible]

市川市障害者計画 具体的な施策 その他の事業の進捗状況について

第5次いちかわハートフルプラン 令和6年度進捗状況報告（市川市 障がい者支援課）

第1回 市川市社会福祉審議会	資料3-③-6
令和7年8月6日（水）	

※ 事業の進捗度評価：A…十分達成できた(75%≦x) B…概ね達成できた(50%≦x<75%) C…やや不十分だった(25%≦x<50%) D…不十分だった(x<25%)

第4節 相談・権利擁護体制の確立 ～自分で決める～

第2項 権利擁護

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.99	15 市川市障害者虐待防止センター	福祉部 障がい者支援課	●															障害者虐待防止法に基づく障害者虐待防止センター。
p.99	16 障害者虐待の防止及び障害を理由とする差別の解消に関する会議	福祉部 障がい者支援課	●															障害者虐待防止と差別解消を図るための会議。

第5節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～

第1項 災害や感染症の対策

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.101	17 福祉避難所	福祉部 地域共生課	●															ライフステージに応じ健康づくりや病気予防を図る。
p.101	18 災害時における福祉用具等物資の供給等協力に関する協定	危機管理室地域防災課、福祉部地域共生課	●															災害時の介護用品等の供給についての協定を継続。
p.102	19 総合防災訓練の実施	危機管理室地域防災課	●															市民参加・体験型訓練や防災拠点・避難所運営訓練等を実施。
p.102	20 NET119	福祉部障がい者支援課、消防局指令課	●															聴覚や言語の障がいの方向けの119番通報システムとして運用。

第2項 まちづくり、居住環境整備

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.105	21 公園施設のバリアフリー等	街づくり部 公園緑地課	●															出入口のスロープ化等により段差解消を図る。
p.105	22 あんしん住宅助成事業	街づくり部 街づくり整備課	●															所有住居のバリアフリー工事等に補助。

第6節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～

第1項 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供

	事業名	担当課	R6年度					R7年度					R8年度					備考
			A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	A	B	C	D	－	
p.109	23 市新規採用職員に対する研修	福祉部 障がい者支援課	●															新規採用職員へ障がいに関する理解を深めるための研修を実施。
p.109	24 市職員に対する研修・啓発	福祉部 障がい者支援課	●															市職員に対し障がいに関する理解を深めるための研修を実施。
p.109	25 福祉教育の推進	学校教育部 指導課	●															年間計画をもとに特別支援学級や特別支援学校との交流を実施。
p.109	26 地域ケアシステム推進事業	福祉部 地域共生課	●															地区社会福祉協議会が主体となり地域ケアシステム推進連絡会を実施。

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 成果目標と活動指標について

(1) 施設入所者の地域生活への移行を進めます。(p.121)

	令和6年度末	令和7年度末	令和8年度末	令和8年度末目標
施設入所者数 (A)	196人			180人以下

	令和6年度中	令和7年度中	令和8年度中	令和6～8年度計	目標
施設入所から地域生活へ移行した者の数	5人				11人以上

(2) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を進めます。(p.122)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標
保健、医療及び福祉関係者による協議の場	開催回数	1回			1回以上/年
	参加者数	20人			10人
	目標設定及び評価の実施回数	1回			1回/年

(3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実を図ります。(p.123)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標
コーディネーターの配置等による体制の構築	3人配置			3人配置
地域生活支援拠点等に係る運用状況の検証及び検討	1回実施			年1回以上実施
強度行動障がい有する障がい者に関して、関係機関の連携した支援体制の整備	なし			実施年1名以上

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 成果目標と活動指標について

(4) 一般就労への移行を促進します。(p.124)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度目標
生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援の利用者のうち一般就労へ移行した者の数(※)	145人			164人
(※の内訳) 就労移行支援の利用者のうち一般就労へ移行した者の数	106人			127人
(※の内訳) 就労継続支援A型の利用者のうち一般就労へ移行した者の数	24人			21人
(※の内訳) 就労継続支援B型の利用者のうち一般就労へ移行した者の数	10人			17人
就労移行支援事業所利用者数	174人			257人
就労移行支援事業所数	14箇所			
うち、一般就労移行者が50%以上の事業所の数 (割合)	4箇所 (28.57%)	－	－	
就労定着支援事業所数	9箇所			
うち、就労定着率が70%以上の事業所の数 (割合)	8箇所 (88.89%)	－	－	

(5) 障がい児支援の提供体制を整備します。(p.126-127)

	令和6年度末	令和7年度末	令和8年度末	令和8年度末目標
保育所等訪問支援を利用できる体制の拡充	155人/月			134人/月
ライフサポートファイルの普及・活用のための講習会の開催	10回/年			10回/年
ペアレントプログラム	受講者数	6人/年		8人/年
	実施者数	2人/年		2人/年

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 成果目標と活動指標について

(6) 相談支援体制を充実・強化します。(p.127-128)

	令和6年度末	令和7年度末	令和8年度末	令和8年度末目標
基幹相談支援センターによる地域の相談支援事業所に対する訪問等による専門的な指導・助言件数	1件/年			1件/年
基幹相談支援センターによる地域の相談支援事業所の人材育成の支援件数	1回/年			1件/年
基幹相談支援センターによる地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	151件/年			140回/年
基幹相談支援センターによる個別事例の支援内容の検証の実施回数	52件/年			55回/年
基幹相談支援センターにおける主任相談支援専門員の配置数	2人			3人
協議会における相談支援事業所の参画による事例検討の実施回数	0件/年			1回/年
協議会における相談支援事業所の参画による事例検討の参加事業者・機関数	0件/年			25
協議会の専門部会の設置数	4件/年			4
協議会の専門部会の実施回数	16回/年			16回/年

(7) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制を構築します。(p.128-129)

	令和6年度末	令和7年度末	令和8年度末	令和8年度末目標
千葉県が実施する障害福祉サービス等に係る研修への職員の参加人数	7人/年			10人/年
障害者自立支援システム等による審査結果を分析してその結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の有無及びその実施回数	有 1回/年			有 1回/年

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第2節 障害福祉サービスの整備

第1項 訪問系サービス

ページ	サービス	単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
123	居宅介護	実人/月	540	559	540		540		
		時間/月	11,287	10,164	11,400		11,514		
123	重度訪問介護	実人/月	25	29	25		25		
		時間/月	3,619	5,808	3,619		3,619		
123	同行援護	実人/月	82	82	87		92		
		時間/月	1,640	1,630	1,738		1,844		
123	行動援護	実人/月	3	7	3		3		
		時間/月	48	195	48		48		
123	重度障害者等包括支援	実人/月	0	0	0		0		
		時間/月	0	0	0		0		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第2項 日中活動系サービス

【 】内の数字は、重度障がい者の人数、()内の数字は、精神障がい者の人数

ページ	サービス	単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
136	療養介護	実人/月	11	14	11		10		
136	生活介護	実人/月	789【247】	804【121】	796【247】	【】	804【247】	【】	
		延人日/月	16,147	16,905	16,631		17,130		
136	短期入所(福祉型)	実人/月	127【35】	182【80】	132【34】	【】	137【32】	【】	
		延人日/月	1,315	1,272	1,368		1,423		
136	短期入所(医療型)	実人/月	1【1】	4【0】	1【1】	【】	1【1】	【】	
		延人日/月	3	17	3		3		
136	自立訓練(機能訓練)	実人/月	5	1	5		5		
		延人日/月	89	46	89		89		
136	自立訓練(生活訓練)	実人/月	55(42)	68(55)	55(42)	()	55(41)	()	
		延人日/月	680	775	680		680		
137	就労定選択支援	実人/月	0	0	267		546		
137	就労移行支援	実人/月	214	222	225		236		
		延人日/月	4,220	3,587	4,684		5,199		
137	就労継続支援A型	実人/月	180	226	186		191		
		延人日/月	3,693	3,959	3,878		4,072		
137	就労継続支援B型	実人/月	524	662	535		546		
		延人日/月	9,052	10,127	9,414		9,791		
137	就労定着支援	実人/月	167	150	197		233		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第3項 居住系サービス 【】内の数字は、重度障がい者の人数, () 内の数字は、精神障がい者の人数

ページ	サービス	単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
139	自立生活援助	実人/月	5	3	5		4		
			(5)	(0)	(4)		(3)		
139	共同生活援助	実人/月	480	534	547		623		
			(169)	(209)	(201)		(239)		
			【48】	【59】	【55】		【62】		
139	施設入所支援	実人/月	200	190	202		204		

第3節 相談支援の整備 ※ () 内の数字は、精神障がい者の人数の内訳。

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
142	計画相談支援	実人/月	761	781	799		839		
142	地域移行支援	実人/月	5	4	5		7		
			(5)	(4)	(5)		(7)		
142	地域定着支援	実人/月	4	1	5		5		
			(4)	(1)	(5)		(5)		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第4節 地域生活支援事業の整備

第1項 理解促進研修・啓発事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
145	理解促進研修・啓発事業	実施の有無	実施	実施	実施		実施		

第2項 自発的活動支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
146	自発的活動支援事業	実施の有無	実施	実施	実施		実施		

第3項 相談支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
148	障害者相談支援事業	箇所	3	3	3		3		
148	基幹相談支援センター	箇所	2	2	2		2		
148	基幹相談支援センター等機能強化事業	実施の有無	実施	実施	実施		実施		
148	住宅入居等支援事業(居住サポート事業)	実施の有無	実施	実施	実施		実施		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第4項 成年後見制度利用支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
151	成年後見制度利用支援事業	実利用見込み者数	50	54	51		52		

第5項 成年後見制度法人後見支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
152	成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無	実施	実施	実施		実施		

第6項 意思疎通支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
154	手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業	延利用人/年	1,200	814	1,200		1,200		
		実利用人/年	150	147	150		150		
154	手話通訳者設置事業	設置人数	3	4	3		3		
154	失語症会話パートナー派遣事業	延利用人/年	120	106	120		120		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第7項 日常生活用具給付等事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
156	介護訓練支援用具	延給付件数/年	25	23	25		25		
156	自立生活支援用具	延給付件数/年	45	56	45		45		
156	在宅療養等支援用具	延給付件数/年	45	49	45		45		
156	情報・意思疎通支援用具	延給付件数/年	100	80	100		100		
156	排泄管理支援用具	延給付件数/年	8,000	9,291	8,000		8,000		
156	居宅生活動作補助用具	延給付件数/年	5	5	5		5		

第8項 手話奉仕員養成研修事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
157	手話奉仕員養成研修事業	実養成講習修了見込み者数	15	16	15		15		

第9項 移動支援事業（必須事業）

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
158	移動支援事業	箇所	73	82	75		77		
		実人/年	529	410	540		551		
		延利用時間/年	45,494	44,772	46,440		47,386		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標(成果目標)を達成するために必要な量等の見込み。

第10項 地域活動支援センター(必須事業)

ページ		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
160	地域活動支援センターⅠ型	箇所	0	0	0		0		
		平均実利用人/日	0	0	0		0		
160	地域活動支援センターⅡ型	箇所	1	1	1		1		
		平均実利用人/日	6	4	6		6		
160	地域活動支援センターⅢ型	箇所	9	8	9		9		
		平均実利用人/日	50	47	50		50		

第7期市川市障害福祉計画・第3期市川市障害児福祉計画 児童福祉法に係るサービスについて

※「見込量」＝第2章の(1)～(7)に掲げる目標を達成するために必要な量等の見込み。

第2節 障害児通所支援等の整備

ページ	サービス	単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		備考
			見込量	実績	見込量	実績	見込量	実績	
165	障害児相談支援	実人/月	67	101	72		77		
165	児童発達支援※	実人/月	650	830	734		830		
		延人日/月	6,910	7,800	7,740		8,669		
165	医療型児童発達支援※	実人/月	-	-	-		-		
		延人日/月	-	-	-		-		
165	放課後等デイサービス	実人/月	1,011	1,276	1,052		1,094		
		延人日/月	13,187	14,253	14,374		15,667		
166	保育所等訪問支援	実人/月	92	107	113		134		
		延人日/月	138	155	170		201		
166	居宅訪問型児童発達支援	実人/月	0	0	0		0		
		延人日/月	0	0	0		0		

※ 福祉型児童発達支援及び医療型児童発達支援の一元化に伴い、福祉型児童発達支援及び医療型児童発達支援をまとめて算出

令和6年度 第1回地域福祉専門分科会の会議報告について

1 事業評価について（分科会開催理由）

重層事業実施要綱抜粋（生活困窮者支援等のための地域づくり事業実施要綱）

本事業の実施主体は、本事業の実施に当たって、地域福祉計画を踏まえつつ、支援が必要な者の人数や支援の実施回数などに関する成果目標を立てるとともに、本事業による国庫補助を受けた年度の概ね3月に、**学識有識者や現場有識者等第三者が参画した検証の場を設置**するなどにより、当該年度における**本事業の実施状況について評価**を行い、補助金の実績報告の際にその内容について**厚生労働省に報告**すること。

2 生活困窮者支援等のための地域づくり事業

業務目的

地域におけるつながりの中で、住民が持つ多様なニーズや生活課題に柔軟に対応できるよう、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民主体の活動支援・情報発信、地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

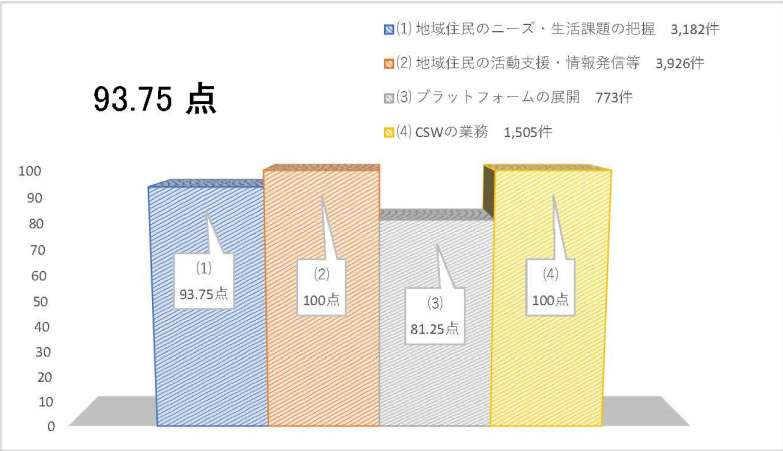
コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の役割

コミュニティソーシャルワーカーの役割は、地域ケアシステムの推進のため、主として公的に制度化されていない多様な分野であるインフォーマル領域において、自治(町)会、子ども会、高齢者クラブ、民生委員、ボランティア、NPO 法人、障がい者団体、学校、シルバー人材センター、民間企業等多様な主体や個人の地域福祉活動の支援を行う「コーディネーター」であり、地域福祉推進のため、地域づくり事業を推進する専門職。

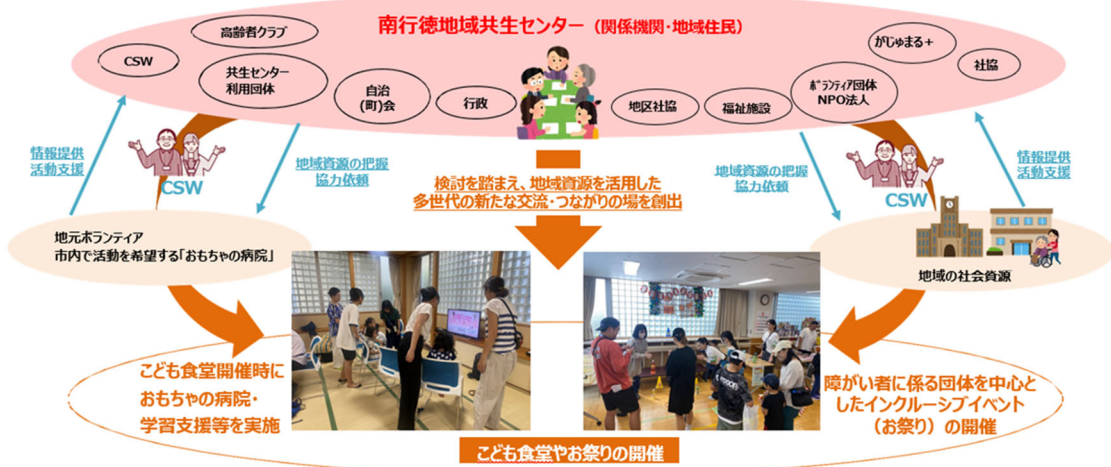
業務内容

(1) 地域住民のニーズ・生活課題の把握	(2) 地域住民の活動支援・情報発信等
(3) 行政や地域住民、NPO 等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開	
(4) コミュニティソーシャルワーカーの業務	
①地域住民への個別支援等	②地域づくりに向けた支援

3 CSWの活動実績と業務全体の達成度



4 CSWからの活動報告（地域支援の事例）



5 分科会委員からの意見

業務	分科会委員からの意見	事務局回答
(1) 地域住民のニーズ・生活課題の把握	■ 吸い上げた地域課題への対策	☐ 連携して課題解決に取り組みたい。
(2) 地域住民の活動支援・情報発信等	■ 地域活動の担い手から、リーダーをどのように見つけていくか	☒ 取り組みごとに、リーダーの負担を軽減する仕組みを提案する。
(3) プラットフォームの展開	■ 教育関係者との連携の必要性 ■ プラットフォームの展開が上手く進んでいるように感じるため、評価を上げて良いのではないかと ■ 具体的な内容が見えない	☒ 教育関係者の集まりにも将来的には参加していきたい。 ☐ 新たな課題の把握や地域づくりに結び付いた。さらに多くの地域で取り組めたらと考えている。 ☐ プラットフォームの展開は、より一層の注力が必要であると考えている。
(4) CSW の業務	■ 本事業の周知・啓発の必要性	☐ 本事業の周知・啓発活動に注力する。

☐行政からの回答
☒CSW からの回答

令和6年度 第1回地域福祉専門分科会の会議報告（市川市よりそい支援事業がじゅまる+の活動報告（抜粋））について

市川市よりそい支援事業がじゅまる+について



がじゅまる+は、市川市よりそい支援事業のうち、下記の業務を担当しています。

①多機関協働事業

- ・よりそい支援事業における支援の進捗状況等を把握し、必要に応じて既存の相談支援機関と一緒に検討する。
- ・単独の支援関係機関では対応が難しい複雑化・複合化した課題について事例調整役を担い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定め、支援プランを策定して実行する。
- ・事業に関わる関係者の連携の円滑化を進め、市川市における包括的な支援体制の構築につなげていく。

②参加支援事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人やその世帯の支援ニーズと地域の社会資源との間の調整を行うことで、多様な社会参加の実現を目指す。

③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたりひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない者に支援を届けるため、本人と関わるための信頼関係の構築や、本人とのつながりの形成に向けた支援を行う。

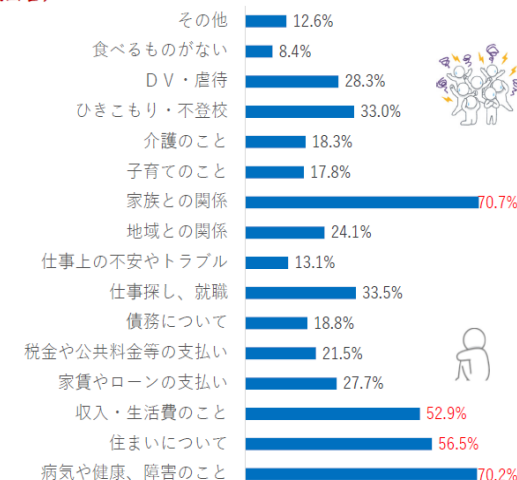
④相談窓口の質の向上のための相談支援体制整備

複雑化・複合化した事例に対し、「専門職向け相談室」を開設し、各相談支援機関からの相談に対応する。

2

相談の内容 (R5年度新規191人・複数回答)

- ・相談の内容は上位から、「家族との関係」が70.7%、「病気や健康、障害のこと」が70.2%となっています。相談者の多くが病気や障がいでも悩み、家族に頼れずに孤立している状況がうかがわれます。
- ・次いで、「住まいについて」が56.5%、「収入・生活費のこと」が52.9%となっています。生活困窮（そら）からのつながりの方が多いことも関係していると思われますが、生活困窮の背景に複合的な課題があることがわかります。
- ・「仕事探し、就職」が33.5%、「ひきこもり・不登校」が33.0%となっています。アウトリーチや参加支援の機能に期待が寄せられています。
- ・相談者一人あたりの項目数は、平均5.07でした。



6

がじゅまる+の相談実績

- ・新規相談者はこれまで、357人となっています。
R5年度7月～3月：191人
R6年度4月～12月：166人
- ・相談経路は、生活困窮分野である「そら」が最も多く、23.5%でした。次いで、よりそい相談窓口が16.3%、高齢分野が12.7%、子ども・教育分野が10.8%となっています。
- ・相談の入り口としての生活困窮者支援の対象範囲をできるだけ広く捉え、がじゅまる+とそらを一体的に運営することで、「断らない相談」の実現を目指した結果、R5年度は4割以上がそら経由となっていました。
R6年度は徐々にがじゅまる+の機能についての周知が進み、相談経路は幅広く広がっています。

R6年度の相談経路	件数	%
地域共生課(よりそい相談窓口)	27	16.3%
生活困窮者支援(そら)	39	23.5%
生活支援課	12	7.2%
子ども家庭相談課	7	4.2%
児童相談所	2	1.2%
児童福祉施設関係	2	1.2%
高等学校	7	4.2%
地域包括支援課	4	2.4%
高齢者サポートセンター	12	7.2%
居宅介護支援事業所	5	3.0%
障がい者支援課	1	0.6%
基幹相談支援センター	1	0.6%
計画相談支援事業所	5	3.0%
市営住宅課	3	1.8%
その他関係各課	2	1.2%
病院・訪問看護ステーション	7	4.2%
警察・検察庁	3	1.8%
法等	1	0.6%
地域定着支援センター		
社会福祉協議会	5	3.0%
若者サポートステーション	2	1.2%
中核地域生活支援センター	3	1.8%
NPO団体(ホームレス支援・若者支援)	6	3.6%
その他(不動産屋・他市DV相談)	2	1.2%
旧がじゅまる相談者等	8	4.8%

4

意識していること、考えていること(所感)

- ・ 多機関協働はサブシステム。各領域が機能するようにどのように動くのか。
- ・ 包括的相談支援機関の助けとなるよう、バックアップする、エンパワする。
→ 直接支援を厭わない／必ずどこかを巻き込み、プロセスに伴走する
- ・ がじゅまる+が何をすれば包括的になるのかを考えて動く
- ・ 生活困窮者支援法がどれだけ幅広に受けとめられるか、「見えていない」ニーズを意識して動いていくか。 相談支援機関が受けとめることで社会化される
- ・ 狭間をカバーするためのネットワークや社会資源創出が重要
 - ・ 障害グレー → どの分野でも標準的に対応できるよう、合理的配慮についての知識やノウハウを広げていく
 - ・ 働く障がい者の孤立予防 → 場づくり会議からいちされんの取り組みへ
 - ・ 10代後半以降の子ども・若者
→ 若者サポートプロジェクト678/心の傷研究会 他
- ・ 身寄り問題 → 居住支援の個別連携の積み上げ、市営住宅課との意見交換

19

令和7年度 市川市社会福祉審議会・各専門分科会開催予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議					第1回(委嘱辞令) 8月6日(水) 10時～12時00分 4計画の進捗状況報告 (R6年度) ※1 分科会報告 ※2					第2回 1月14日(水) 14時～15時30分 計画値と実績値の モニタリング(R6) ※3 保険者機能強化推進等交付金の 評価結果報告 分科会報告		次年度の 本会議へ報告
地域福祉 専門分科会												第1回(未定) 重層的支援体制整備事業について (生活困窮者支援等のための 地域づくり事業、多機関協働事業等)
高齢者福祉 専門分科会					第1回 8月20日(水) 14時～15時30分 「高齢者施策の中期的なあり方 (答申)」の実現に向けた整理 次期計画策定に向けた各種調 査の実施案について							
障がい者福祉 専門分科会												

※1 地域福祉計画、成年後見制度利用促進基本計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、ハートフルプラン
 ※2 令和6年度第1回地域福祉専門分科会に関する報告事項（生活困窮者支援等のための地域づくり事業、多機関協働事業）
 ※3 高齢者福祉計画・介護保険事業計画